

智頭警察署佐治駐在所改修工事

A-01	図面リスト	—	A-15	断面詳細図(3)【改修前】【改修後】	1/30	E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	—
A-02	建築改修工事特記仕様書(1)	—	A-16	屋根伏図 天井伏図【改修前】【改修後】	1/100	E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	—
A-03	建築改修工事特記仕様書(2)	—	A-17	展開図(1)【改修前】【改修後】	1/50	E-03	盤結線図、照明器具参考姿図	—
A-04	建築改修工事特記仕様書(3)	—	A-18	展開図(2)【改修前】【改修後】	1/50	E-04	幹線・電灯・コンセント設備 改修図(改修後)	1/50
A-05	建築改修工事特記仕様書(4)	—	A-19	展開図(3)【改修前】【改修後】	1/50	E-05	幹線・電灯・コンセント設備 撤去図(改修前)	1/50
A-06	付近見取図 配置図 工事概要 概略工事工程表	1/100	A-20	展開図(4)【改修前】【改修後】 流し台・洗面化粧台図	1/50 1/30	E-06	弱電設備 改修図(改修後)	1/50
A-07	仕上表	—	A-21	建具表【改修前】	1/50	E-07	弱電設備 撤去図(改修前)	1/50
A-08	平面詳細図【改修前】	1/50	A-22	建具表【改修後】	1/50			
A-09	平面詳細図【改修後】	1/50	A-23	基礎伏図 基礎詳細図【改修前】【改修後】	1/100 1/40 1/50 1/20	M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	—
A-10	立面図【改修前】	1/100	A-24	床伏図 小屋伏図【改修前】【改修後】	1/100 1/50	M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	—
A-11	立面図【改修後】	1/100	A-25	軸組図	1/100	M-03	衛生設備 改修図(改修後)	1/50
A-12	断面詳細図(1)【改修前】	1/30	A-26	外構平面図【改修前】【改修後】 外構詳細図	1/100 1/50	M-04	衛生設備 撤去図(改修前)	1/50
A-13	断面詳細図(1)【改修後】	1/30				M-05	冷暖房・換気設備 改修図(改修後)	1/50
A-14	断面詳細図(2)【改修前】【改修後】	1/30				M-06	冷暖房・換気設備 撤去図(改修前)	1/50

7	床張り用合板等 [6. 5. 2]	ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○普通合板 [G] 施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 難燃処理 防火処理 間伐材等の適用 図示 ※5.5 〇 ※1類・2類 広葉樹 ※2等以上・1等 針葉樹 ※0以上・1等
	○構造用合板 [G] 施工箇所 厚さ(mm) 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 有効断面係数比 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 図示 ※12 〇 ※2級以上・1級 ※1類 〇 ※0以上	
	・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [G] 施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ※1類 ※特類 ・適用する ・適用しない	
	・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G] 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ(mm) 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ※1類 ・2類 ・適用する ・適用しない	
	・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [G] 施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理 間伐材等の適用 ※1類 ・2類 ・適用する ・適用しない	
	・パーティクルボード [G] 施工箇所 厚さ(mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 ※15 ・ ※P又はM	
	・構造用パネル 施工箇所 厚さ(mm) 等級 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級	
	・ミディアムデンシティファイバーボード (MDF) [G] 施工箇所 厚さ(mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分 間伐材等の適用	
	・防虫、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位： ()	
	○薬剤の加圧注入による防虫、防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 K2 ※ K3 ・ K4	
○薬剤の塗布等による防虫、防蟻処理 適用部材 処理の方法 柱・筋違い (GL+1以下)の部分 ※標準仕様書12.3.1(f) ①~④による		
・薬剤の接着剤への混入による防虫、防蟻処理 適用部位： ()		
・合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位： ()		
9	軽量鉄骨天井下地 [6. 6. 2~4]	野縁等の種類 屋外 (※ 25形 ・ 19形) 屋内 (※ 19形 ・ 25形) ・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔 ・ 図示 周辺部の端からの間隔 ・ 図示 野縁の間隔 ・ 図示 既存の埋込みインサート ・ 使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (試験箇所数 ※ 屋内の場合 当該階において3箇所 () (確認強度 ※ 改修標準仕様書6.6.4(1)(9)による) ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ 天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※ 改修標準仕様書6.6.4(8)による ・ 図示 ・ 天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ※ 図示 ・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井、それ以外は図示 補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年 国土交通省告示第771号) 第3項第2号に適合させる。 ・ 図示
	軽量鉄骨壁下地 [6. 7. 3. 4] [表6. 7. 1]	スタッド、ランナの種類 ※改修標準仕様書6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 標準仕様書14.5.4(5)による

11	ビニル床シート [6. 8. 2. 3]	種類の記号 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考 ※FS ・ 無地 ○マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性 ※2.0
	※接合部の処理 (工法 ※ 熱溶接工法) ・ 突付け (施工箇所：) 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹⁰ ~1×10 ¹¹ Ω程度	
12	ビニル床タイル [G] [6. 8. 2]	種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考 ※KT ・ TT ・ FT ・ FTA ・ FTA ・ FTA ・ 柄物 ・ 500×500 ・ 帯電防止 ・ 防汚性 ※2.0 ・ 2.5 ・ 3.0
	特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹⁰ ~1×10 ¹¹ Ω程度	
13	接着剤 [6. 5. 3. 4] [6. 8. 2] [6. 9. 3] [6. 11. 4. 5]	接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示
	14 ビニル幅木 [6. 8. 2]	材質の種類 ※軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・ 75 ・ 100 厚さ(mm) ※1.5以上
16	カーペット敷き [G] [6. 9. 2. 3] [表6. 9. 1]	織じゅうたん [表6. 9. 1] 種類 バイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考 ・ A種 ・ カットバイル ・ ウィルトンカーペット ※無地 ・ 適用する ・ B種 ・ ルーフバイル ・ ダブルフェースカーペット ・ 柄物 ・ 適用しない ・ C種 ・ カット、ループ併用 ・ アキスミンスターカーペット (標準品)
	・ タフテッドカーペット バイル形状 h'(体長さ) (mm) 工法 帯電性 備考 ・ カットバイル ・ 5~7 ・ ※全面接着工法 ・ 適用する ・ カットループ併用 ・ 4~6 ・ ・ グリッド工法 ・ 適用しない	
17	合成樹脂塗床 [6. 10. 2. 3]	種類 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ ・ 厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床 ・ 厚膜流しのペ工法 ・ 平滑仕上げ ・ 樹脂モルタル工法 ・ 防汚仕上げ ・ 薄膜型塗床材 ※平滑仕上げ
	18 防じん用塗床	材料 水性アクリル系樹脂塗床とし、製造所の指定する製品とする。 工法 製造所の指定する工法とする。 なお、上塗りは2回塗りとし、乾塗布量は0.25kg/m ² とする。 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ※標準色 JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
19	フローリング張り [G] [6. 11. 2~6]	単層フローリング 種類 工法 樹種 厚さ(mm) 間伐材等の適用 ・ フローリング1号 ・ 釘留め工法 (根太張り) ※ なら ・ 15 ・ ・ フローリング1等 ・ 釘留め工法 (直張り) ※ なら ・ 12 ・ ・ フローリングブロック1等 ・ 接着工法 ※ なら ・ 8 ・ ・ フローリングブロック1等 ・ 接着工法 ※ なら ・ 15 ・
	複合フローリング 種類 工法 樹種 種類 厚さ(mm) 間伐材等の適用 ○天然化粧複合フローリング ・ 釘留め工法 (根太張り) ※ なら ・ A種 ・ 15 ・ ・ 釘留め工法 (直張り) ・ B種 ・ 12 ・ ・ 接着工法 ※ なら ・ C種 ○12 ・ ・ A種 ・ 12 ・ ・ B種 ・ 12 ・ ・ C種 ・ 12 ・	
20	畳敷き [6. 12. 2]	畳敷き [6. 12. 2]
	21 せつこうボードその他のボード及び合板張り [6. 13. 2. 3]	種類 JIS記号 厚さ(mm)、規格等 ・ 硬質木毛セメント板 [G] HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 中質木毛セメント板 [G] MW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 普通木毛セメント板 [G] NW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 硬質木片セメント板 [G] HF ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ ・ 普通木片セメント板 [G] NF ・ 30 ・ ・ けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2 (無石綿) ・ 6 ・ 8 ・ ロックウール化粧吸音板 DR ・ フラットタイプ (・ 9 ・ 12 ・) ・ 不燃 ・ 凹凸タイプ (・ 12 ・ 15 ・ 19 ・) ・ 不燃 ・ ロックウール吸音ボード1号 RW-B ・ 25 ・ ・ グラスウール吸音ボード32K GW-B ・ 25 (ガラスクロス包) ・ ○せつこうボード GB-R ※12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 不燃積層せつこうボード GB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様) ○シーゾングせつこうボード GB-S 12.5 (・ 不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様) ・ 強化せつこうボード GB-F ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ せつこうラスボード GB-L 9.5 ・ 化粧せつこうボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 梃目 ・ 板目) 専用下地材有り ○化粧せつこうボード (トラバーチン模様) GB-D 9.5 (準不燃) ・ 普通合板 [G] 表板の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 厚さ(mm) () 接着の程度 ・ 1類 ・ 2類 ・ 防虫処理
22	壁紙張り [6. 14. 2. 3]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 施工箇所 壁紙の種類 防火性能 備考 紙 繊維 フラス 無機質 その他 ・ ・ ○ ・ ・ ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃 ・ ・ ・ ・ ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃
	23 モルタル塗り [6. 15. 3. 6]	モルタル ※現場調合材料 ・ 既調合材料 (材料) 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (※図示) ・ 設けない 床の目地 ・ 設ける (目地割り ※ 2 m ² 程度 (最大目地間隔 3 m程度) (種類 ※押し目地) ・ 設けない 外装タイル張り等下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 適用する ・ 適用しない 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の地下処理 ・ 図示による 建築箇所の等の充填モルタルに使用する防水剤 (品質・性能) (試験方法) JIS A 1404 「建築用セメント防水剤試験方法」による。 項目 品質・性能 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 混合割合 セメント重量の5%以下 凝結及び安定性 (凝結時間) 始発：1時間以上 終結：10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びその有無について確認する。 曲げ及び圧縮強度比 防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上 吸水比 防水剤を混入したもの、しないものの吸水比 95%以下 透水比 防水剤を混入したもの、しないものの透水比 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3.0×10 ⁵ Paと1時間行う。

7	塗装改修工事	1	材料 [7. 1. 3]	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・ 次の箇所を除き防火材料とする ()
		2	下地調整 [7. 2. 1~7]	塗替え種別がR-Bの場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活版部分は残す 下地調整、素地ごしらえ 下面の種類 塗替え 新規 素地ごしらえの種類 ひび割れ部の補修 下部の種類 塗替えの種類 素地ごしらえの種類 木部 ※R-B種 ・ A種 ○B種 - 鉄鋼面 ※R-B種 ・ C種 - 鉄鋼面 (DP) ※R-B種 ・ B種 - 垂れめつき面 ※R-B種 ・ A種 ・ B種 - モルタル面、せつこうプラスター面 ※R-B種 ・ B種 ・ B種 ・ 行う コンクリート面、ALCパネル面 (DP以外) ※R-B種 ・ B種 ・ 行う コンクリート面、押出成形セメント板 (DP) ※R-B種 ・ A種 ・ B種 ・ 行う せつこうボード面、その他ボード面 ※R-B種 ・ A種 ・ B種 -
		3	錆止め塗料塗り [7. 4. 2. 3]	錆止めの塗料塗りの種別 塗装面 塗料の種類 工程の種別 鉄鋼面 S O P 新規見え掛り ・ A種 ・ 新規見え隠れ ・ B種 ・ 塗替え ・ C種 ・ E P - G 新規見え掛り ・ A種 ※B種 ・ A種 ・ 新規見え隠れ ・ A種 ・ 塗替え ・ C種 ・ D P 新規 ・ A種 ・ 垂れめつき鋼面 S O P 新規鋼製建具等 ・ A種 ※B種 ・ A種 ・ 新規その他 ・ B種 ・ 塗替え ・ C種 ・ E P - G 新規鋼製建具等 ・ A種 ・ 新規その他 ・ B種 ・ 塗替え ・ C種 ・
		4	仕上げ塗料塗り [7. 5. 2~7. 12. 2]	塗装の種類 塗装面 工程 塗替え 新規 ・ 合成樹脂調合ペイント塗り (S O P) 屋外木部 ※B種 ・ ※A種 ・ 屋内木部 ※B種 ・ ※B種 ・ 鉄鋼面 ※B種 ・ ※B種 ・ 垂れめつき鋼面 (鋼製建具以外) ※B種 ・ ※B種 ・ 垂れめつき鋼面 (鋼製建具) ※A種 ・ ※B種 ・ ・ クリアラッカー塗り (C L) 木部 ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種 ・ アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (N A D) 屋内のコンクリート面、モルタル面 ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種 ・ 耐水性塗料塗り (D P) コンクリート面 ・ A-1種 ・ A-1種 及び押出成形セメント板面 ・ B-1種 ・ B-1種 ・ 1級 ・ C-1種 ・ 2級 ・ C-1種 ・ 3級 ・ つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (E P - G) 屋内木部 ※B種 ・ ※A種 ・ 屋内鉄鋼面 ※B種 ・ ・ A種 ・ B種 屋内垂れめつき面 ※A種 ・ ※A種 ・ B種 コンクリート面 ※B種 ・ ・ A種 ・ B種 モルタル面 ※B種 ・ ・ A種 ・ B種 せつこうプラスター面 ※B種 ・ ・ A種 ・ B種 せつこうボード面 ※B種 ・ ・ A種 ・ B種 ・ 合成樹脂エマルションペイント塗り (E P) 屋外木部 ※B種 ・ ※A種 ・ 屋内鉄鋼面 ※B種 ・ ・ A種 ・ B種 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り (U C) ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種 ・ ステン塗り ・ ヒゲメントステン塗り ・ オイルステン塗り (O S) ○木材保護塗料塗り (W P) 木部 ・ A種 ※B種 ・ A種 ※B種 つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せつこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め ※改修標準仕様書7.9.10の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする 合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしき止め ※改修標準仕様書7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする ・ 高日射反射塗料塗り [G] 下地調整 (改修標準仕様書7.2.2) ・ R-A種 ※R-B種 ・ R-C種 塗料の種類 塗料の備考 塗料塗りの工程 規格番号 規格名称 種類 等級 塗料塗りの仕様による (kg/m ²) 塗料塗り JIS K 5675 屋外用高日射反射率塗料 2種 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 塗料製造所の仕様による
		5	クリアラッカー塗りA種の工程2着色 ・ 適用しない ・ 適用する (着色剤： ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤) ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色 ・ 適用しない ・ 適用する (着色剤： ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤) オイルステン塗りの工程等	



※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。

9 石綿含有建材の除去工事 [9.1.1] [9.1.3~6]

※ 県有施設(石綿除去等)に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。

施工調査
○石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。
調査範囲 (○) 改修対象部分 (○) 図示 ()
貸与資料 ()

・分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクリライト、アモサイト、アンソライト、クリソタイル、クロシドライト、トシモライト
分析方法
材料名 定性分析 定量分析
JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4
・ 箇所 ・ 箇所
・ 箇所 ・ 箇所

材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと
サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図示
分析結果については、監督職員に報告すること

石綿粉塵濃度測定
測定時期、場所及び測定点
測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと)
・ 測定 1 処理作業前 処理作業室内 ・ 計 点
・ 測定 2 調査対象室外部の付近 ・ 計 点
・ 測定 3 処理作業中 処理作業室内 ・ 計 点
・ 測定 4 セキュリティーゾーン入口 ・ 計 点
※ 測定 5 集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合) ・ 計 点
出口吹出し風速1m/sec以下の位置
・ 計 点
※ 測定 6 処理作業室外 ・ 計 点
・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界

※ 測定 7 処理作業後 (シート養生中) 処理作業室内 ・ 計 点
・ 測定 8 処理作業後 (シート撤去後) 処理作業室内 ・ 計 点
・ 測定 9 調査対象室外部の付近 (1週間以降) ・ 計 点

測定方法
・自動測定機による測定
測定名称 測定方法
・測定 4 ・測定 5 粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・ JIS K 3850-1に基づいた測定
測定名称 メンブレンフィルター法 (mm) 試料の吸引流量 (l/min) 試料の吸引時間 (min)
・測定 4 ・測定 5 ・測定 () 25 5 30
・測定 () 47 10 120
・測定 () 47 10 120
・測定 () 47 10 240

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹き付け材の除去
除去対象範囲 ※図示
除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2) (7)による
除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・セメント固化)
除去した石綿含有吹き付け材等の処分
・埋立処分 (管理室最終処分場) ・中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ※図示
除去工法 ※原形のまま、手ばらし ・破砕して除去
除去した石綿含有保温材の処分
・埋立処分 (管理室最終処分場) ・中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板等の除去
除去対象範囲 ※図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有石こうボード
※埋立処分 (管理室最終処分場)
・石綿含有石こうボードを除くアスベスト含有成形板
・埋立処分 (管理室最終処分場) ・中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による
除去工法 ・
※石綿障害予防規則 (平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号) 第6による措置と同時以上の効果を有する措置とされる工法
・集じん装置併用手工具ケレン工法
・集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30~50MPa程度)
・集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上)
・超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用)
・剥離剤併用手工具ケレン工法
・剥離剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa程度)
・剥離剤併用超高圧水洗工法 (100MPa以上)
・剥離剤併用超音波ケレン工法
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法

除去対象範囲 ※図示
作業場の隔離 ※行わない ・行う
試験施工 ※行わない ・行う
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分 (安定型最終処分場) ・埋立処分 (管理室最終処分場)
・中間処理 (熔融施設又は無害化処理施設)

除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分 ※改修標準仕様書9.1.3(3)による
確認及び後片付け ※改修標準仕様書9.1.3(4)の (7)、(9)、(a)及び(イ)による

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示 ・
石綿作業主任者
特定科学物質等作業主任者技術講習を終了した者の内から選任する。
特別管理産業廃棄物管理責任者
保温材については、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。

5 カーテン及びカーテンレール (2.0.2.16)

カーテン
形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、取付箇所 備考
・シングル ・片引き ・手引き ・つまみひだ
・ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ、片ひだ
・電動 ・プレーンひだ

（省略）
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする。
縦溝カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上
カーテンレール 設置場所 洋室 (6帖) 樹脂サッシ設置箇所
材質 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材
・ステンレス製
形式 ・シングル ○ダブル
・片引き ○引分け
強さによる区分 ※ 10-90 ・
仕上げ ※アルマイト ・
形状 ※角形 ・

・天井点検口
材質 寸法 (mm) 形式 外枠 内枠
・アルミニウム製 ・460×460 ・一般形 ・屋内外用 ・縦線タイプ ・縦線タイプ
・600×600 ・屋内用 ・目地タイプ ・目地タイプ
・ ・ ・気密形

(品質・性能)
内外枠の材質 アルミニウム製
JIS H 4100 A6063S又は同等の性能を有するもの
表面処理 繊維酸化皮膜JIS H 8601 (M6)又は同等の性能を有するもの
(外枠に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)
内枠及び外枠のコーナークビス
鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
外枠の取付け金物
鋼板に垂鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
内枠の仕上げ材留付金物
アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材、垂鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの
耐久性能 (繰り返し開閉試験)
(1) 50回、100回、300回の内巻の垂れ下がりが、0.5mm以内。
(2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。
枠の寸法許容差 ±0.5mm以内
外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内
(試験方法)
内巻 (内枠) の繰り返し開閉試験
(1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。
吊り金物は、外枠を天井下取付用チャンネルに直接留付ける方式 (天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上げ材は、せつこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せつこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は難燃性2級以上) 二重張りとする。
(2) 試験は、内巻を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。
(3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内巻の垂れ下がりが状態を測定する。

壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁 (天井見切縁、下がり壁見切縁) の材質
※アルミニウム既製品 ○ビニル既製品

9 天井見切り縁等

11 鉄筋 [5.2.1] [図5.2.1]

8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。 表5.2.1
種類の記号 呼び名 備考
※SD295 D10、D13、D16
※SD345 D19以上

12 溶接金網 [5.2.2]

8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。 表5.2.2
種類 網目寸法、鉄線の径 (mm) 備考
※溶接金網
・鉄筋格子

13 鉄筋の継手及び定着 [5.3.4]

8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。
鉄筋の継手の方法等
※重ね継手 ・
鉄筋の重ね継手の長さ
※40dと標準仕様書表5.3.2重ね継手の長さのうち大きい値とする。
鉄筋の定着長さ
※柱に取り付ける梁の引張鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書5.3.4による。
機械式定着工法
・適用する 適用箇所 ・ 図示による ・
種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定

14 コンクリートの気乾単位容積量による種類及び強度等 [6.2.1~4]

8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。
※普通コンクリート
設計基準強度 (Fc) スランプ (cm) 適用箇所
◎24 ※標準仕様書6.2.2による ○基礎
○21 ・ ○土間
○18 ○2階以下

種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G

15 セメント [6.3.1]

16 型枠 [6.8.2]

8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。
せき板の材料 ※合板 G 厚さ (※12mm)
・メッシュ型枠 (構造関係共通事項による)
・断熱材兼用型枠 25mm以下かつ熱抵抗値1wh²/kcal以上

8章耐震改修工事に係る部分は除き、下記による。
種類 設計基準強度 (Fc) [N/mm²] スランプ (cm) 施工箇所
※普通コンクリート ※18 ※15 ※標準仕様書6.14.1(4)(7)~(9)による

セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種 G

仕上げの平たんさは、図示によるほか、下記による。
改修標準仕様書表8.1.5による 施工箇所
平たんさの種類 [8.1.4] [表8.1.5]
a種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し
合仕上げ、フリーアクセスフロア (置敷式) ()
b種 カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り ()
c種 タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()

18 床コンクリート直均し仕上げ [8.1.4] [表8.1.5]

19 路盤 [2.2.3.2,3,5] [表2.2.3.1]

路盤の厚さ ・ 図示 ・
路盤材料
種類
砕石 ・ クラッシュラン
・ 粒度調整砕石
再生材 ・ クラッシュランG
・ 粒度調整砕石G
・ クラッシュラン鉄鋼スラグG
・ 粒度調整鉄鋼スラグG
・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグG
路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない

20 アスファルト舗装 [2.4.2~6] [表2.4.4]

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・
材料 アスファルト ・ 再生アスファルトG ・ ストレートアスファルト
骨材 ・ 道路用砕石
・ アスファルトコンクリート再生骨材 G

加熱アスファルト混合物等の種類
区分 地域 種類
表層 ・ 一般地域 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13)
・ 細粒度アスファルト混合物 (13)
・ 寒冷地域 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13F)

シールコートの施工 ・行う ・行わない
試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを発生しない程度



※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。



付近見取図

【工事概要】

佐治駐在所について、以下の改修工事を行う。

1. 建築工事

(1) 外部改修

- 屋根：軒樋、堅樋更新、既設屋根と増築部の取り合い改修
- 軒天・外部木部：木材保護塗料塗り（軒天一部補修共）
- 外壁：既設外壁下地処理の上、仕上塗材仕上（複層塗材E）
- その他：屋外掲示板移設再取付、フェンスH=1,200新設、突入防止柵新設、既設植栽撤去等

(2) 内部改修

- 床：事務室・地域交流室・控室・トイレ ビニル床シート新設
- 台所 複合フローリング更新
- 洗面所・トイレ（住宅） ビニル床シート更新（下地共）
- 和室 既設タタミ撤去、複合フローリング新設
- 壁：各室ビニルクロス更新
- 天井：既設のまま（但し事務室・地域交流室・控室は新設）
- 建具：外部サッシ面 樹脂製インナーサッシ新設
- 既設ふすま撤去、木製引違い戸新設
- その他：台所 キッチンセット更新
- 浴室 ユニットバス新設
- 洗面所 洗面化粧台更新、洗濯パン更新
- 浴室 ユニットバス新設

2. 電気設備工事

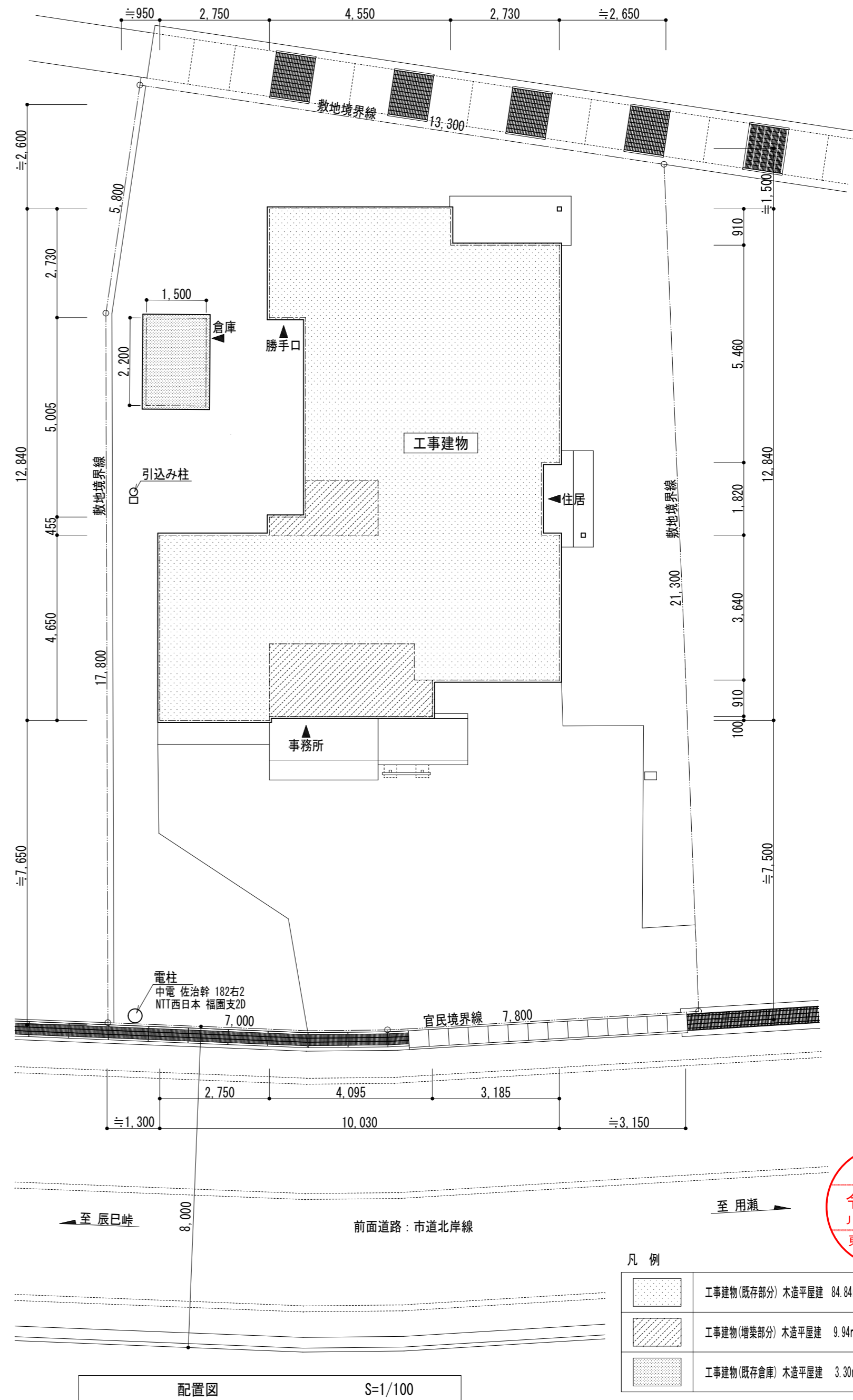
- 電灯設備：照明器具更新（LED照明）
- 通信設備：通信線管路新設、インターホン更新、防犯カメラ用空配管新設

3. 機械設備工事

- 衛生設備：事務室トイレ 和式便器の洋式化
- 住宅トイレ 洋式便器更新
- 給湯設備：ガス給湯器更新（三点給湯）
- 空調設備：事務室 空調設備更新

自令和 至令和	年月日	概略工事工程表																								
		1ヶ月目					2ヶ月目					3ヶ月目					4ヶ月目					5ヶ月目				
件名	月日	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25
事前準備期間		施設担当者・監督員打合せ 現地確認 施工関係書類作成 資材発注																								
直接仮設		解体箇所養生 外部足場組 養生撤去 外部足場解体 清掃片付け																								
躯体改修		既存躯体解体 改修部基礎・土間工事 木建方																								
屋根・外壁改修		屋根・外壁解体 屋根・外壁改修																								
建具改修		新設部建具解体 改修部建具解体 建具改修																								
内装改修		新設部内装解体 改修部内装解体 内装改修																								
塗装改修		塗装改修																								
その他改修		新設部その他解体 改修部その他解体 LED設置 その他改修																								
外構改修		植栽撤去 外構改修																								
電気設備		電気設備解体 配管・配線 器具類取付																								
機械設備		機械設備解体 配管 器具類取付																								

上記工程表はあくまでも想定であり、受注者の工程計画を拘束するものではない。なお詳細工程は事前に監督員、施設管理者等と協議の上作成すること。



配置図 S=1/100

凡例

	工事建物(既存部分) 木造平屋建 84.84㎡
	工事建物(増築部分) 木造平屋建 9.94㎡ [2.90+7.04]
	工事建物(既存倉庫) 木造平屋建 3.30㎡ ※外壁のみ



屋根(公用部分)	改修前	日本瓦葺(ゆう葉)【仮撤去 既存瓦再使用】 下地 アスファルト22kg品【撤去】+型枠用合板12t(軒天は化粧合板張り2.5t)【撤去】	軒裏	改修前 <既設>	軒天化粧合板2.5t+野地板(型枠用化粧合板12t)【既存のまま】 外部木部 木材保護塗料塗【新設】	外壁	改修前 <既設>	防水珪藻土毛引リッソ付付(外装合成樹脂エポキシ系E)【一部撤去】 下地 アスファルト20kg品+リッソ(力骨共)【一部撤去】	土台水切	改修前 <既設>	カー鉄板 0.4t【既存のまま】
	改修後	日本瓦葺(ゆう葉)【既存仮撤去瓦再使用】 下地 改質アスファルト1.0t【新設】+構造用合板12t(軒天は化粧合板張り2.5t)【新設】		改修後 <新設>	軒天化粧合板2.5t+野地板(構造用化粧合板12t)【新設】 外部木部 木材保護塗料塗【新設】		改修後 <改修部>	防水珪藻土毛引 複層塗材E【新設】 下地 改質アスファルト+リッソ(力骨共)【新設】		改修後 <改修部>	カーガムリウム鋼板 0.35t【新設】
屋根(住宅部分)	改修前	日本瓦葺(ゆう葉)【既存のまま】 下地 アスファルト22kg品【既存のまま】+型枠用合板12t(軒天は化粧合板張り2.5t)【既存のまま】	破風板・鼻隠し	改修前 <既設>	既設外部木部 木材保護塗料塗【新設】 既設外部木部材【既存のまま】※リッソニール塗	外壁(倉庫)	改修前 <既設>	水施工法 複層塗材E【新設】		改修前 <既設>	防水珪藻土毛引リッソ付付(外装合成樹脂エポキシ系E)【既存のまま】 下地 アスファルト20kg品+リッソ(力骨共)【既存のまま】
	改修後	日本瓦葺替取合部分改修		改修後 <新設>	新設外部木部 木材保護塗料塗【新設】 ※ 杉 上小節 県産産		改修後 <既設>	水施工法 複層塗材E【新設】		改修後 <改修部>	住宅用珪藻土毛引リッソ付付(外装合成樹脂エポキシ系E)【既存のまま】 下地 アスファルト20kg品+リッソ(力骨共)【既存のまま】
屋根(住宅玄関) <工事対象外>	改修前	カー鉄板一文字葺0.4t【既存のまま】 下地 アスファルト22kg品【既存のまま】+野地板(型枠用化粧合板12t+軒天化粧合板2.5t)【既存のまま】	軒樋	改修前 <既設>	軒樋105φ 受金物@≒450【撤去】	開口部	改修前 <既設>	住宅用珪藻土毛引【一部撤去】		改修前 <既設>	住宅用珪藻土毛引【一部撤去】
庇屋根 <工事対象外>	改修後	カー鉄板平葺0.4t【既存のまま】 下地 改質アスファルト1.0t【新設】+構造用合板12t(軒天は化粧合板張り2.5t)【新設】		改修後 <既設・新設>	住宅用角型硬質塩ビ製120W 受金物@455(SUS製)【新設】		改修後 <改修部>	住宅用珪藻土毛引【一部撤去】			
庇屋根	改修前	カーガムリウム鋼板平葺0.4t【新設】 下地 改質アスファルト1.0t【新設】+構造用合板12t(軒天は化粧合板張り2.5t)【新設】	堅樋	改修前 <既設>	堅樋60φ 掴み金物@≒1200【撤去】		改修前 <既設>	住宅用珪藻土毛引【一部撤去】		改修前 <既設>	住宅用珪藻土毛引【一部撤去】
屋根(倉庫)	改修後	カー鉄板一文字葺0.4t【既存のまま】 下地 アスファルト22kg品【既存のまま】+野地板(型枠用化粧合板12t+軒天化粧合板2.5t)【既存のまま】		改修後 <既設・新設>	住宅用硬質塩ビ製φ60 掴み金物@1,200(SUS製)【新設】		改修後 <改修部>	住宅用珪藻土毛引【一部撤去】			

◀解体撤去廃材処分について▶

[外部関係]

- ・既存外壁の吹付材、下地調整材共にアスベストが含有していることを定性分析により確認済
- ・既存外壁下地材(アスファルト20kg品) 既存屋根下地材(アスファルト+リッソ)22kg品)は既存図面から商品名等の詳細が確認できないことからアスベスト含有建材とみなして処分する。

[内部関係]

- ・解体撤去に伴う既存内部仕上材・下地材(珪藻土等)の木質系は除く)の解体材は既存図面から商品名等の詳細が確認できないことからアスベスト含有建材とみなして処分する。

◀防腐・防蟻措置について▶

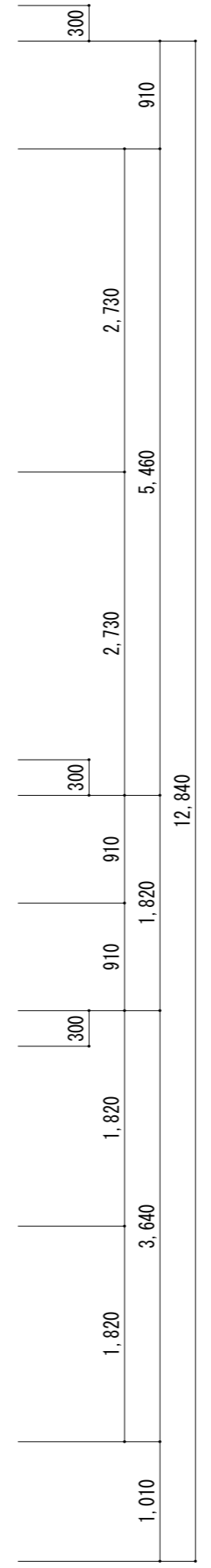
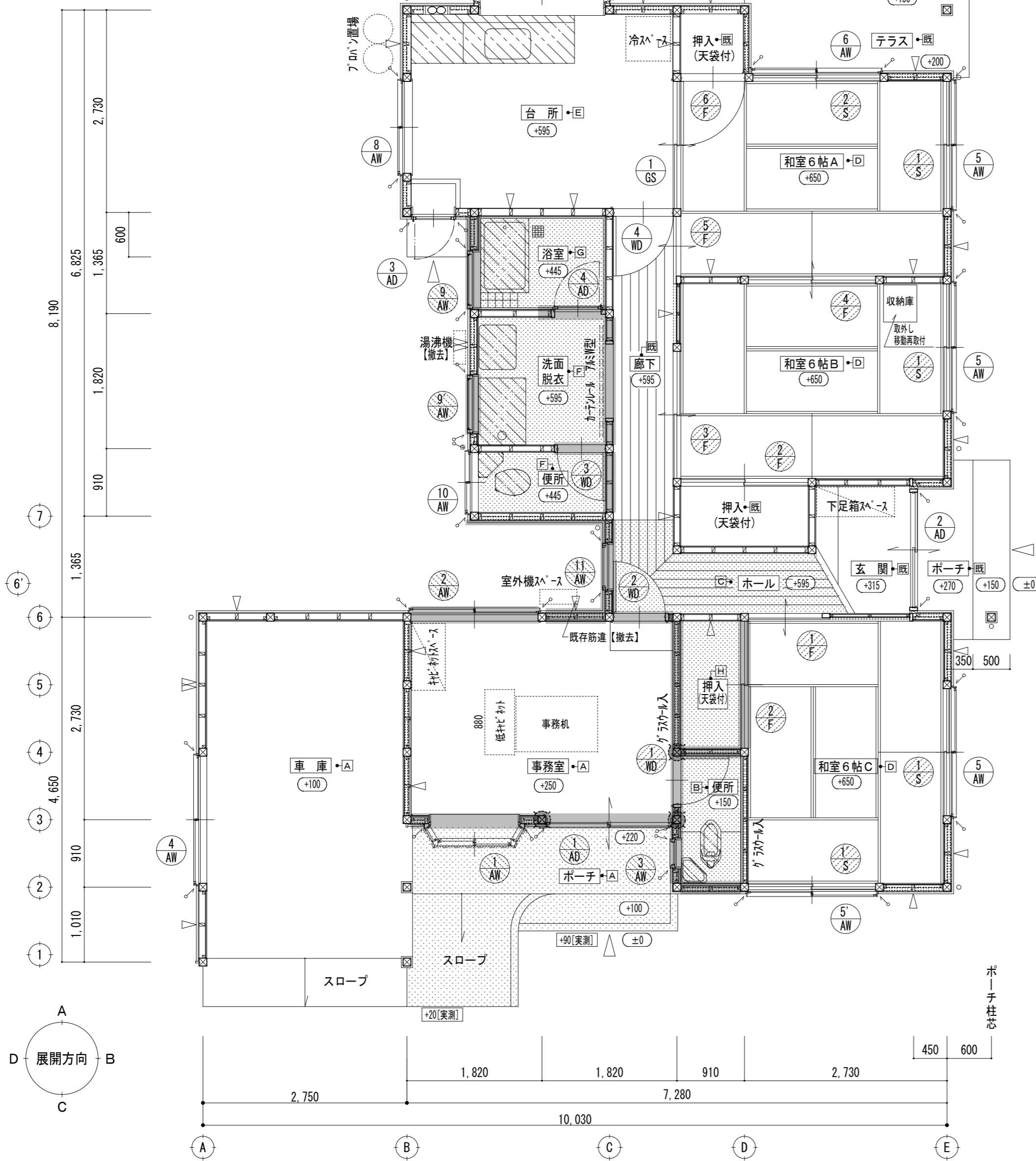
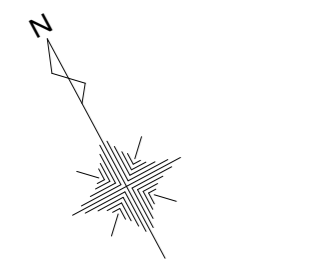
外壁廻りの新設軸組等のうち地面から1m以内の部分に薬剤処理による防腐・防蟻措置を行うこと。

※使用する薬剤は、(社)日本しろあり対策協会又は、(社)日本木材保存協会認定の防腐・防蟻剤とする。

室名		床	巾木	腰壁	壁	天井	天井高	廻縁	備考
公用部分	ポーチ	改修前 <既設>	珪藻土目地切仕上げ【撤去】 下地コンクリート100t【撤去】 切込砕石100t【既存のまま】	珪藻土目地切【撤去】	珪藻土毛引リッソ吹付【撤去】 アスファルト20kg品+リッソ(力骨共)【撤去】 捨板12t(土台点よりH≒1,000までケラット塗り)【撤去】	軒天化粧合板2.5t【撤去】 外木・小屋組化粧【撤去】			警察マク 250φ【撤去】 斤名板(30t×300×2,000)【鳥取県警署署 佐治駐在所】【撤去】
		改修後 <新設>	珪藻土目地切仕上げ【新設】 下地コンクリート100t【新設】 切込砕石100t【新設】	珪藻土目地切【新設】	珪藻土毛引リッソ吹付【新設】 アスファルト20kg品+リッソ(力骨共)【新設】 捨板12t(土台点よりH≒1,000までケラット塗り)【新設】	軒天化粧合板2.5t【新設】 外木・小屋組化粧【新設】			警察マク 250φ【新設】 国旗立て金具取付【新設】※取付位置は打合せによる 斤名板(30t×300×2,000)【鳥取県警署署 佐治駐在所】【新設】
事務室 (一部増築)	改修前	珪藻土目地切 土間コンクリート100t【既存のまま】 土間コンクリート張り(※リッソ+440.15t) 切込砕石100t、砂30t【既存のまま】	珪藻土目地切【既存のまま】	A・C B・D ビニールクロス張り【撤去】 (5ｽﾌﾟｰﾄﾞ7t+ﾌﾗﾝｽ合板12 4t下地)【撤去】	石膏ボード12.5t下地【新設】 木下地【新設】	化粧石膏ボード9t仕上げ【撤去】 下地捨板12t【撤去】	2.800	木製60×35【撤去】	換気孔 2ヶ所:100φ【既存のまま】 ケーシング 1ヶ所:75φ【既存のまま】
		(既存)ビニールクロス【新設】 既存珪藻土目地切仕上げ【新設】 (増築部)ビニールクロス【新設】 珪藻土目地切仕上げ【新設】 土間コンクリート張り(※リッソ+440.15t) 切込砕石100t、砂30t【新設】	珪藻土目地切【新設】	A・B・C面 珪藻土塗り【新設】 石膏ボード12.5t下地【新設】 木下地【新設】 D面 揭示クロス張り【新設】 ※D面残置クロス下地部：下地調整	化粧石膏ボード9.5t仕上げ【新設】 下地捨板12t【新設】	2.500	塩ビ(コ型)【新設】		
地域交流室 <新設>	改修後	(旧事務所)ビニールクロス【新設】 既存珪藻土目地切仕上げ【新設】 (増築部)ビニールクロス【新設】 珪藻土目地切仕上げ【新設】 土間コンクリート張り(※リッソ+440.15t) 切込砕石100t、砂30t【新設】	珪藻土目地切【新設】	珪藻土塗り【新設】 石膏ボード12.5t下地【新設】 木下地【新設】	化粧石膏ボード9.5t仕上げ【新設】 下地捨板12t【新設】	2.500	塩ビ(コ型)【新設】		
控室 <新設>	改修後	(旧事務所)ビニールクロス【新設】 既存珪藻土目地切仕上げ【新設】 (増築部)ビニールクロス【新設】 珪藻土目地切仕上げ【新設】 土間コンクリート張り(※リッソ+440.15t) 切込砕石100t、砂30t【新設】	珪藻土目地切【新設】	ビニールクロス張り【新設】 石膏ボード12.5t下地【新設】 木下地【新設】	化粧石膏ボード9.5t仕上げ【新設】 下地捨板12t【新設】	2.500	塩ビ(コ型)【新設】		
便所	改修前 <既設>	珪藻土目地切 土間コンクリート100t【撤去】 切込砕石100t【撤去】	珪藻土目地切【撤去】	珪藻土毛引リッソ吹付【撤去】 珪藻土目地切下地【撤去】 5ｽﾌﾟｰﾄﾞｱｽﾌﾞﾙﾄﾞ20kg品【撤去】 捨板12t(ケラット塗り)【撤去】	ビニールクロス張り【撤去】 5ｽﾌﾟｰﾄﾞ7t+ﾌﾗﾝｽ合板12 4t【撤去】	化粧石膏ボード9t仕上げ【撤去】 下地捨板12t【撤去】	2.500	木製60×35【撤去】	換気孔 2ヶ所:75φ【既存のまま】
		(増築)ビニールクロス【新設】 珪藻土目地切仕上げ【新設】 土間コンクリート張り(※リッソ+440.15t) 切込砕石100t、砂30t【新設】	珪藻土目地切【新設】	ビニールクロス張り【新設】 石膏ボード12.5t下地【新設】 木下地【新設】	化粧石膏ボード9.5t仕上げ【新設】 下地捨板12t【新設】	2.400	塩ビ(コ型)【新設】		
車庫	改修前	珪藻土目地切 土間コンクリート100t【一部撤去】	珪藻土目地切【一部撤去】	石膏ボード9t【既存のまま】	石膏ボード9t仕上げ【撤去】	2.100	木製40×25【撤去】		
		珪藻土目地切 土間コンクリート100t【一部新設】 切込砕石100t【一部新設】	珪藻土目地切【一部新設】	石膏ボード9.5t【一部新設】	石膏ボード9.5t仕上げ【新設】	≒2,400	塩ビ(コ型)【新設】		
住宅部分	ポーチ (工事対象外)	珪藻土目地切 土間コンクリート100t【既存のまま】 切込砕石100t【既存のまま】	珪藻土目地切【既存のまま】	珪藻土毛引リッソ吹付【既存のまま】 アスファルト20kg品+リッソ(力骨共)【既存のまま】 捨板12t(土台点よりH≒1,000までケラット塗り)【既存のまま】	軒天化粧合板2.5t【既存のまま】 外木化粧【既存のまま】				表札用フック等取付【既存のまま】
		100mm厚張り(磁器質)【既存のまま】 土間コンクリート100t【既存のまま】 切込砕石100t【既存のまま】	珪藻土目地切【既存のまま】	A・C B・D シュウパ調クロス張り【既存のまま】 (ﾌﾗﾝｽ合板12 4t下地)【既存のまま】 シュウパ調クロス張り【既存のまま】 (ﾌﾗﾝｽ合板12 4t+5ｽﾌﾟｰﾄﾞ7t下地)【既存のまま】	化粧石膏ボード目目【既存のまま】	≒2,750		踏板t≒25*30 集材材【既存のまま】	
ホール 廊下	改修前	長尺複合フローリング張り12.5t【一部撤去】 ﾌﾗﾝｽ合板12 5.5t下地【一部撤去】	木製 25t×60【一部撤去】	A・B・C D シュウパ調クロス張り【既存のまま】 (ﾌﾗﾝｽ合板12 4t下地)【既存のまま】 シュウパ調クロス張り【既存のまま】 (ﾌﾗﾝｽ合板12 4t下地 但し、外壁側に面する所はﾌﾗﾝｽ合板12 4t+5ｽﾌﾟｰﾄﾞ7t下地)【既存のまま】	化粧石膏ボード目目【既存のまま】	2.350			
		長尺複合フローリング張り12.5t【一部新設】 ﾌﾗﾝｽ合板12 5.5t下地【一部新設】	木製 25t×60【一部新設】	ビニールクロス張り【一部新設】 石膏ボード12.5t下地【一部新設】 木下地【一部新設】	ビニールクロス張り【一部新設】 石膏ボード9.5t下地【一部新設】	2.350	塩ビ(コ型)【新設】		
和室6帖 (A・B・C)	改修前	杉板15t下地【撤去】	杉板15t×60【撤去】	A・B・C D シュウパ調クロス張り【撤去】 (ﾌﾗﾝｽ合板12 4t+5ｽﾌﾟｰﾄﾞ7t下地)【既存のまま】 但し、A・B室間仕切りはﾌﾗﾝｽ合板12 4t下地【既存のまま】 シュウパ調クロス張り【撤去】とする	化粧石膏ボード目目【既存のまま】	2.400			(A)ケーシング1ヶ所:75φ 換気孔 2ヶ所:100φ【既存のまま】 (B)換気孔 2ヶ所:100φ【既存のまま】 (C)ケーシング1ヶ所:75φ【既存のまま】 換気孔 2ヶ所:100φ【既存のまま】
		複合フローリング張り12t+構造用合板12t【新設】 フェノール系断熱材1種45t 根太45×45@300【新設】		ビニールクロス張り【新設】 既存クロス撤り下地：下地調整処理					カーペットマット【新設】 樹脂サッシ新設箇所
押入 (工事対象外)	改修前	ﾌﾗﾝｽ合板12 5.5t【既存のまま】 和室Bのみﾌﾗﾝｽ合板12 12t(下段のみ)【既存のまま】	雑巾摺 15×15【既存のまま】	ﾌﾗﾝｽ合板12 4t【既存のまま】	ﾌﾗﾝｽ合板12 2.5t【既存のまま】	2.400			中棚、天袋付【既存のまま】
		複合フローリング張り12t【撤去】 ﾌﾗﾝｽ合板12 5.5t下地【撤去】	木製 25t×60【既存のまま】	化粧石膏ボード目目【既存のまま】 流し台廻り 100mm厚張り【既存のまま】 5ｽﾌﾟｰﾄﾞ下地 アスファルト20kg品 捨板12t(ケラット塗り)【既存のまま】	化粧石膏ボード目目【既存のまま】 流し台廻り 100mm厚張り【既存のまま】	2.400			流し台:L=1,500、コウ台:L=700、吊戸棚:L=1,600 2台(ﾊﾞｯｸﾞｰﾄﾞ付)【撤去】 換気口、側面ﾊﾞｯｸﾞｰﾄﾞ、水切、水切棚、換気扇(電気工事)、ｶﾞｰﾄﾞｰﾄﾞ【撤去】 換気孔 2ヶ所:100φ【既存のまま】
洗面・脱衣	改修前	複合フローリング張り12t+構造用合板12t【新設】 フェノール系断熱材1種45t【新設】	木製 25t×100【撤去】	A・D B・C ビニールクロス張り【撤去】 太平板5t下地【既存のまま】 ビニールクロス張り【撤去】 太平板5t下地【撤去】	硬質塩ビ断熱材付【既存のまま】 下地捨板12t【既存のまま】	2.300			洗面ユニット1式【撤去】、洗濯機ﾊﾞﾝ:1式【撤去 機械設備工事】 換気孔 1ヶ所:100φ【撤去】
		塩ビシート張り2t【撤去】 ﾌﾗﾝｽ合板11 12t下地【撤去】	木製 25t×100【撤去】	A・D B・C ビニールクロス張り【撤去】 太平板5t下地【既存のまま】 ビニールクロス張り【撤去】 太平板5t下地【撤去】	洗面化粧台付【既存のまま】 下地捨板12t【既存のまま】	2.450			洗面化粧台付【既存のまま】
便所	改修前	複合ビニールクロス2t 構造用合板12t【新設】 フェノール系断熱材1種45t【新設】	木製 25t×100【撤去】	A・D B・C ビニールクロス張り【撤去】 太平板5t下地【既存のまま】 ビニールクロス張り【撤去】 太平板5t下地【撤去】	洗面化粧台付【既存のまま】 下地捨板12t【撤去】	2,500~2,600			換気孔 2ヶ所:150φ【既存のまま】 対し掛け L=910【撤去】 浴槽 和風2方半ﾌﾞﾗｯﾄﾞ付 根太45×45@300(ｼﾞﾝｸﾞ)1,020×720×660【撤去】
		塩ビシート張り 2t【撤去】 ﾌﾗﾝｽ合板11 12t下地【撤去】	木製 25t×100【撤去】	A・D B・C ビニールクロス張り【撤去】 太平板5t下地【既存のまま】 ビニールクロス張り【撤去】 太平板5t下地【撤去】	洗面化粧台付【既存のまま】 下地捨板12t【撤去】	2,500~2,600			換気孔 2ヶ所:150φ【既存のまま】 対し掛け L=910【撤去】 浴槽 和風2方半ﾌﾞﾗｯﾄﾞ付 根太45×45@300(ｼﾞﾝｸﾞ)1,020×720×660【撤去】
浴室	改修前	ユニットバス張り 18.5φ【撤去】 土間コンクリート100t【撤去】 切込砕石100t【撤去】	100mm厚張り【撤去】 コンクリート下地【撤去】	防水珪藻土目地切仕上げ【撤去】 リッソ(力骨共)下地ｼﾞﾝｸﾞｰﾄﾞ9t+ｱｽﾌﾞﾙﾄﾞ20kg品【撤去】 捨板12t(ケラット塗り)【撤去】	硬質塩ビ断熱材付【撤去】 下地捨板12t【撤去】	2,500~2,600			換気孔 2ヶ所:150φ【既存のまま】 対し掛け L=910【撤去】 浴槽 和風2方半ﾌﾞﾗｯﾄﾞ付 根太45×45@300(ｼﾞﾝｸﾞ)1,020×720×660【撤去】
		ユニットバス(新設) S1216(0.75坪)タイプ 参考 TOTO サザナ 土間コンクリート100t【新設】 切込砕石100t【新設】							
テラス (工事対象外)	改修前	珪藻土目地切 土間コンクリート100t【既存のまま】 切込砕石100t【既存のまま】	珪藻土目地切【既存のまま】	珪藻土毛引リッソ吹付【既存のまま】 アスファルト20kg品+リッソ(力骨共) 捨板12t(土台点よりH≒1,000程度までケラット塗りとする)	軒天化粧合板2.5t仕上げ【既存のまま】 捨板12t【既存のまま】				
		ﾌﾗﾝｽ合板5.5t張り【新設】	雑巾摺【新設】	ﾌﾗﾝｽ合板4t張り【新設】	ﾌﾗﾝｽ合板4t張り【新設】	2.400	木製 杉 30×30【新設】		中棚・ﾌﾞﾗｯﾄﾞ



※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。



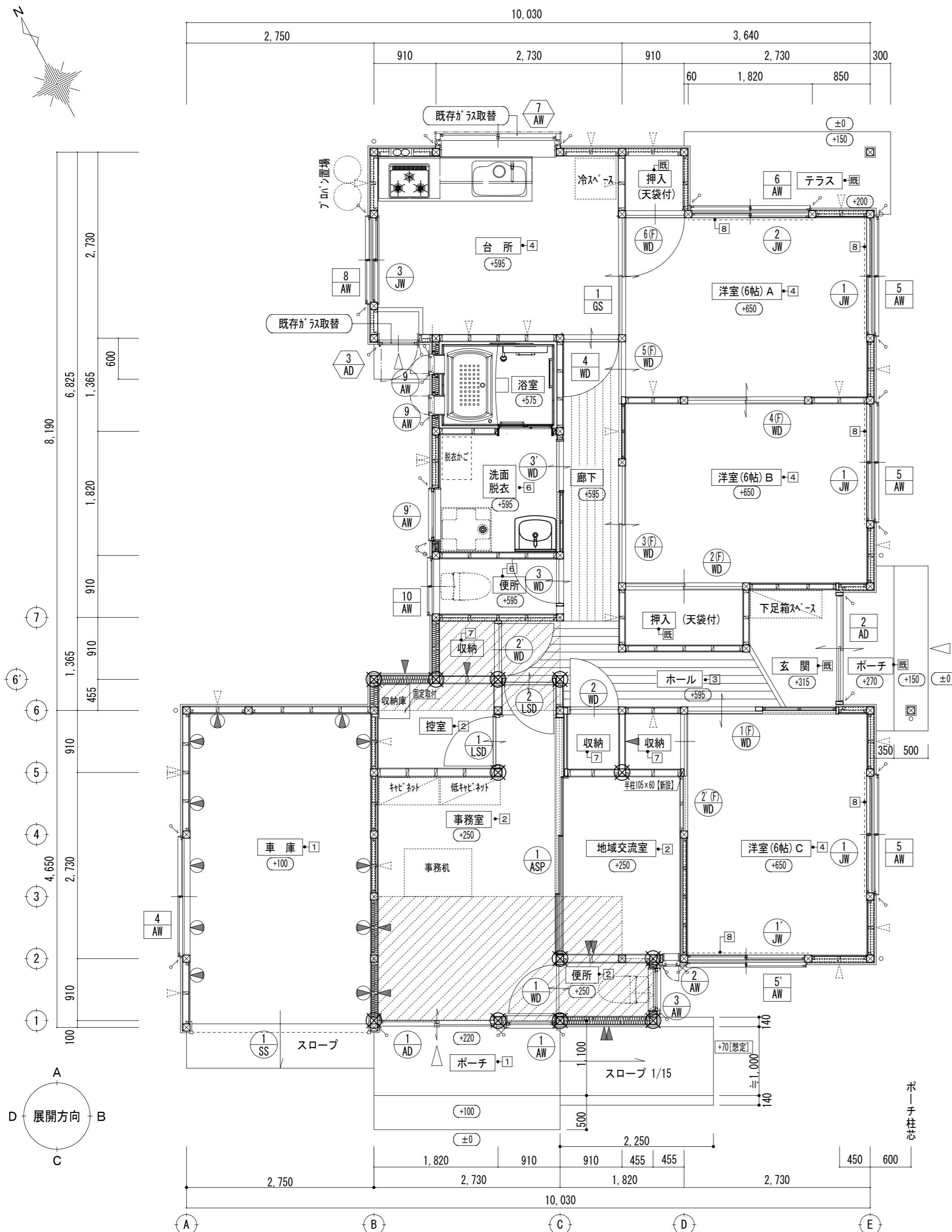
凡例

	既存柱(3ヶ所)解体撤去
	既存床仕上材・土間仕上材(コナト下地共)解体撤去
	既存外壁・間仕切壁仕上材(一部壁下地共)解体撤去
	既存アルミ建具・木製建具解体撤去
	既存アルミ建具・木製建具既存のまま
	既存設備機器解体撤去
	既存壁部ガラスウール(50t)既存のまま
	各室の改修前床仕上げ高さ(GL±0として表記)
	既存筋違(ソング)45×105【既存のまま】※1ヶ所撤去 図示
	既存筋違(ダブル)45×105×2【既存のまま】

A	ポーチ[事務室]モルタル目地切仕上【撤去】 事務室・車庫モルタル目地切仕上【一部撤去】
B	モルタル押入【撤去】
C	長尺複合フローリング張り12.5t【一部撤去】 ワン合板T2 5.5t下地【一部撤去】
D	タミ55【撤去】 杉板15t下地【撤去】
E	複合フローリング張り12t【撤去】 ワン合板T2 5.5t下地【撤去】
F	塩ビシート張り2t【撤去】 ワン合板T1 12t下地【撤去】
G	ユニット張り18.5Φ【撤去】
H	ワン合板T2 5.5t【撤去】
既	既存のまま

平面詳細図【改修前】 S=1/50

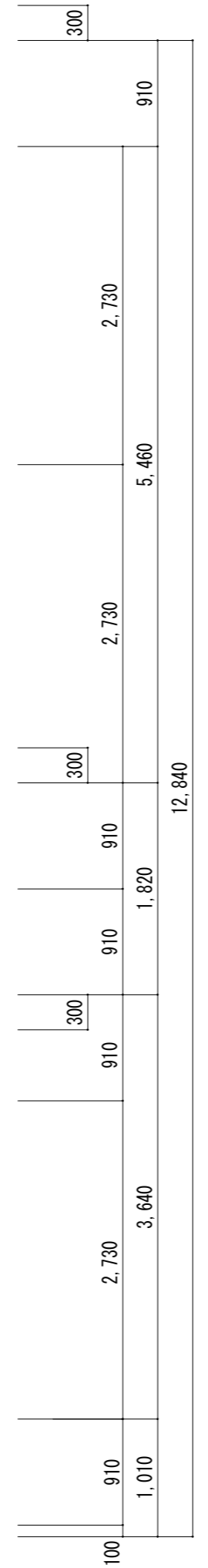




凡例

	増築箇所(9.94㎡)を示す
	柱材(県産材 杉 105×105 12ヶ所)新設
	アルミ建具・樹脂建具・木製建具新設
	既存ガラス取替
	アルミ建具・木製建具既存のまま
	壁部グラスウール(100t)新設
	各室の改修後床仕上げ高さ(GL±0として表記)
	筋違(シングル)45×105【新設】
	筋違(ダブル)45×105×2【新設】
	筋違(シングル)45×105<既設梁・新設梁間>【新設】
	既存筋違(シングル)45×105 既存筋違(ダブル)45×105×2【既存のまま】

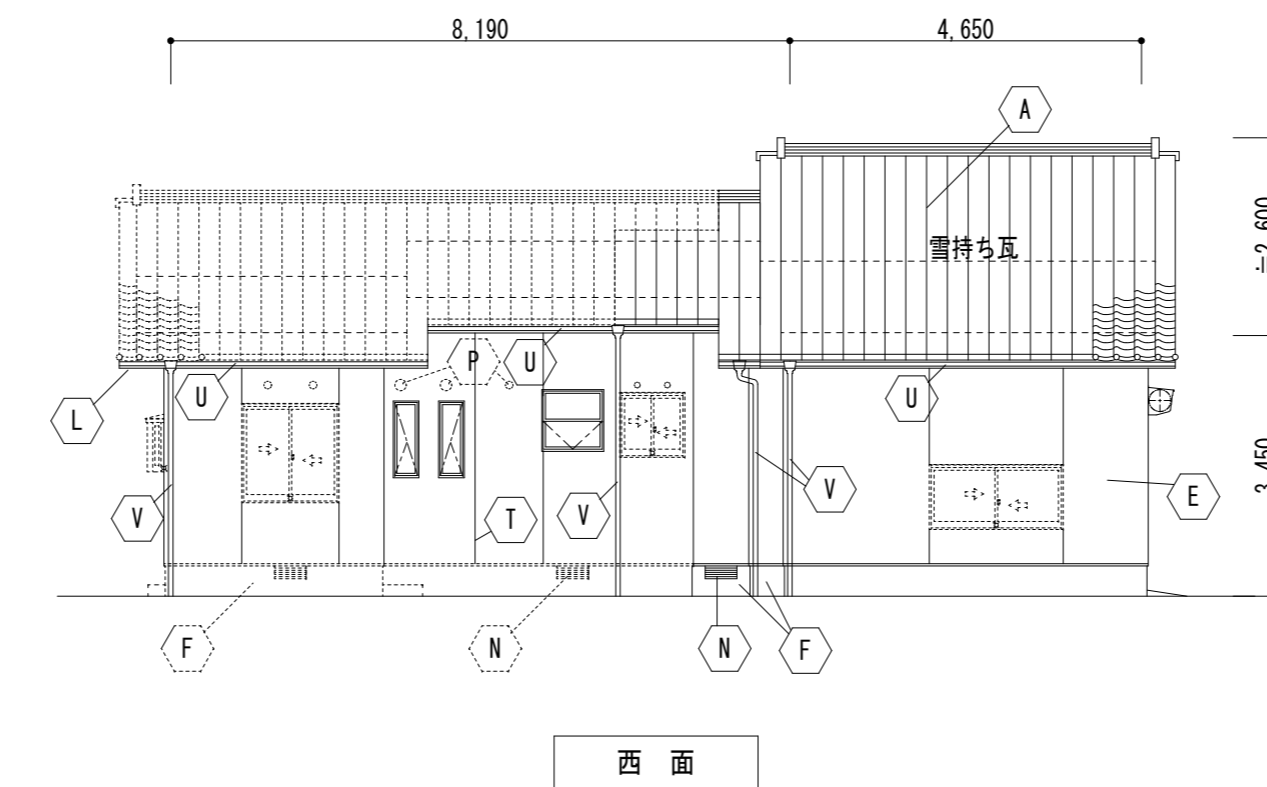
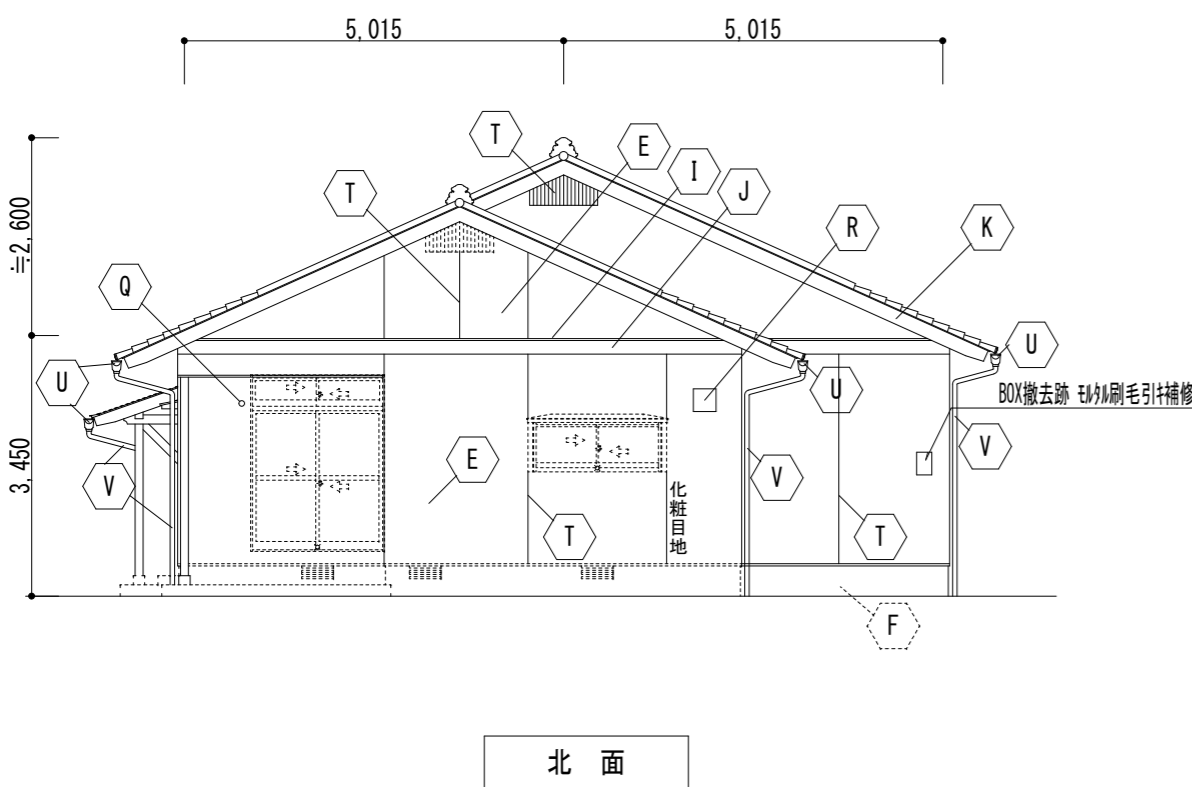
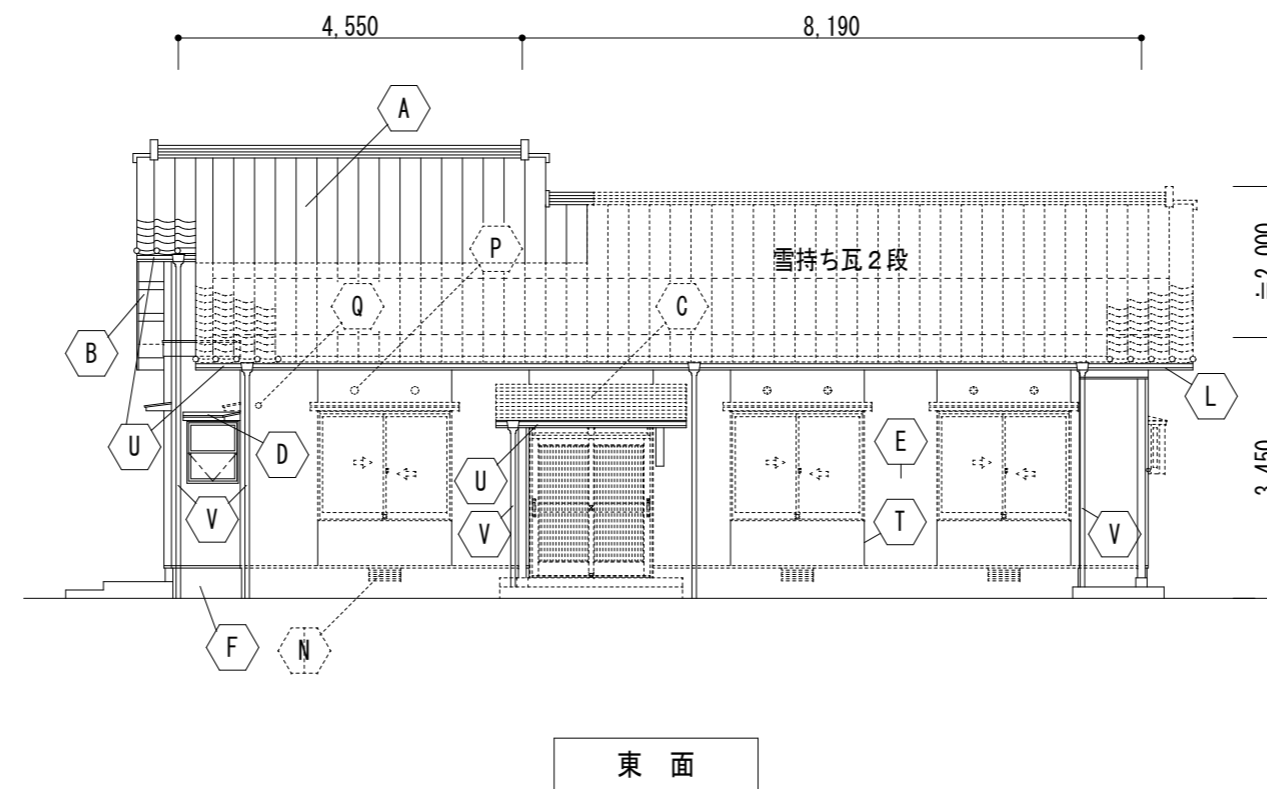
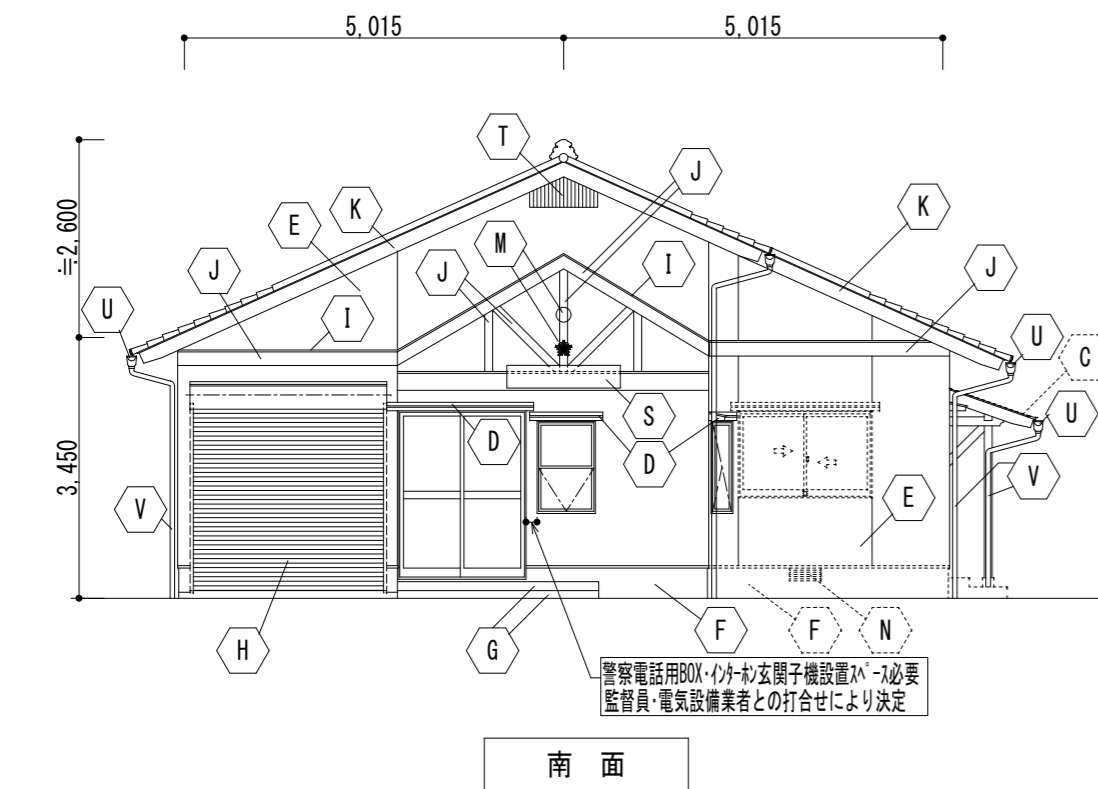
1	ポーチ[事務室]モルタル目地切仕上げ【新設】 車庫モルタル目地切仕上げ【一部新設】
2	既存土間部[事務室・地域交流室・控室]ビニルシート【新設】既存モルタル目地切修繕【新設】 新設土間部[事務室・地域交流室・控室]ビニルシート【新設】モルタル目地切【新設】
3	長尺複合フローリング張り12.5t【一部新設】 ワン合板T2 5.5t下地【一部新設】
4	複合フローリング張り12t+構造用合板12t【新設】 [洋室<6帖>]フェノールフォーム断熱材1種45t 根太45×45@300【新設】 [台所]フェノールフォーム断熱材1種45t【新設】
5	複合ビニルシート2t 構造用合板12t【新設】 フェノールフォーム断熱材1種45t【新設】
6	複合ビニルシート2t 構造用合板12t【新設】 [洗面脱衣]フェノールフォーム断熱材1種45t【新設】 [住居便所]フェノールフォーム断熱材1種45t 根太45×45@300 大引90×60【新設】
7	ワン合板5.5t張り【新設】
8	カーテンレール(アルミ製)【新設】
既	既存のまま



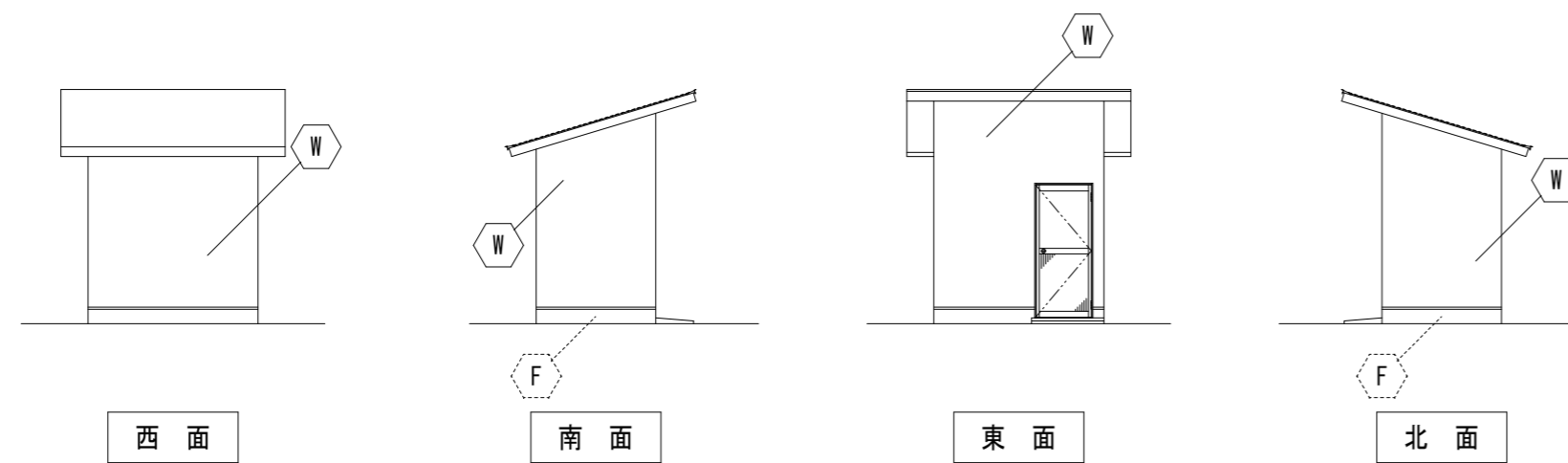
平面詳細図【改修後】 S=1/50 変性シーリング(MS-2)新設



※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。



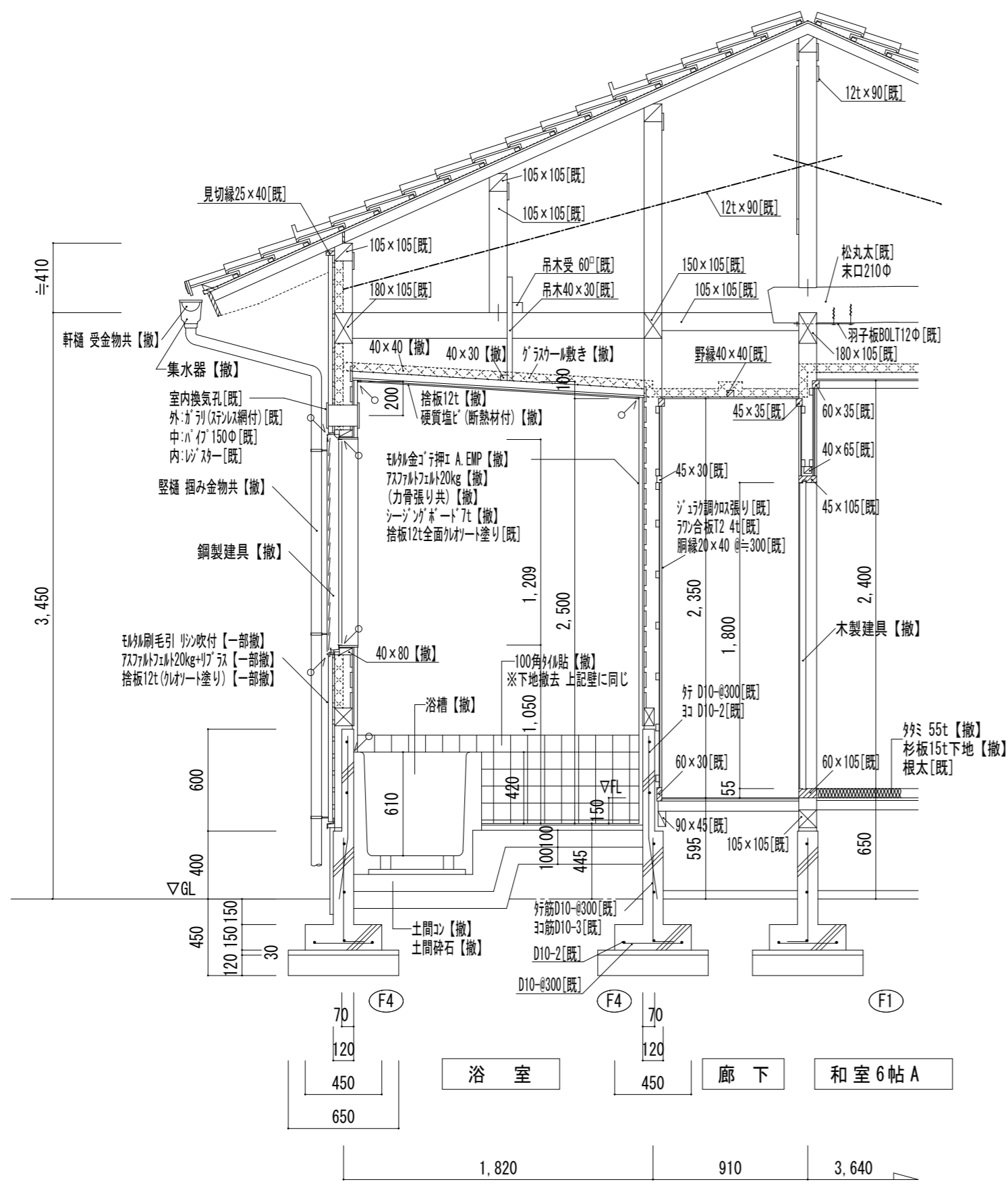
立面図【改修後】 S=1/100



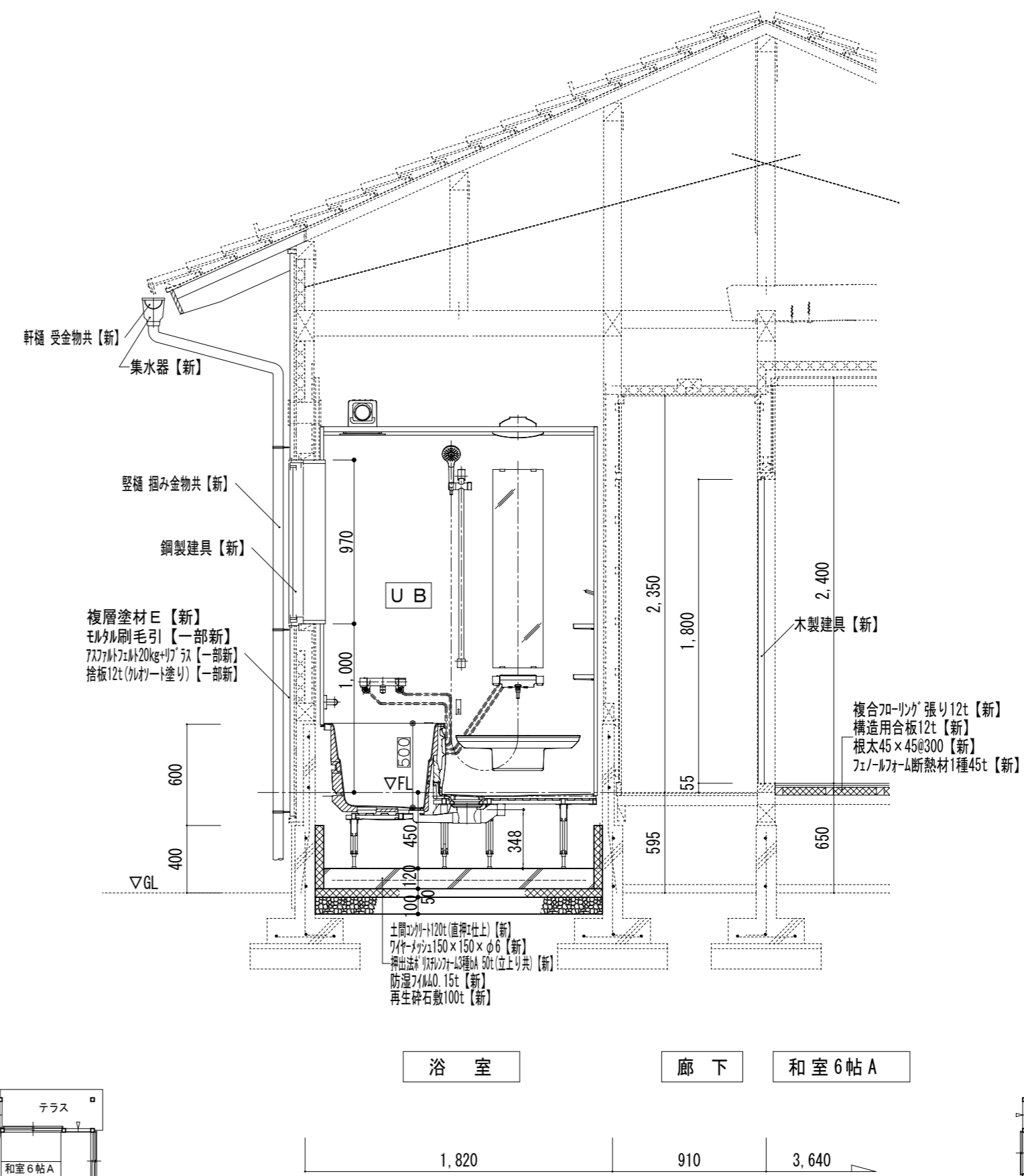
倉庫立面図【改修後】 S=1/100

A	日本瓦葺替(ゆう葉)【既存板撤去瓦再使用】 下地 改質7スワルトーフィン1.0t【一部新設】+構造用化粧板12t(軒天は化粧板張り2.5t)【一部新設】
B	軒天化粧板【一部新設】 軒天化粧板2.5t+野地板(型枠用化粧板12t)【一部新設】
C	カー鉄板一文字葺0.4t【既存のまま】 下地 7スワルトーフィン22kg品+野地板(型枠用化粧板12t+軒天化粧板2.5t)【既存のまま】
D	カーが 鋼板平葺0.4t【新設】 下地 改質7スワルトーフィン1.0t【新設】+構造用化粧板12t(軒天は化粧板張り2.5t)【新設】
E	<改修部>防水モルタル引 複層塗材E【新設】下地 改質7スワルトーフィン(力骨共)【新設】 <既設部>水洗工法 複層塗材E【新設】
F	<実線表示>モルタル引【新設】 <点線表示>モルタル引【既存のまま】
G	モルタル引 目地切仕上【新設】
H	軽量シャッター【新設】 スラット:カー鋼板0.5t レール・座板:SUS
I	<改修部>カーが 鋼板水切0.35t【新設】
J	<改修部>化粧梁 20t×200【新設】 木材保護塗料塗【新設】 <既存部>化粧梁 20t×200 木材保護塗料塗【新設】
K	<改修部>破風板 20t×180【新設】 木材保護塗料塗【新設】 <既存部>破風板 20t×180 木材保護塗料塗【新設】
L	<改修部>鼻隠し 20t×150【新設】 木材保護塗料塗【新設】 <既存部>鼻隠し 20t×150 木材保護塗料塗【新設】
M	外部側 梁・小屋束 化粧部木材保護塗料塗【新設】 警察マーク取付【新設】 赤色燈【新設】 【参考】廣部硬器 2号 250Φ
N	<実線表示>床下換気孔【新設】 <点線表示>床下換気孔【既存のまま】 鋳鉄製(170×420 ステンレス付)
O	小屋換気孔改修箇所【新設】改修箇所以外【既存のまま】 【参考】7ピ F型 吉峰3型
P	室内換気孔...100Φ、150Φ、75Φ(各換気孔共通)丸型レグスター+パイプ+丸型グリ【既存のまま】 事務室・厨房・和室:100Φ 新協和【参考】SRM-100型+SU-100+SGM-100型 ステンレス網付【既存のまま】 風呂:150Φ 新協和【参考】SRM-150型+SU-150+SGM-150型 ステンレス網付【既存のまま】 便所:75Φ 新協和【参考】SRM-75型+SU-75+SGM-75型 ステンレス網付【既存のまま】
Q	クーラー用スリーブ【既存のまま】新協和 和室A・C:75Φ 【参考】外部 SC-75型+SU-75+内部 SC-75N型
R	ウエーガー【新設】
S	庁名板【新設】 文字共...17文字書き 30t×H300×L2,000
T	化粧目地【新設】 変性シリコン系コーキング 10×15
U	軒樋 住宅用角型硬質塩ビ製120W 受金物@455(SUS製)【新設】
V	縦樋 住宅用硬質塩ビ製φ60 掴み金物@1,200(SUS製)【新設】
W	水洗工法 複層塗材E【新設】

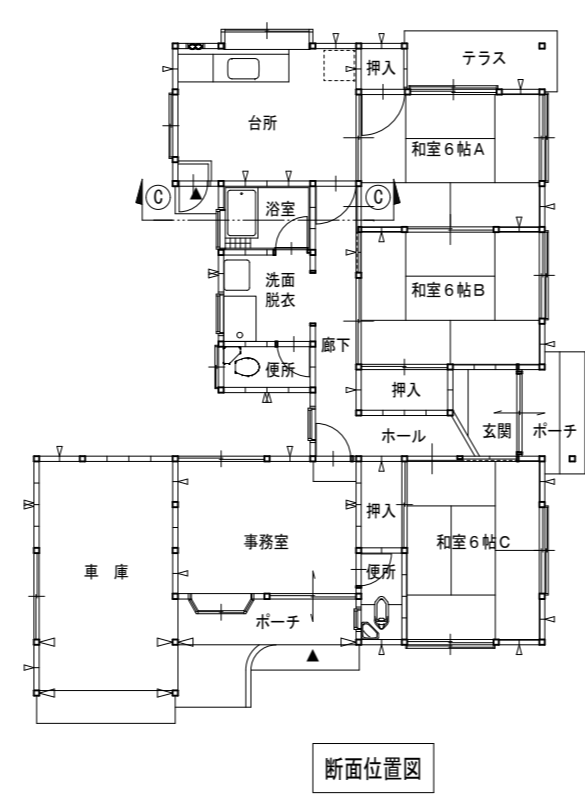
※南面 国旗立て金具取付【新設】取付位置は打合せによる



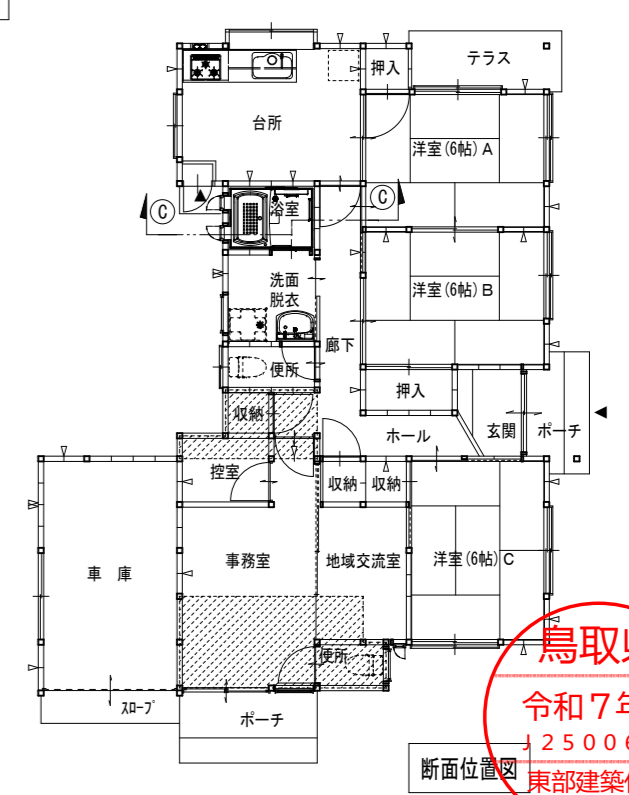
C-C 断面詳細図【改修前】 S=1/30



C-C 断面詳細図【改修後】 S=1/30

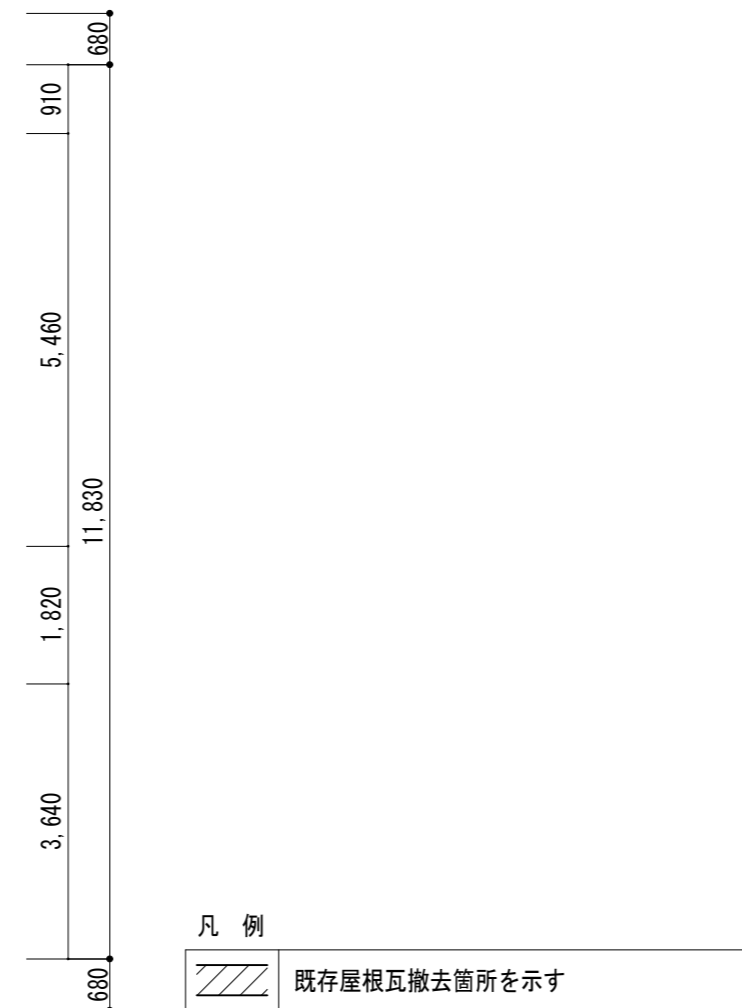
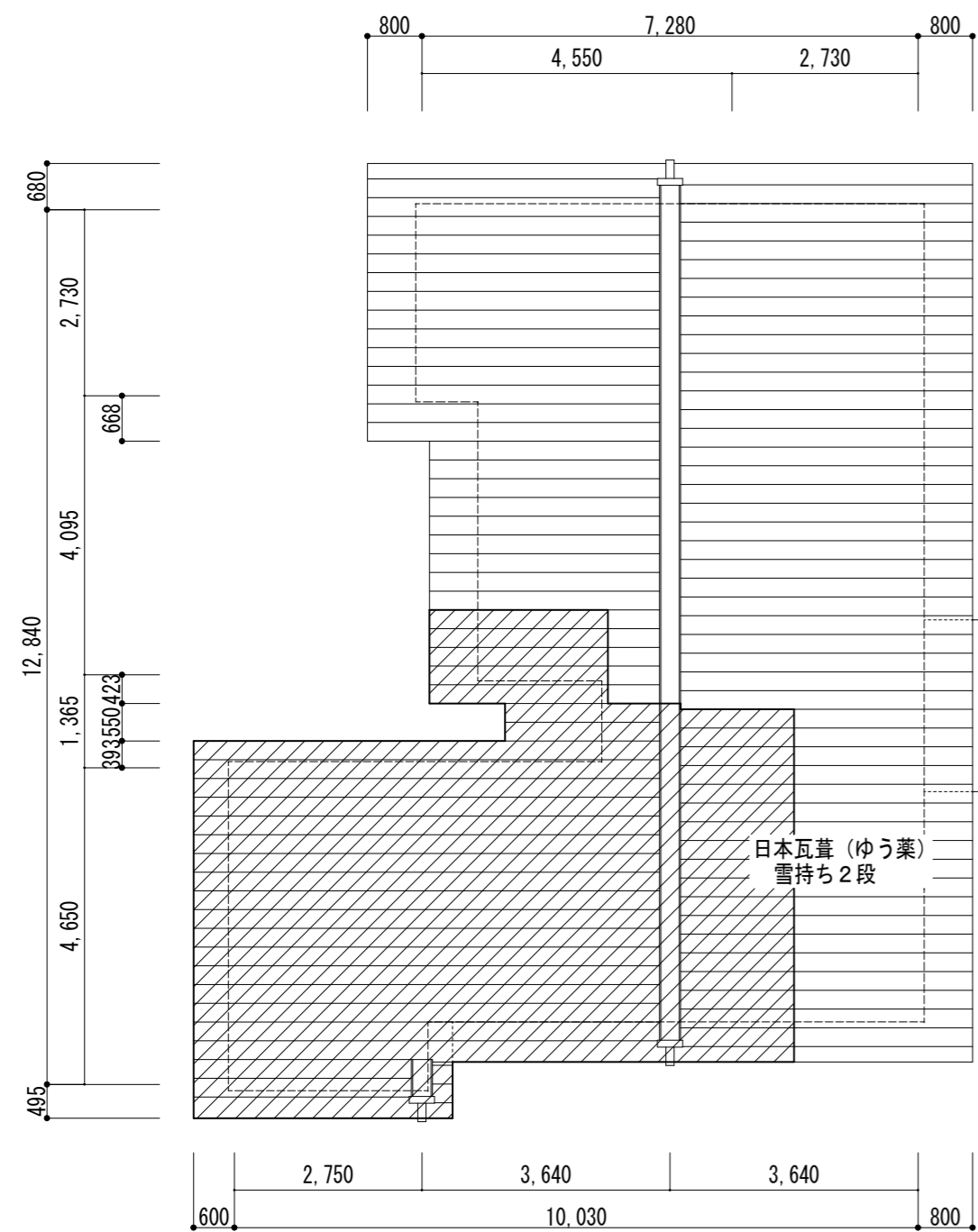


断面位置図

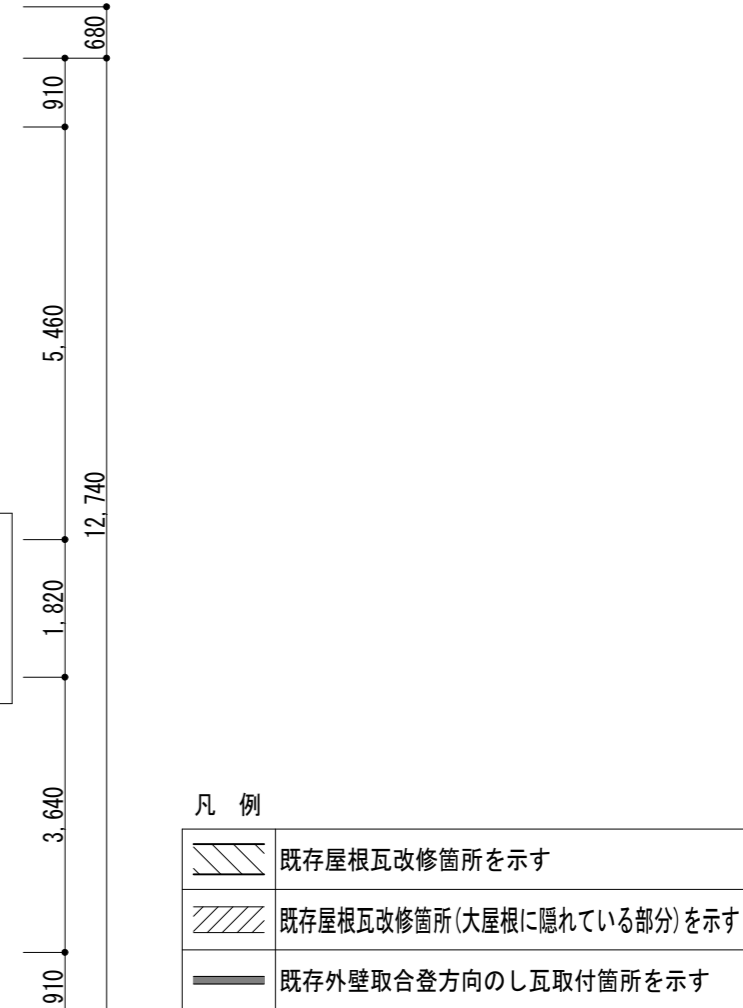
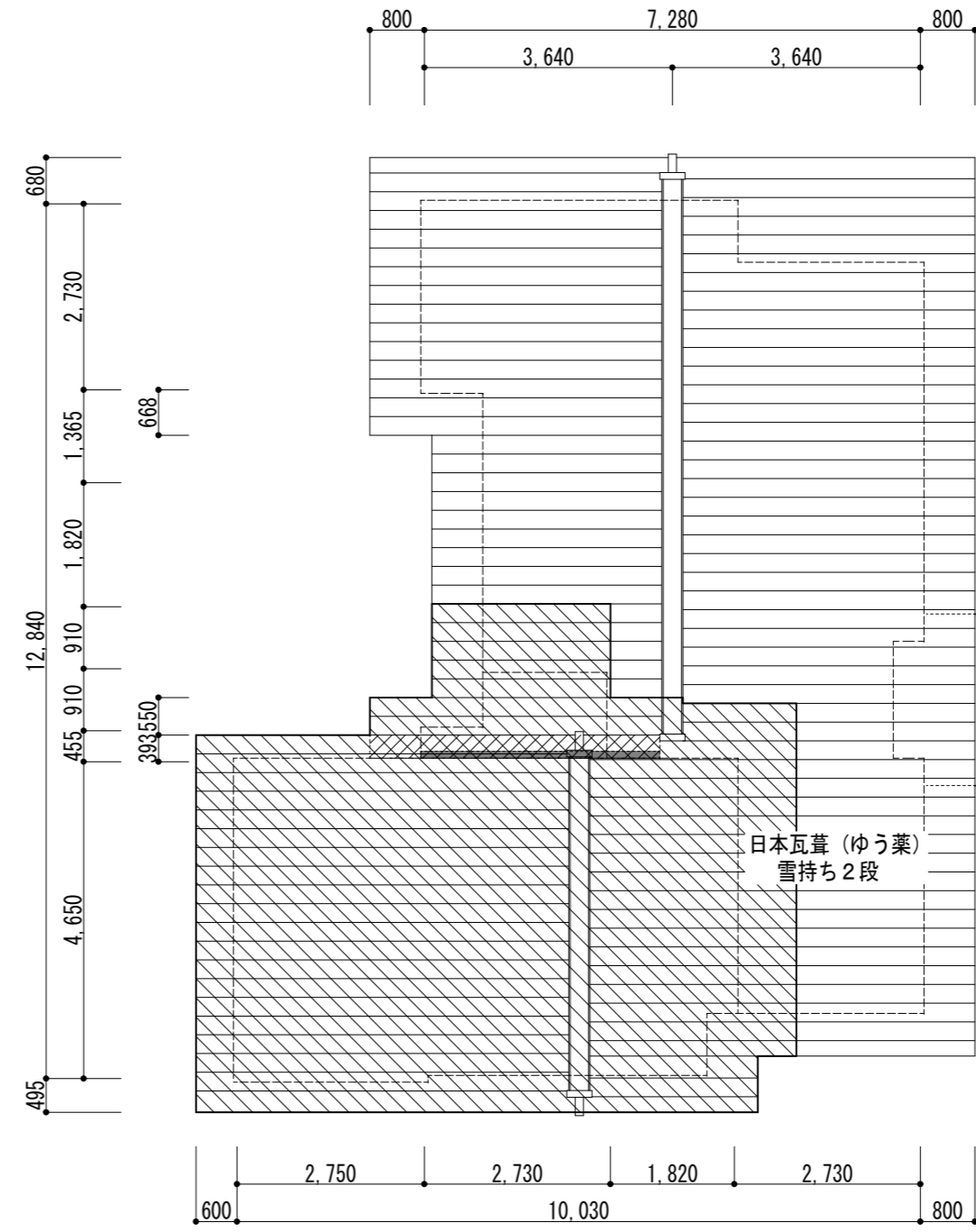


断面位置図

※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。

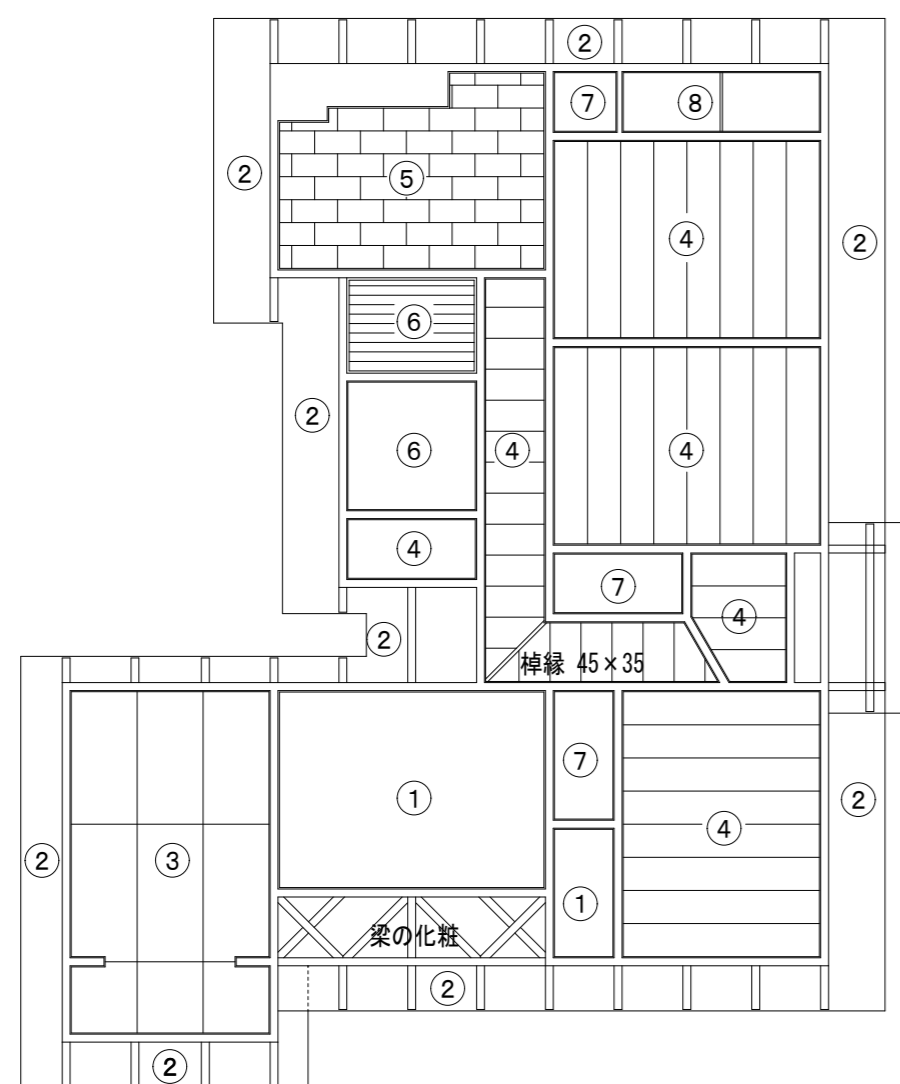


屋根伏図【改修前】 S=1/100



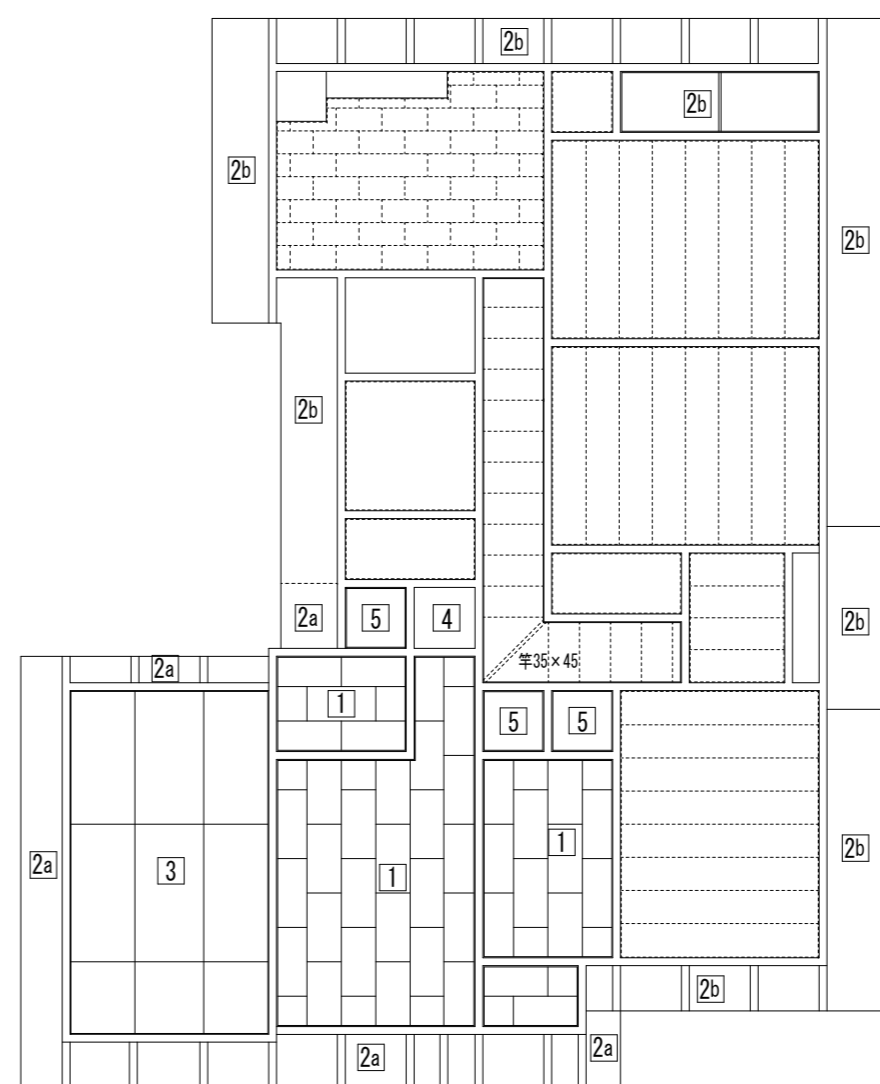
屋根伏図【改修後】 S=1/100

凡例
 ※ 既存屋根瓦改修箇所には10㎡の新設瓦葺を見込んでいる



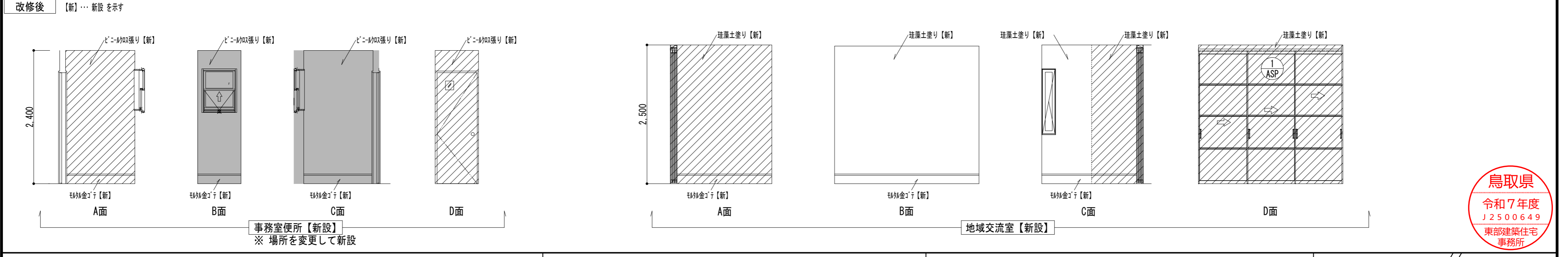
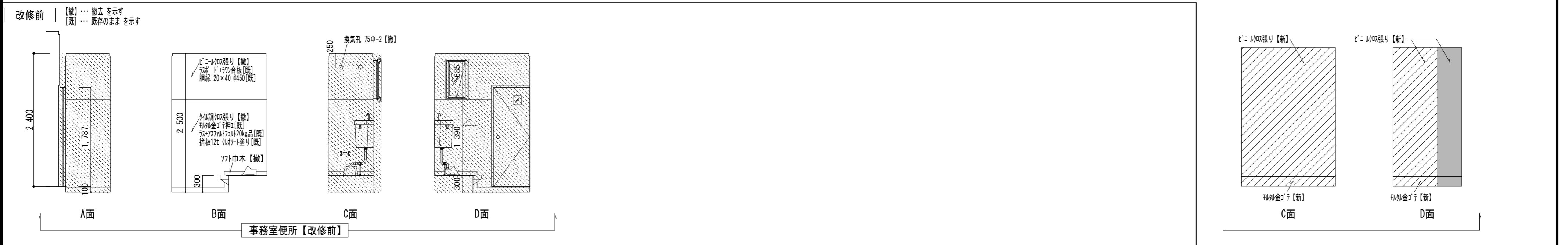
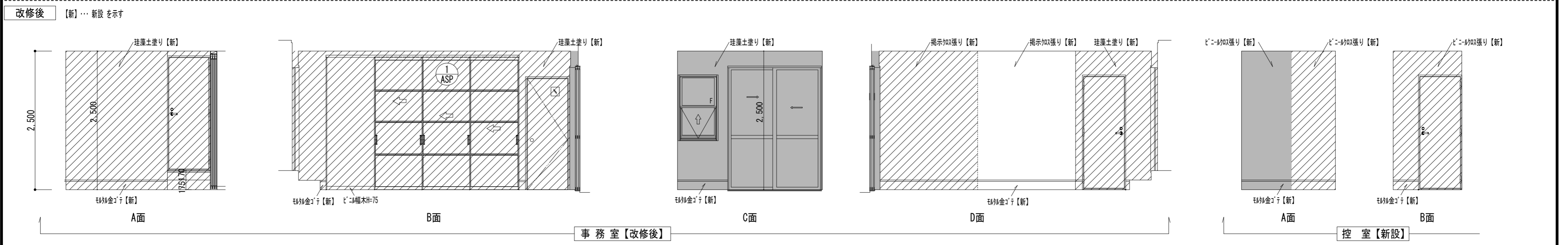
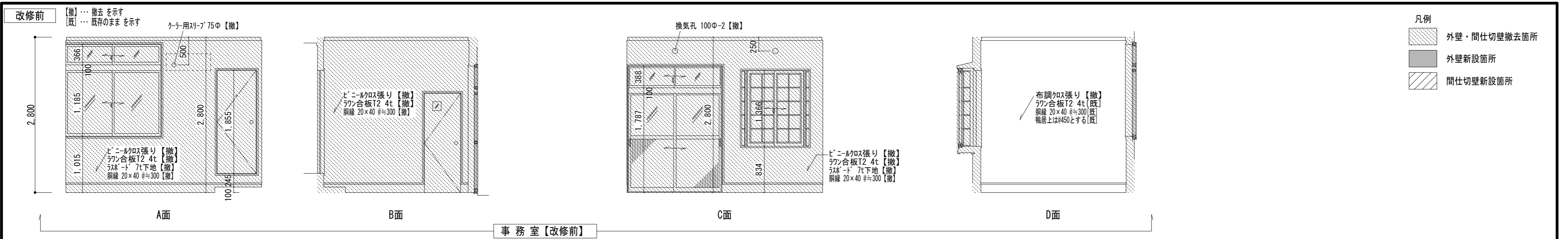
- ① 化粧石膏ボード 9.0t【撤去】
- ② 軒天用化粧合板張り 化粧化粧【既存のまま】
- ③ 石膏ボード 9.0t【撤去】
- ④ 化粧石膏ボード 9t (杉柾) (杉柾)【既存のまま】
- ⑤ ロックウール吸音板 12t×303×606【既存のまま】
- ⑥ 硬質塩ビ断熱材付き【浴室撤去】(洗面・脱衣 既存のまま)
- ⑦ ラワン合板 2.5t【一部撤去】
- ⑧ 軒天用化粧合板張り【既存のまま】

天井伏図【改修前】 S=1/100



- ① 化粧石膏ボード 9.5t【新設】
- ②a 軒天用化粧合板張り 化粧化粧【新設】
外部木部 木材保護塗料塗【新設】
- ②b 既存軒天用化粧合板張り【既存のまま】
外部木部 木材保護塗料塗【新設】
- ③ 石膏ボード 9.5t【新設】
- ④ ビニールクロス貼 石膏ボード 9.5t下地【新設】
- ⑤ ラワン合板 4t【新設】

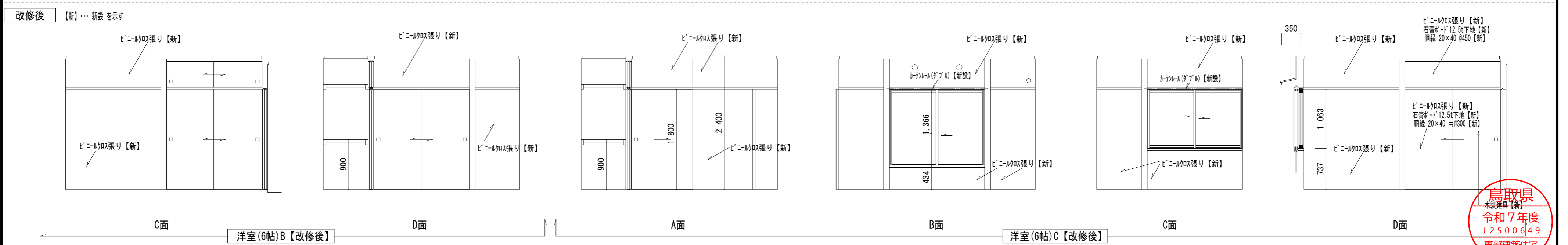
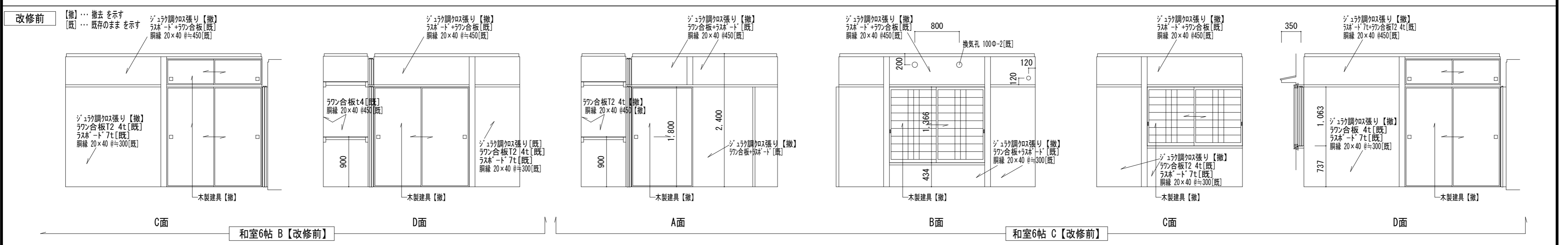
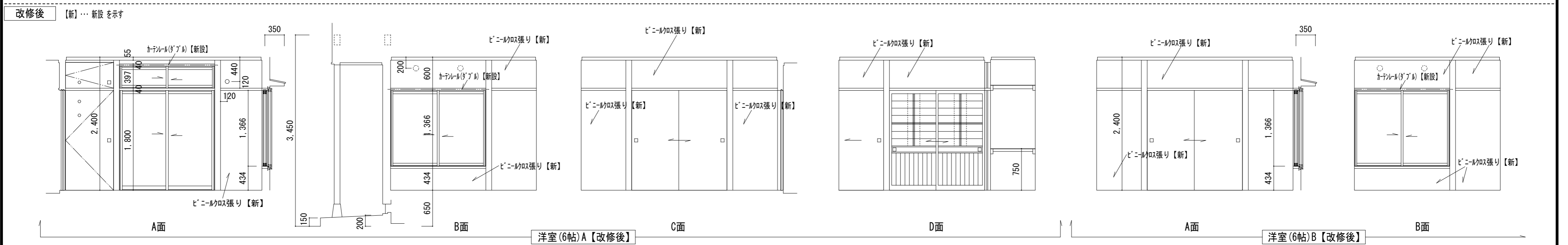
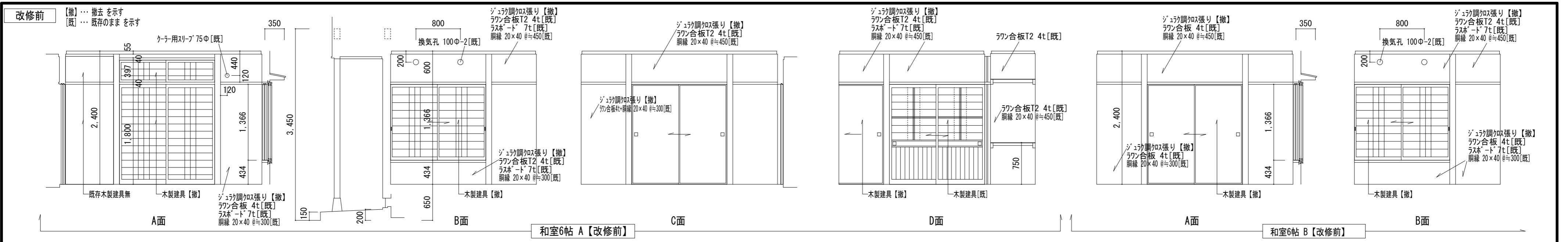
天井伏図【改修後】 S=1/100



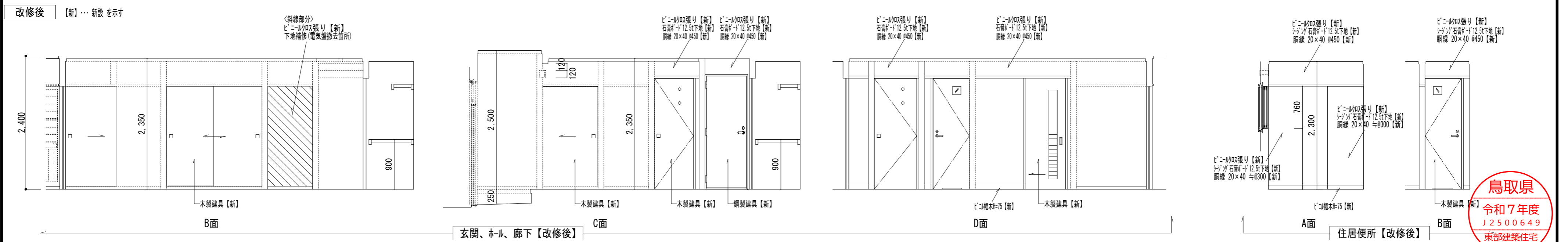
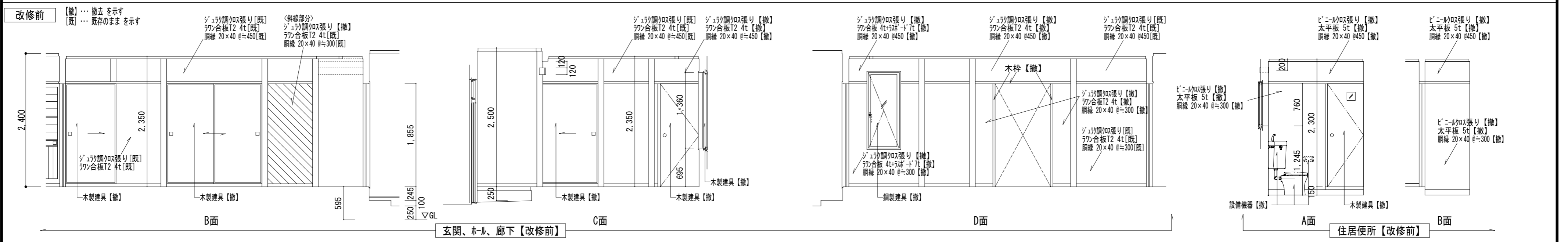
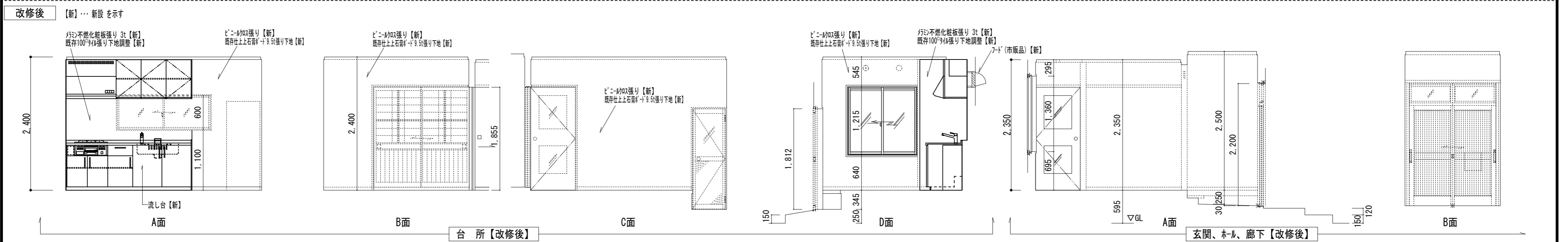
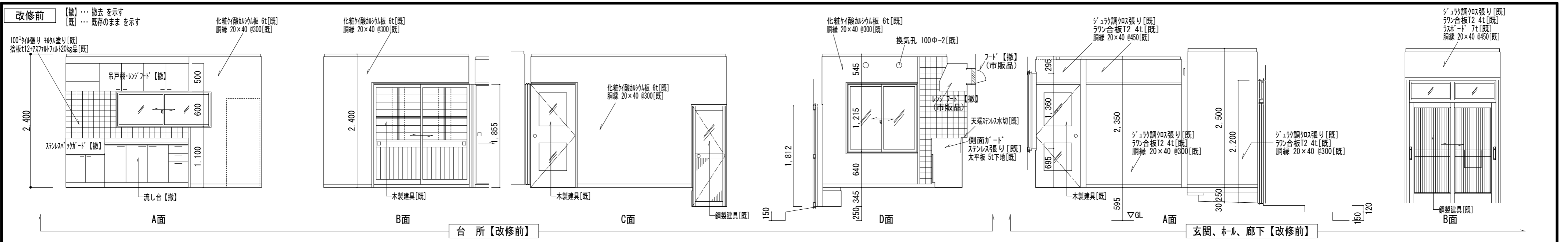
鳥取県
令和7年度
J2500649
東部建築住宅
事務所

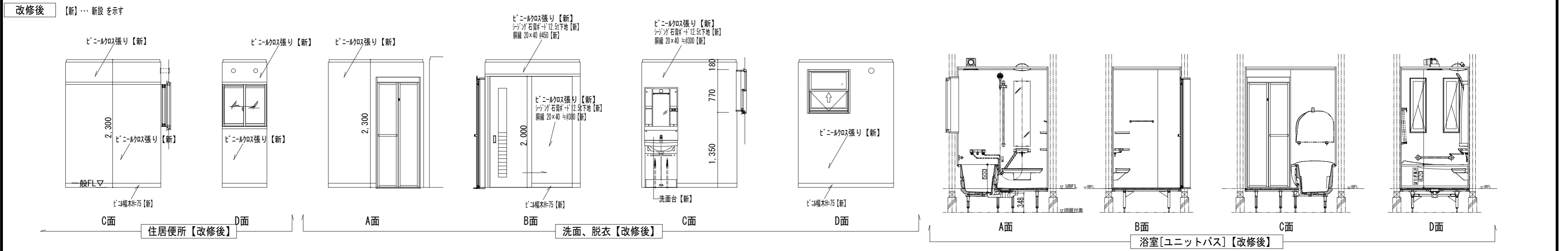
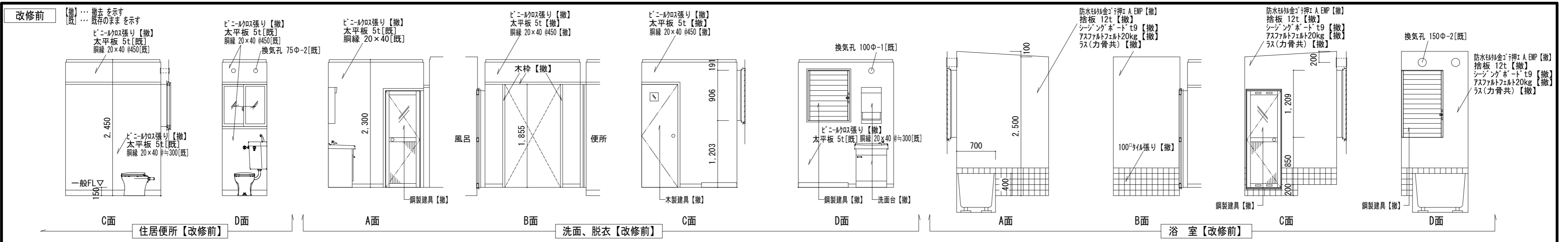
株式会社 **テイク◆住宅・地域システム研究所**
一級建築士事務所（鳥取県知事登録 第05-1283号）・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

智頭警察署佐治駐在所改修工事
DATE 07.11.
D.T 展開図(1)【改修前】【改修後】 C.K D.G
S 1/50
管理建築士 大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義
No. **A-17**
(図面サイズ A2版)
※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。

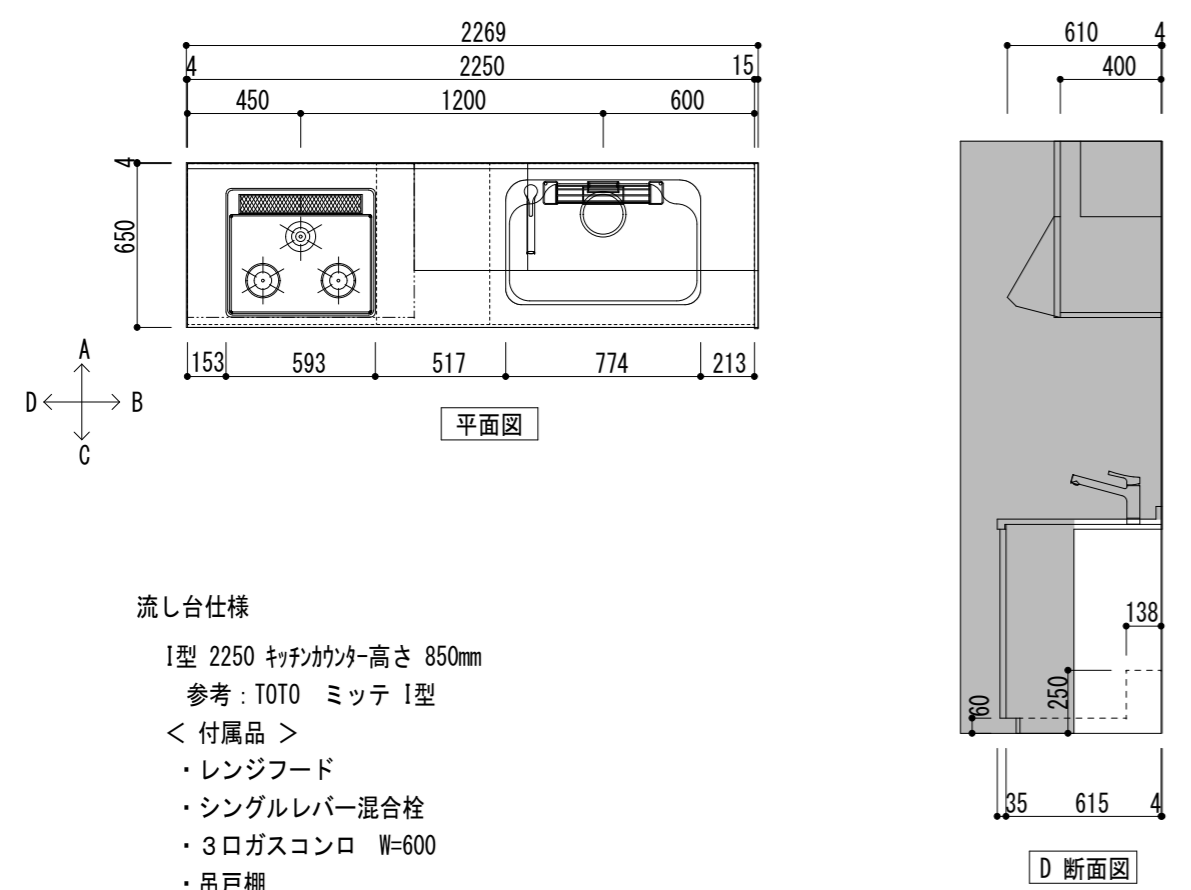


※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。

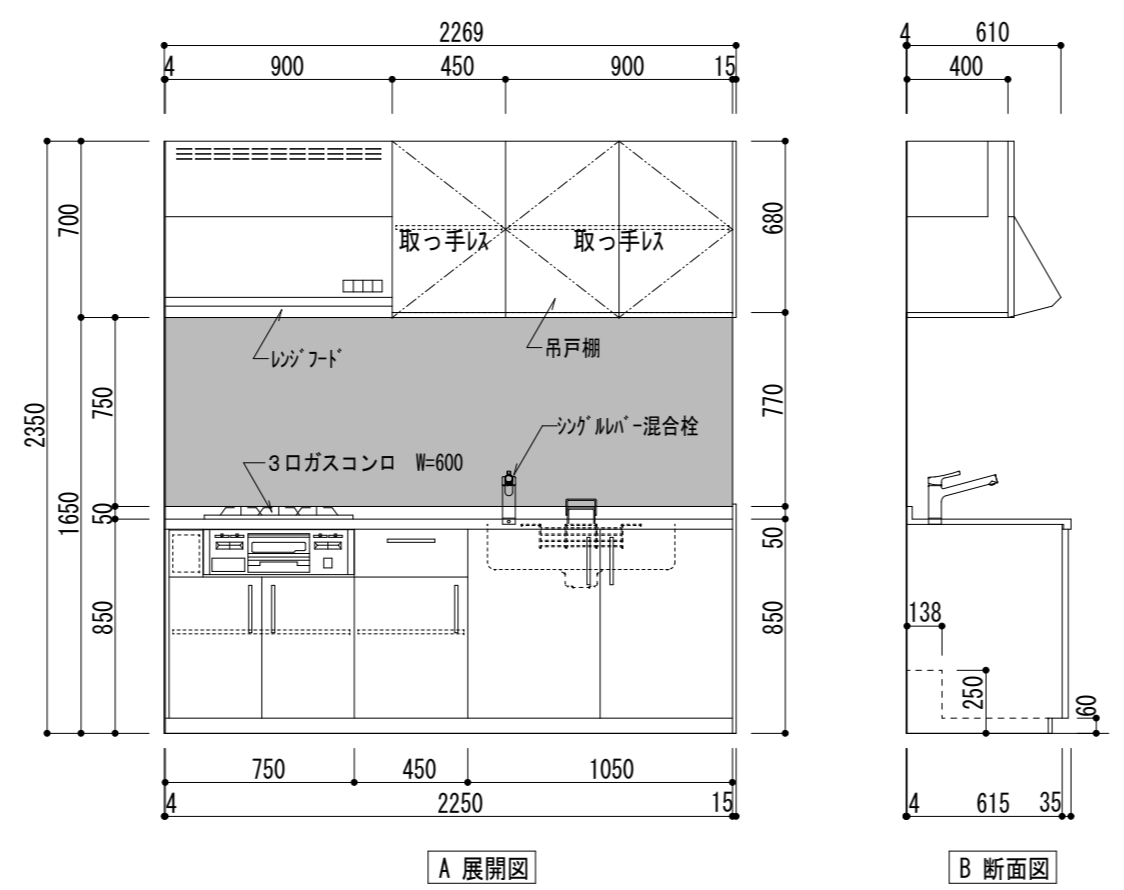




流し台：I型 W2250（参考：TOTO ミット）【新設】 1/30

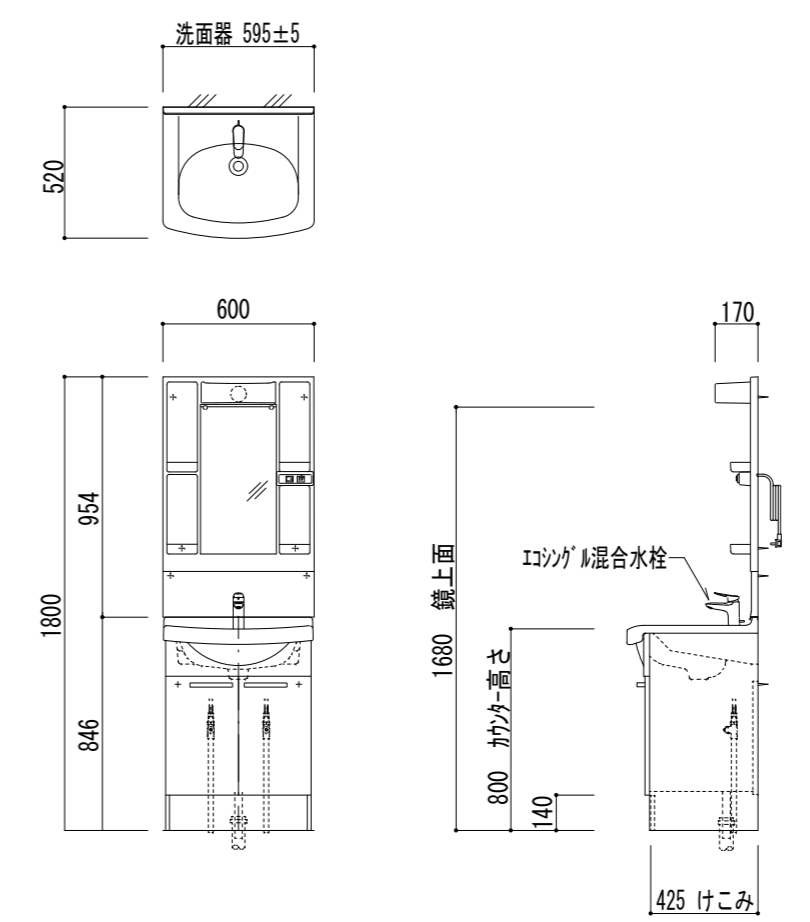


流し台仕様
I型 2250 キャッチャー高さ 850mm
参考：TOTO ミット I型
< 付属品 >
・レンジフード
・シングルレバー混合栓
・3口ガスコンロ W=600
・吊戸棚
※ 配管 配線 ダクト接続は電気設備図・機械設備図参照



凡例
■ キッチンパネル貼(キッチン工事)

洗面化粧台 + 一面鏡 [LD付属品共] 600W（参考：TOTO Aシリーズ）【新設】 1/30



ユニットバス仕様（参考：TOTO システムバスワンステップ 1216 Sタイプ）

名称	仕様・寸法
天井パネル	化粧鋼板複合パネル（抗菌防カビ仕様・モール式） 点検口450（絞リ点検口・落下防止用紐付 石膏ボード2枚貼り）
壁パネル	HQパネル
正面アクセントパネル	HQパネル
床パネル	お掃除ラクラクほっかり床
ドア枠	アルミアルマイト処理
ドアパネル	折戸（スックリドア）中継なし 面材：型板ステン板 W=800（有効開口幅 671mm）H=2000
浴槽	魔法びん浴槽仕様 ゆるり浴槽 FRPバス（ステップなし） ワンタッチ排水栓
ふろふた	ラクかるふろふた 2枚割 断熱仕様
ふろふたフック	樹脂製 3個
カウンター	お掃除ラクラクカウンター W=730
浴槽水栓	TBV03437J型 壁付サーモスタッド混合金具 （スパウトL=220）
洗い場水栓	TBV04407J型 スッキリ排水栓（継W215） サーモスタッドシャワー金具
スライドパー シャワーヘッド	コンフォートシャワーバー（手振り兼用）L=1175（1095） コンフォートエアシャワー ホース：L=1800
ホースフック	樹脂製
照明	シーリング照明（電球形LEDランプ） 消費電力9W以下 60W相当 電球色 VVFL1.6φ×2C L=1.5m付
換気扇	AC100V 消費電力：10/12W（50/60Hz） カバー（抗菌・防カビ仕様）
給水管	接続口 P J 1/2止め
給湯管	接続口 P J 1/2止め
排水トラップ	ABS樹脂製 封水深50mm 接続口 VP50受口 取っ手付ヘアキャッチャー・封水筒（抗菌・防カビ仕様） 浴槽側逆流防止機構付
排水管 排水エルボ	VU管（2000mm）1本 末端切放し 90度エルボ（DL50） 3個
タオル掛け	ステンレスパイプ φ13 L=400
手すり（浴槽側短辺）	インテリアバー φ32 1型 L=600
収納棚	収納棚 W260 樹脂製 2個
鏡	お掃除ラクラク鏡 縦長ミラー ツメ式 W298×H1175
窓枠	フリーサイズ窓枠 最大内寸 D200W509H10 （シリコン同梱）

鳥取県
令和7年度
J2500649
東部建築住宅
事務所

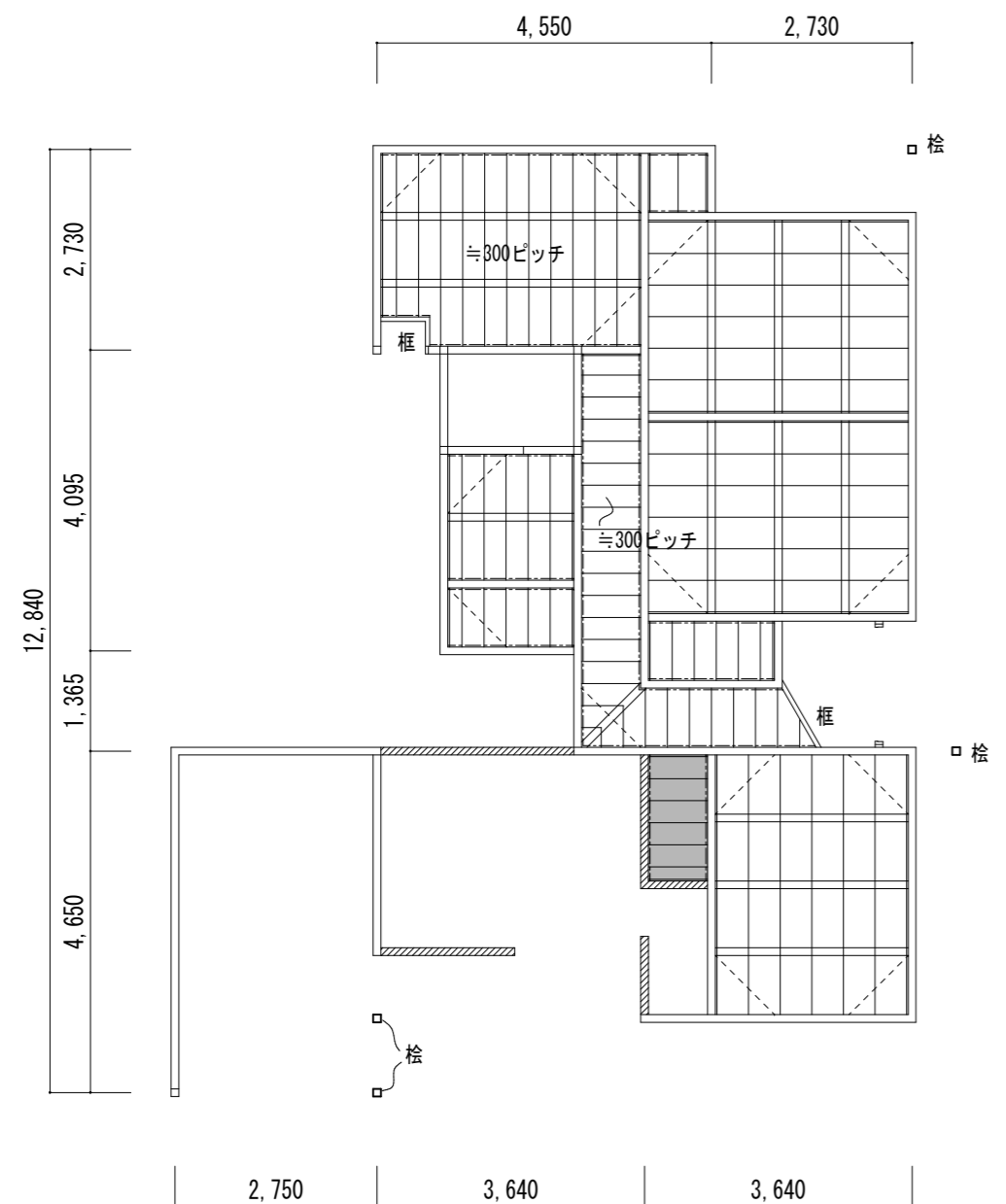
株式会社 **テイク◆住宅・地域システム研究所**
一級建築士事務所（鳥取県知事登録 第05-1283号）・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

智頭警察署佐治駐在所改修工事
DATE 07.11.
D.T 展開図(4)【改修前】【改修後】流し台・洗面化粧台図
C.K D.G
S 1/50 1/30
管理建築士 大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義
No. **A-20**
（図面サイズ A2版）
※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。

符号 ① AD 事務室玄関戸 : 1ヶ所 【撤去】 	① AW 事務室窓 : 1ヶ所 【撤去】 	② AW : 1ヶ所 【撤去】 	③ AW 事務室便所 : 1ヶ所 内倒し窓 【撤去】 	④ AW 車庫 : 1ヶ所 【既存のまま】 	① WD 事務室便所 : 1ヶ所 【撤去】 	② WD 事務室廊下境 : 1ヶ所 【撤去】 	② AD 住居玄関戸 : 1ヶ所 【既存のまま】 		
材質 カラーアルミ (ブロンズ) 見込≒65 金物 附属品一式 硝子 フロート板 F Lt3 備考 腰: アルミパネル、シリコン止め ランマ: 可動アミ戸付	カラーアルミ (ブロンズ) 見込≒60 アルミ屋根、廻縁、化粧底板、井桁飾り格子、 その他附属金物 1式 フロート板 F Lt3 ポストフォーム地板 可動アミ戸付	附属金物 1式 上下共: 可動アミ戸付	見込≒65 トップラッチ錠、 アームストッパー 型板 Ft2 アミ戸付	見込≒60 附属金物 1式 フロート板 F Lt3 アミ戸付	両面プリント合板フラッシュ戸、 見込≒36 丁番、表示錠、戸当り 型板 Ft2	見込≒36 丁番3枚吊、事務室: シリンダー 廊下: サムターン ドアスコープ、安全ぐさり ドアクローザー	カラーアルミ (ブロンズ) 見込≒70 召合せ錠、戸車、郵便受、外部側化粧額縁、引手 受箱共 型板 Ft4、t2 ランマ硝子止めはシーリング止め		
符号 ③ AD 勝手口 : 1ヶ所 【既存のまま】 【硝子取替】 	④ AD 浴室 : 1ヶ所 【撤去】 	⑤ AW ⑤ AW 和室 : 3ヶ所 5'AW : 1ヶ所 【既存のまま】 	⑥ AW 和室(A) : 1ヶ所 【既存のまま】 	⑦ AW 台所 : 1ヶ所 【既存のまま】 【硝子取替】 	⑧ AW 台所 : 1ヶ所 【既存のまま】 	⑨ AW ⑨ AW 浴室 : 各1ヶ所 9'AWは洗面 【撤去】 	⑩ AW 便所 : 1ヶ所 【既存のまま】 	⑪ AW ホール : 1ヶ所 【撤去】 	
アルミ (シルバー) 見込≒45 丁番、シリンダー錠、ドアチェック サムターン付 型板 Ft2 腰: アルミパネルはシーリング止め	見込≒40 丁番、非常解錠装置付錠、 アームストッパー フロート板 F Lt3 框に換気付 腰: アルミパネルはシーリング止め	カラーアルミ 見込≒60 クレセント、戸車 フロート板 F Lt3 可動アミ戸付	カラーアルミ 見込≒60 型板 Ft4、フロート板 F Lt3 ランマ共可動アミ戸付	見込≒55 型板 Ft2、FIX部はフロート板 F Lt3 屋根付カラーアルミ、天板: メラミン化粧板 地板: ステンレス貼り 可動アミ戸付	見込≒60 型板 Ft2 可動アミ戸付	見込≒65 オペレーターハンドル 型板 Ft6 アミ戸付	見込≒60 クレセント、戸車 型板 Ft2 アミ戸付	見込≒65 カムラッチハンドル、引出しアーム フロート板 F Lt3	
符号 ③ WD 住居便所 : 1ヶ所 【撤去】 	④ WD 台所・廊下境 : 1ヶ所 【既存のまま】 	① F 和室6帖C・ホール境 : 1ヶ所 【撤去】 	② F 和室6帖B・和室6帖C : 2ヶ所 【撤去】 	③ F ④ F 和室6帖B・廊下境 和室6帖B・和室6帖C境 各1ヶ所 = 2ヶ所 【撤去】 	⑤ F 和室6帖A・廊下境 : 1ヶ所 【撤去】 	⑥ F 和室6帖A : 1ヶ所 【既存建具無】 	① GS 和室6帖A・台所境 : 1ヶ所 【既存のまま】 	① S ① S 和室 1' / S : 3ヶ所 1' / S : 1ヶ所 【撤去】 	② S 和室6帖A : 1ヶ所 【撤去】
両面プリント合板フラッシュ戸 見込≒36 丁番3枚吊、表示錠、戸当り 型板 Ft2	両面フスマ 見込≒18 丁番3枚吊、空錠、戸当り 型板 Ft2	見込≒18 引手	見込≒18 引手	見込≒18 引手	見込≒18 引手	取手、マグネット、 エアースキ 取手、マグネット、 エアースキ	硝子障子 見込≒32 障子、紙張り共 見込≒30 フラッターレール、平戸車、引手 引手 上部: 型板 Ft2、中間部: フロート板 F Lt3 腰: 両面プリント合板 t2.5+2.5=5mm	障子、紙張り共 見込≒30 引手	見込≒30 引手 ランマ共令和7年度 12500649 東部建築住宅 事務所

符号	① AD 事務室玄関戸 : 1ヶ所	① AW 事務室 : 1ヶ所	② AW 地域交流室 : 1ヶ所	③ AW 事務室便所 : 1ヶ所	⑨ AW 浴室(ユニットバス) : 2ヶ所	⑨ AW 洗面脱衣 : 1ヶ所	① SS 車庫 : 1ヶ所	① ASP 事務室~ : 1ヶ所 地域交流室	
形状	【新設】断熱土間引戸2枚建 100 POLICE カテナイト文字貼 6文字 断熱腰パネ 1.690 2.230	【新設】上げ下げ窓 730 1.170	【新設】縦すべり出し窓 250 1.170	【新設】上げ下げ窓 630 770	【新設】縦すべり出し窓 300 970	【新設】上げ下げ窓 770 770	【新設】軽量シャッター 2.600 2.400	【新設】片引き戸(3枚建) ≒3.480 ≒2.430	
材質	アルミ樹脂複合枠 見込=86	アルミ樹脂複合枠 見込=86	アルミ樹脂複合枠 見込=86	アルミ樹脂複合枠 見込=86	アルミ樹脂複合枠 見込=86	アルミ樹脂複合枠 見込=86	スラット : 材-鋼板0.5t レール・座板 : SUS	アルミスクリーンパーティション 上吊りタイプ 見込=70	
金物	引手 召し合せ錠(片側4ヶ所) SUS土間レール 戸車	クレント 網戸 他附属金物一式	クレント 網戸 他附属金物一式	クレント 網戸 他附属金物一式	クレント 網戸 他附属金物一式	クレント 網戸 他附属金物一式	標準金物一式 専用錠	標準金物一式	
硝子	Low-E防災安全合せガラス (LowE3+A11+FL3+60S&M+FL3)	Low-E防災安全合せガラス (LowE3+A11+FL3+60S&M+FL3)	Low-E防災安全合せガラス (LowE3+A11+FL3+60S&M+FL3)	Low-E防災安全合せガラス (LowE3+A11+FL3+60S&M+FL3)	Low-Eガラス (LowE3+A15+F4)	Low-Eガラス (LowE3+A15+F4)		面材 : ガラスカーマツ調	
備考								<参考メーカー> YKK AP ミニテリ7建材 スクリーンパーティション	
符号	① LSD 事務室~ : 1ヶ所 控室	② LSD 事務室~ : 1ヶ所 廊下	① JW ①' JW 洋室 : 3ヶ所 1' / JW : 1ヶ所	② JW 洋室(A) : 1ヶ所	③ JW 台所 : 1ヶ所	⑦ AW 台所 : 1ヶ所	③ AD 台所 : 1ヶ所	① WD 事務室便所 : 1ヶ所	② WD ②' WD 住居廊下収納
形状	【新設】鋼製軽量ドア7枚 700 2.000	【新設】鋼製軽量ドア7枚 700 2.000 下枠無	【新設】引違い窓(内窓) ※0寸寸法 1' / JW ≒1.720 ≒1.365 ≒1.060	【新設】欄間付引違い掃き出し窓(内窓) ≒1.720 ≒1.800	【新設】引違い窓(内窓) ≒1.265 ≒1.215	【ガラス取替】 1.724 606	【ガラス取替】 584 1.812	【新設】720 150 150 150 150 2.000 720 720 ※0寸寸法 WD-2	【新設】710 (770) 2.000
材質	材-鋼板 0.6t 見込=80 扉厚=36	材-鋼板 0.6t 見込=80 扉厚=36	※製作寸法は現場実測による。 住宅用 断熱内窓サッシ 見込=70	※製作寸法は現場実測による。 住宅用 断熱内窓サッシ 見込=70	※製作寸法は現場実測による。 住宅用 断熱内窓サッシ 見込=70	見込=55	見込=45	ポリ合板フラッシュ戸 見込=36	ポリ合板フラッシュ戸 見込=36
金物	標準金物一式 シリカ-錠 レバー-ハンドル 丁番 DC	標準金物一式 シリカ-錠 レバー-ハンドル 丁番 DC	クレント 他附属金物一式	クレント 他附属金物一式	クレント 他附属金物一式			表示錠付レバー-ハンドル、丁番、戸当り	取手、マグネット、エアースキ
硝子			Low-Eガラス (LowE3+A12+FL3)	Low-Eガラス (LowE3+A12+FL3)	Low-Eガラス (LowE3+A12+FL3)	真空ガラス (LowE3+V0.2+F3)	真空ガラス (LowE3+V0.2+F3)	樹脂板 2t	
備考		ドアコーブ						720-カット	
符号	③ WD 住居便所 : 1ヶ所	③ WD 洗面脱衣 : 1ヶ所	④ WD 台所・廊下境 : 1ヶ所	①(F) WD 洋室(6帖)C・ネ-境 : 1ヶ所	②(F) WD 洋室(6帖)C : 1ヶ所	②(F) WD 洋室(6帖)B : 1ヶ所	③(F) WD ④(F) WD 洋室(6帖)廊下境 洋室(6帖)洋室(6帖)境 各1ヶ所 = 2ヶ所	⑤(F) WD 洋室(6帖)A・廊下境 : 1ヶ所	⑥(F) WD 洋室(6帖)A : 1ヶ所
形状	【新設】650 150 150 150 150 2.000 720-カット15mm	【新設】750 730 150 150 2.000 800 800	【既存のまま】805 500 150 600 500 300 1.855 720-カット15mm	【新設】1.100 1.080 1.800	【新設】1.720 1.800	【新設】1.720 465 1.800	【新設】1.720 1.800	【新設】910 810 1.800	【新設】870 465 1.800
材質	ポリ合板フラッシュ戸 見込=36	ポリ合板フラッシュ戸 見込=36	ポリ合板フラッシュ戸 見込=30	ポリ合板フラッシュ戸 見込=30	ポリ合板フラッシュ戸 見込=30	ポリ合板フラッシュ戸 見込=30	ポリ合板フラッシュ戸 見込=30	ポリ合板フラッシュ戸 見込=30	ポリ合板フラッシュ戸 見込=30
金物	表示錠付レバー-ハンドル、丁番、戸当り		引手	引手	引手	引手	引手	引手	取手、マグネット、エアースキ
硝子	樹脂板 2t	樹脂板 2t							
備考	720-カット		720-カット【新設】						

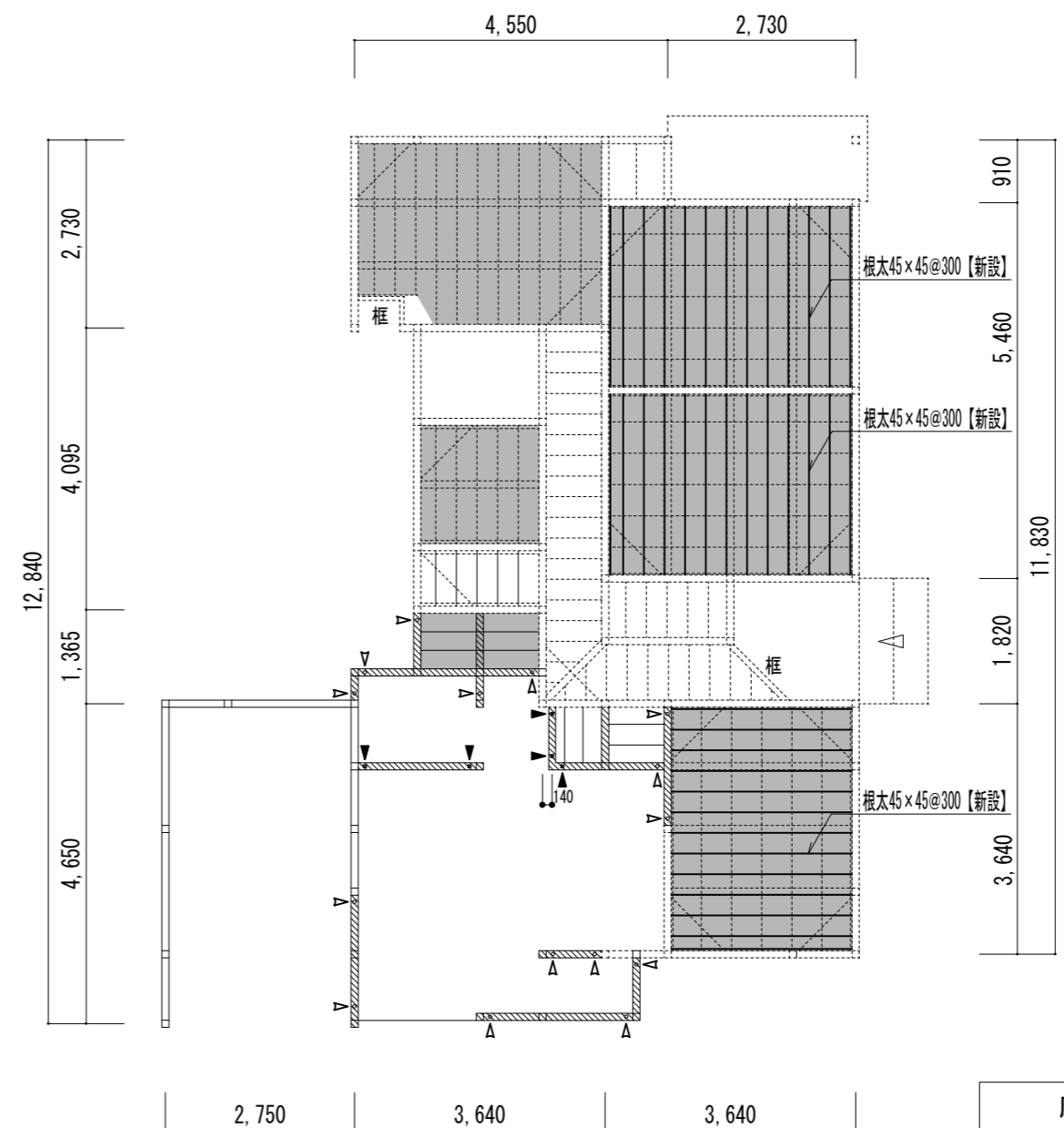




土台	防腐注入材	105×105
半土台	防腐注入材	
火打土台	防腐注入材	105×105
大引	105×105	4方ルオット塗
束	防腐注入材	105×105
根太	60×45	3方ルオット塗
根太受け	90×45	4方ルオット塗
柱	105×105	
ラス地	捨て板	12t
スノコ	105×40	
框	玄関	105×80
	勝手口	60×80

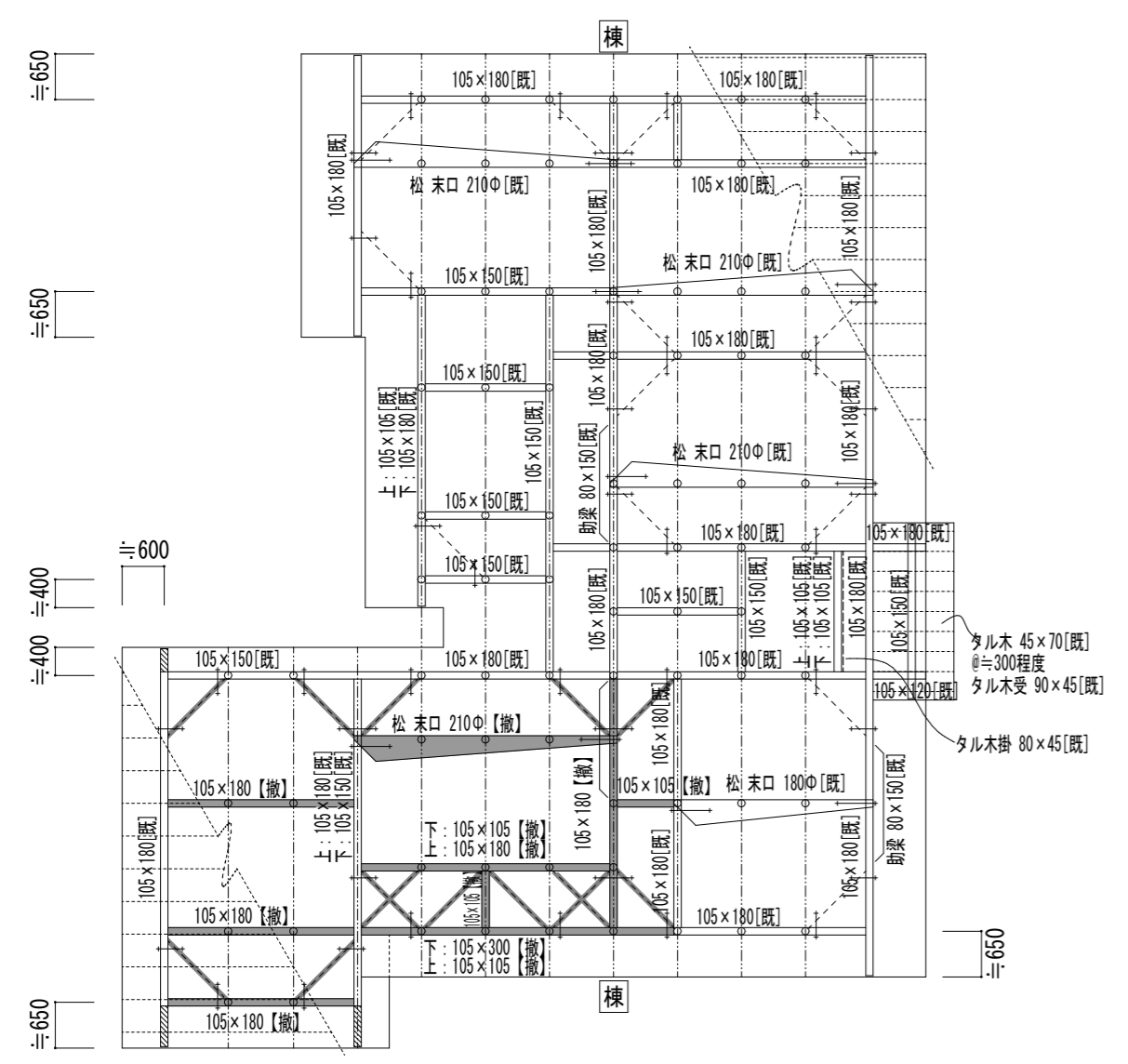
凡例	
	既存撤去土台を示す。
	既存撤去根太箇所を示す。

床伏図【改修前】 S=1/100



凡例	
	新設土台を示す
	フェノールホルム断熱材1種 45t敷込み
	アンカー 鉄 M12×450
	アンカー 鉄 M12×≒350(寸切鉄 鉄) グリップ アンカ-

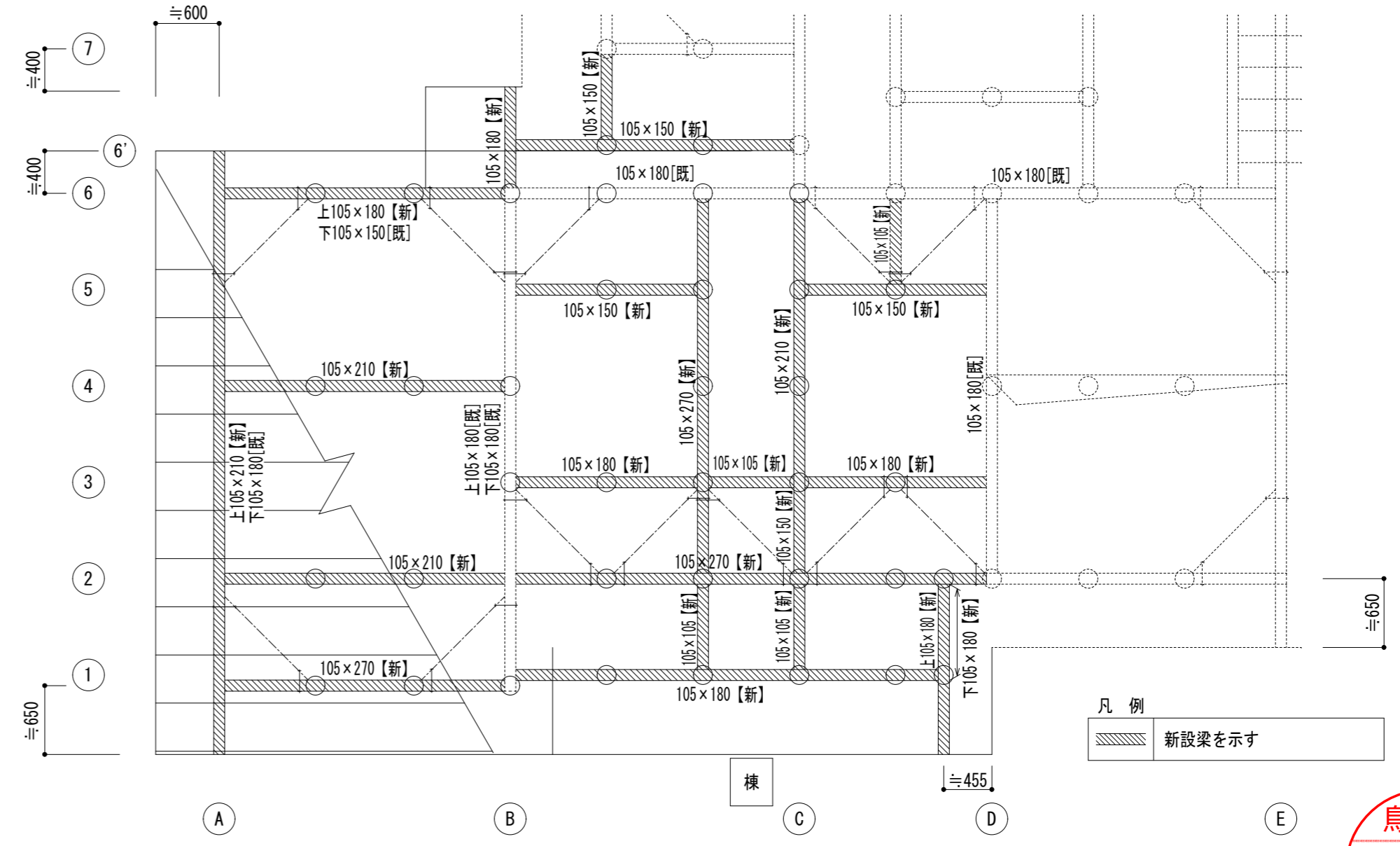
床伏図【改修後】 S=1/100



母屋	105×105
タルキ	60×60 @455ピッチ
小屋束	105×105
火打梁	BOLT止め12径 105×105
丸太梁	1.5K 末口180径 羽子板 止12径
丸太梁	2K 末口210径 羽子板 止12径
助梁	80×150 羽子板 止12径
記入なき梁	105×105
広小舞、登材共	25×90
鼻隠し	20t×150
破風板	20t×180

凡例	
	既存梁切断箇所を示す。
	既存撤去梁を示す。
	既存撤去火打梁を示す。

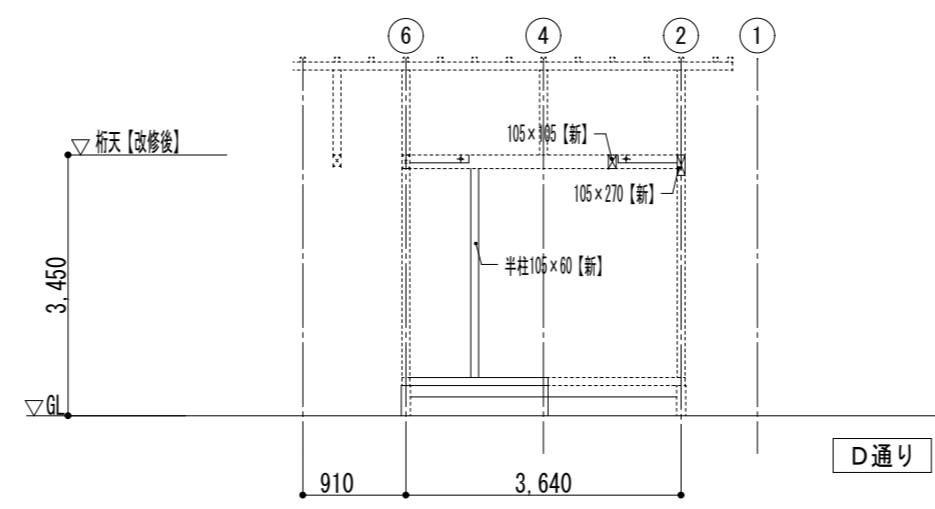
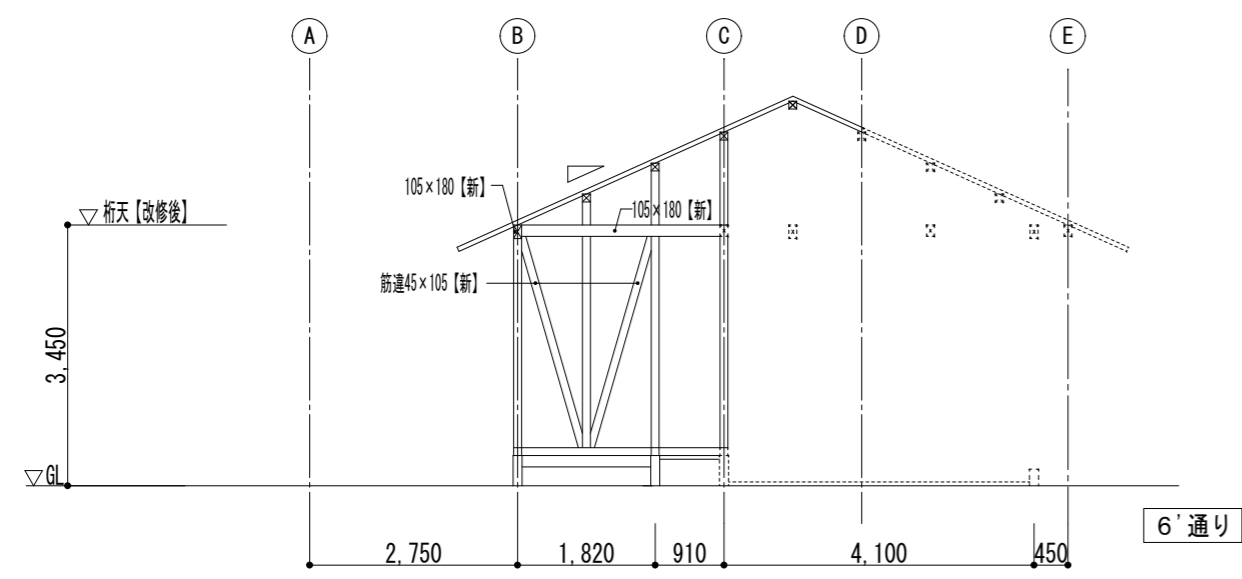
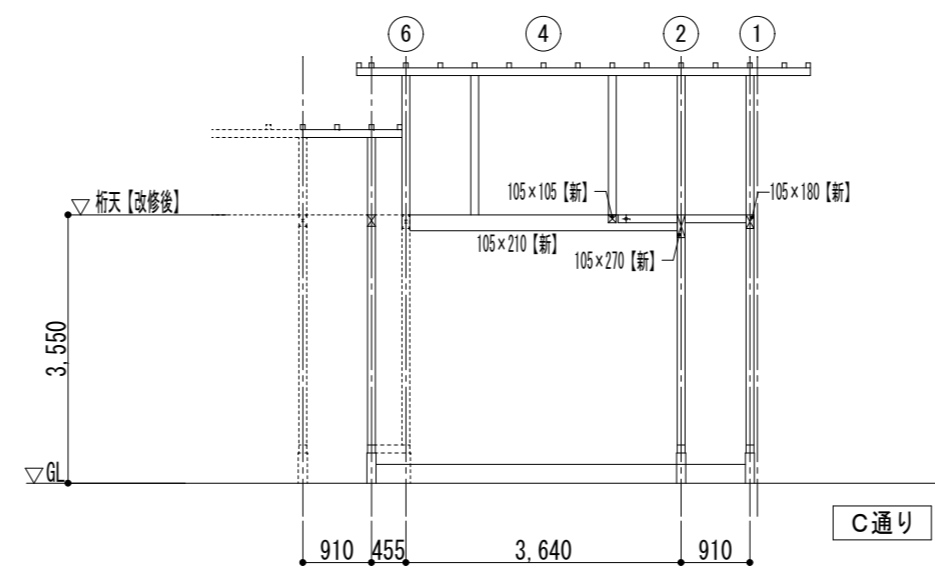
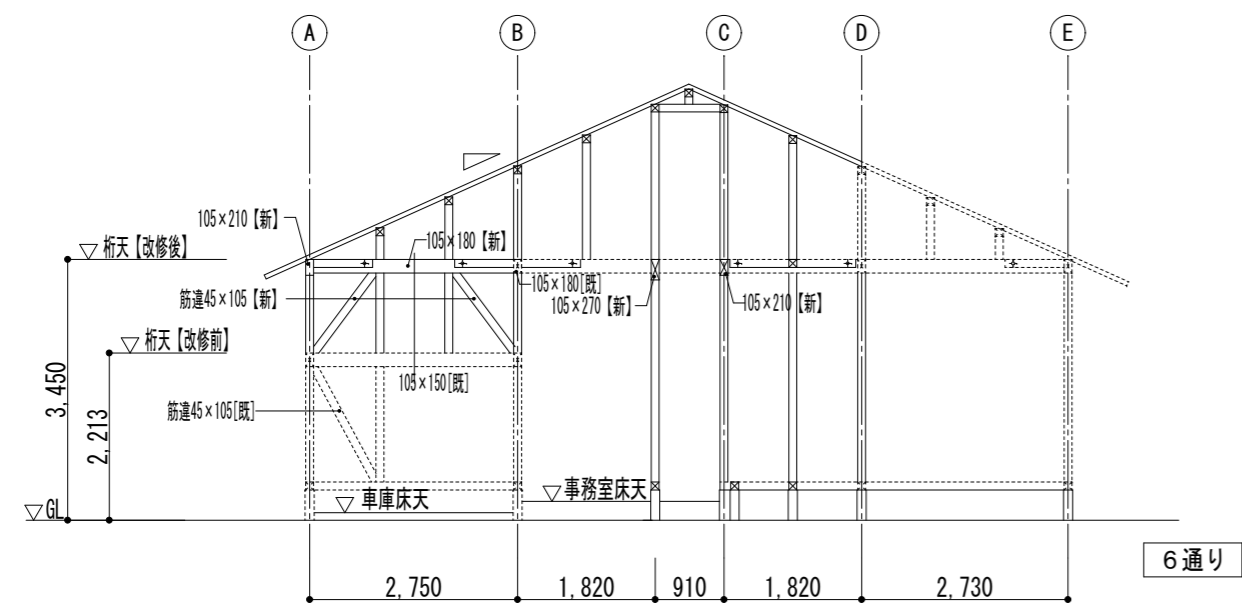
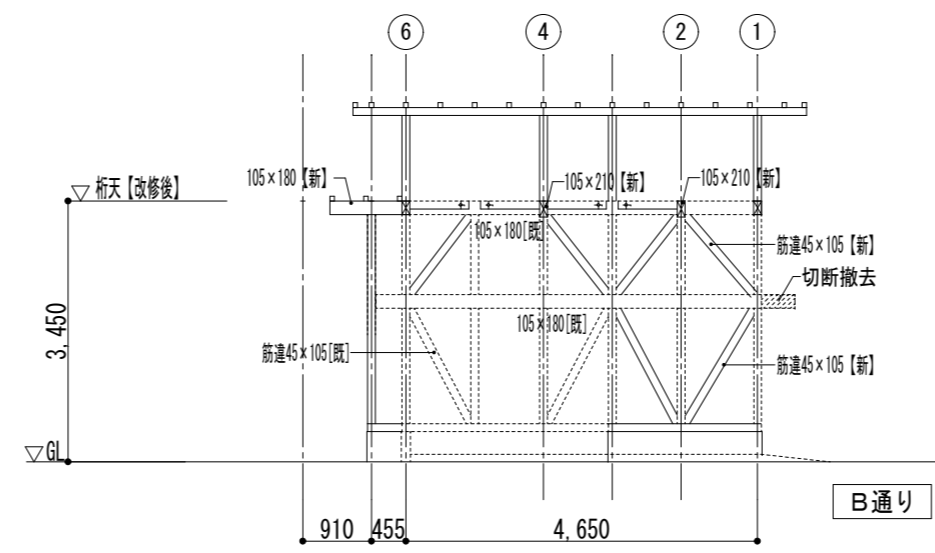
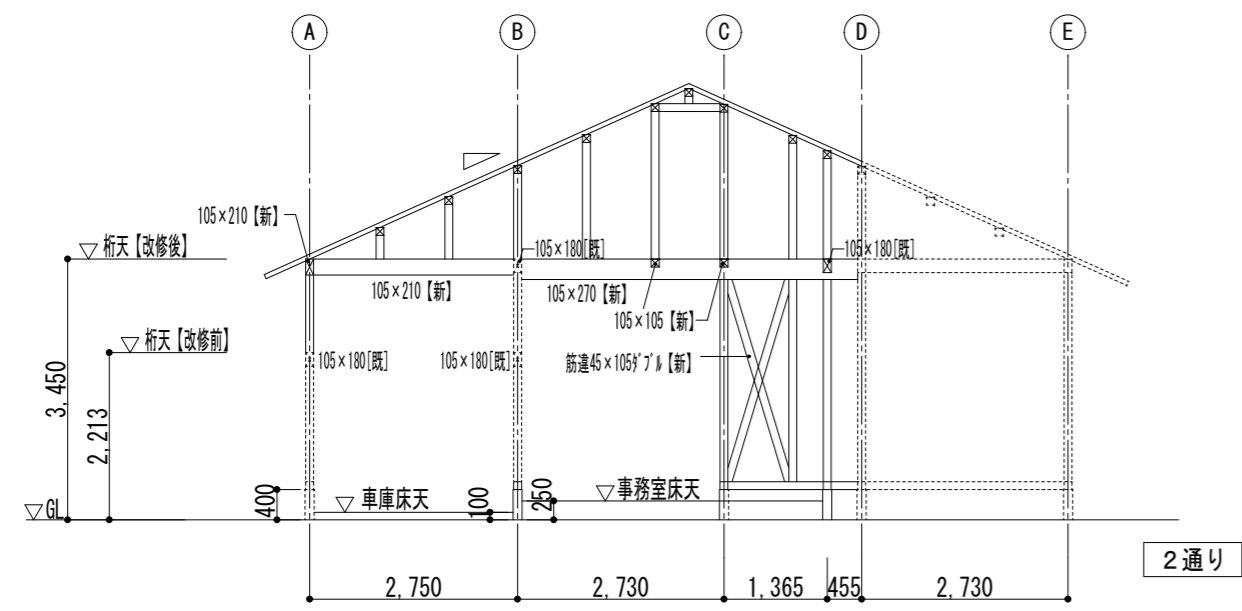
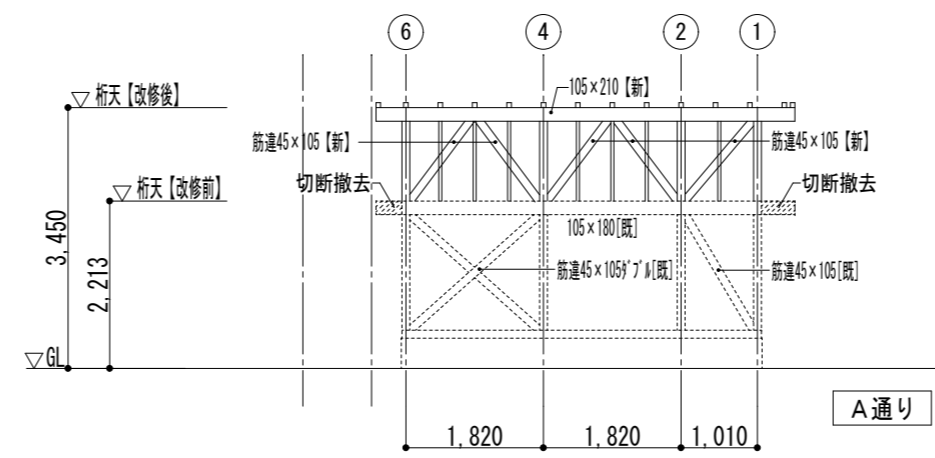
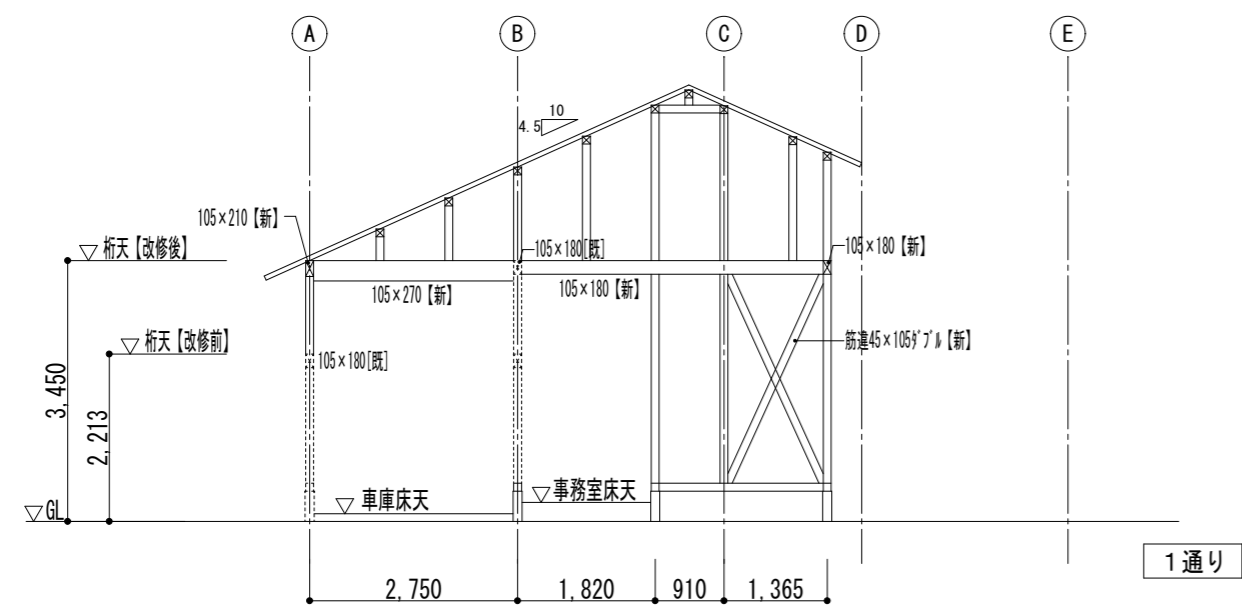
小屋伏図【改修前】 S=1/100 ※ 軒出・ケラバ出は瓦割りによる



凡例	
	新設梁を示す

小屋伏図【改修後】 S=1/50 ※ 軒出・ケラバ出は瓦割りによる





軸組図【改修後】 S=1/100

鳥取県
令和7年度
J2500649
東部建築住宅
事務所

株式会社 テイク ◆ 住宅・地域システム研究所
一級建築士事務所 (鳥取県知事登録 第05-1283号) ・ 測量土木設計事務所 ・ 補償コンサルタント ・ 土地家屋調査士事務所他

智頭警察署佐治駐在所改修工事

DATE
07. 11.

管理建築士
大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義

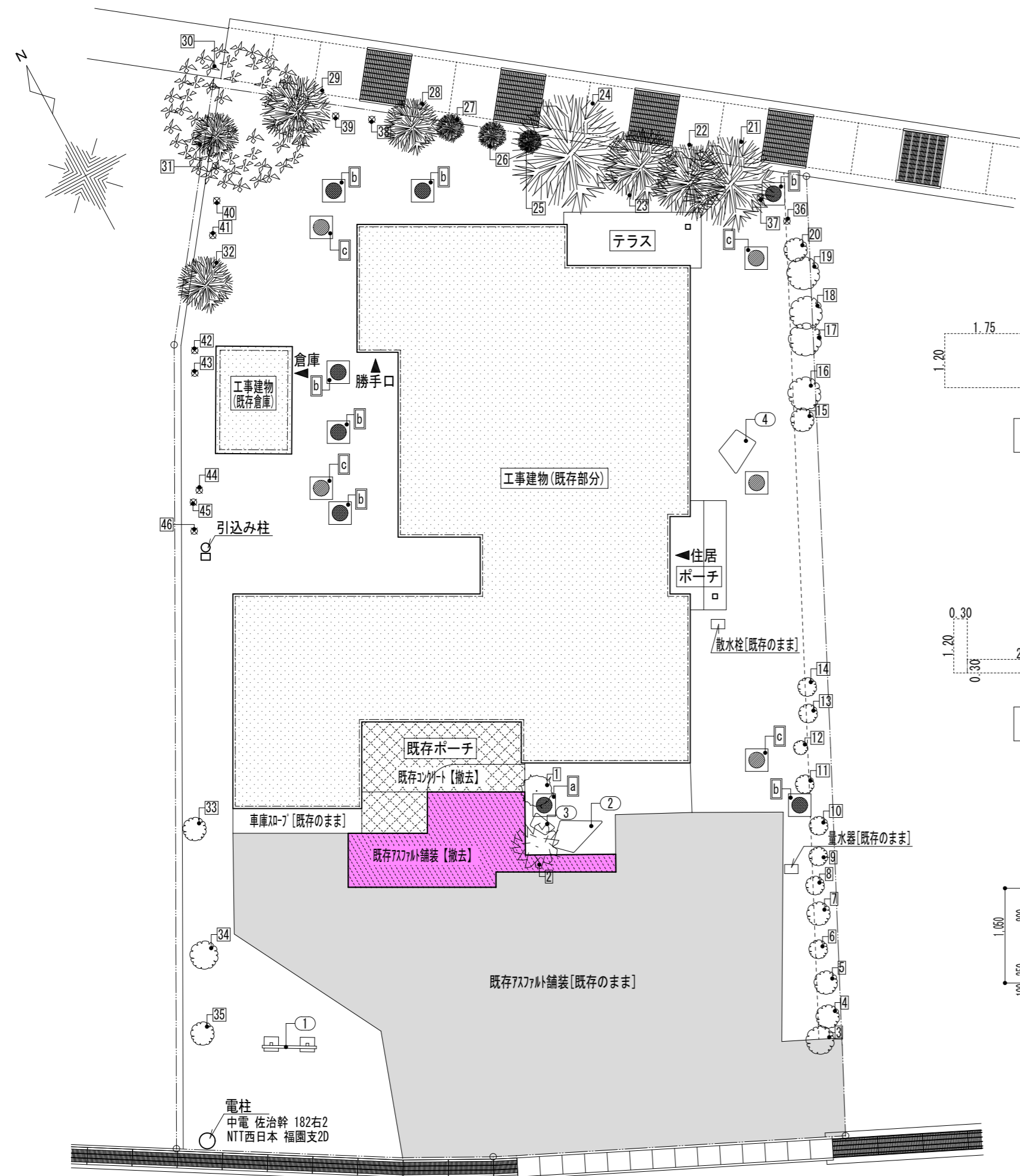
No. A-25

D. T 軸組図【改修後】
S S=1/100

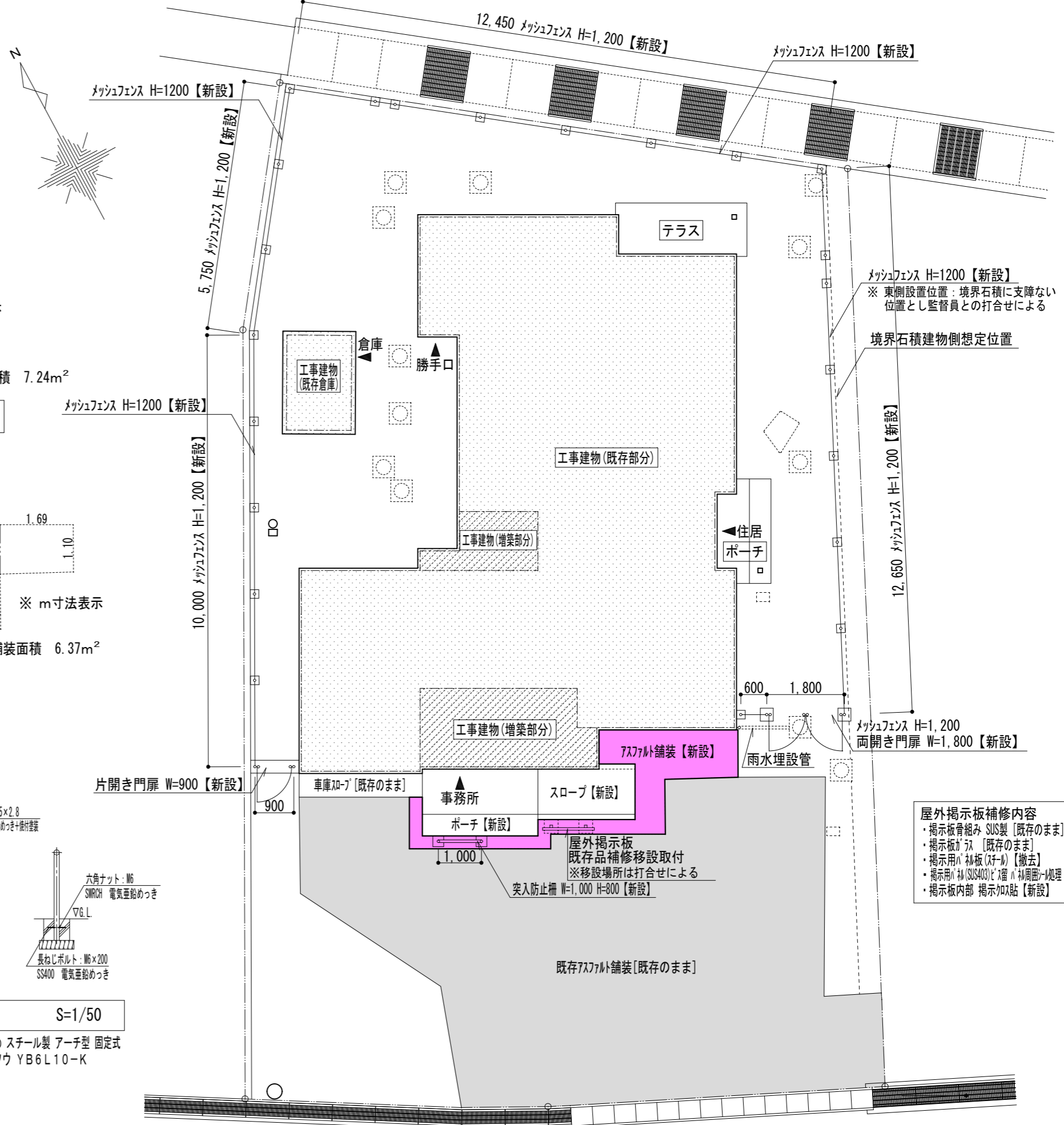
C. K D. G

(図面サイズ A2版)

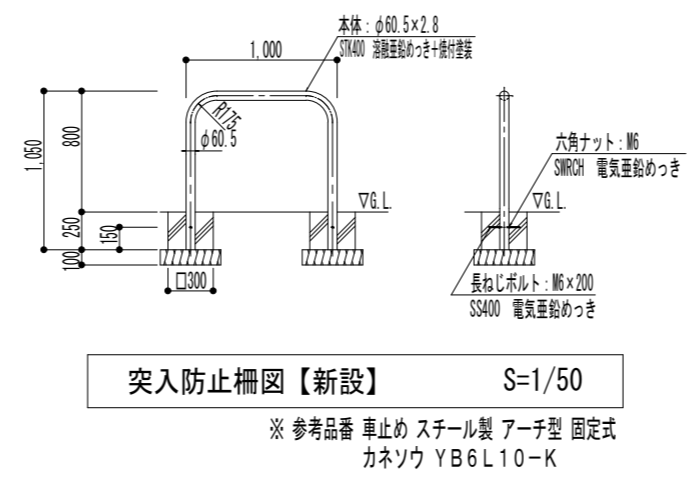
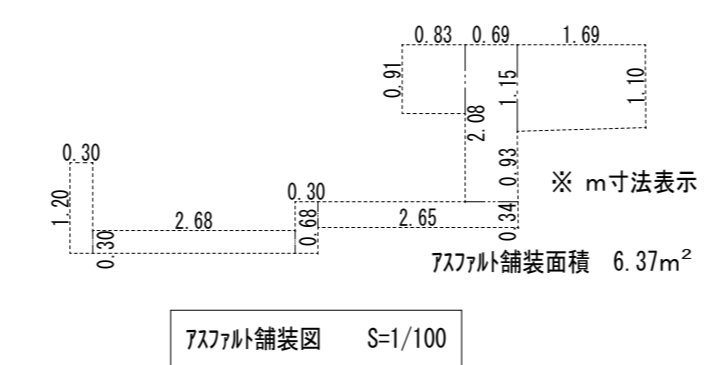
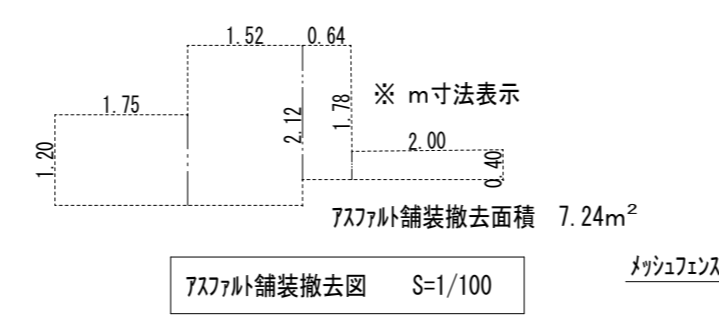
※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。



外構平面図【改修前】 S=1/100



外構平面図【改修後】 S=1/100



突入防止柵図【新設】 S=1/50
※ 参考品番 車止め スチール製 アー子型 固定式 カネソウ YB6L10-K

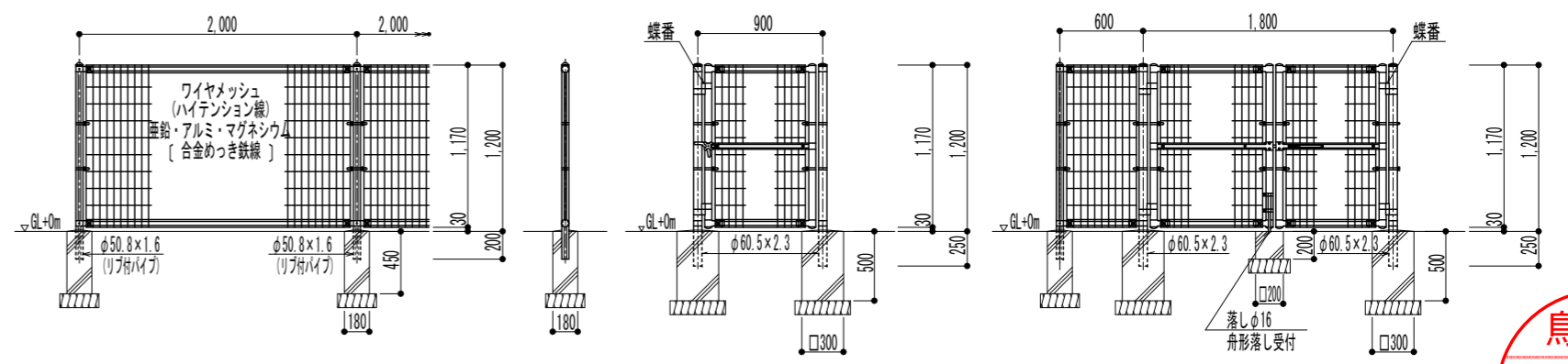
植栽撤去リスト ※ 植栽撤去は伐採・伐根までとし、樹種及び各部寸法は参考とする。

記号	樹種等	樹高H(m)	枝張W(m)	幹周(cm)	本数	備考(参考)	番号	樹種等	樹高H(m)	枝張W(m)	幹周(cm)	本数	備考(参考)
1	常緑樹・落葉樹	1.2	0.7	—	1	ナシ	25~27	常緑樹	1.2~1.7	0.5~0.6	15	3	コナラ
2	半常緑樹	0.8	1.0	—	1	ササ	28	常緑樹	3.0	1.8	18	1	コナラ
3~20	常緑樹	0.3~0.9	0.4~1.0	—	18	マサキ	29	常緑樹	2.0	0.9	15	1	コナラ
21	常緑樹	2.7	2.0	20	1	コナラ	30	落葉樹	3.0	3.2	30	1	イロモミ
22	常緑樹	2.6	1.6	18	1	コナラ	31~32	常緑樹	1.2~1.6	1.0~1.2	10~15	2	コナラ
23	常緑樹	2.4	1.6	15	1	コナラ	33~35	常緑樹	0.5~0.7	0.6~0.8	—	3	マサキ
24	常緑樹	3.0	2.5	20	1	コナラ	36~46	—	—	—	11	根(枯木)	

※ 植栽を撤去し生じた不陸箇所は真砂土で埋戻を行う。既存の防草シートは既存のままとする。

凡例

記号	工事内容
1	屋外掲示板 掲示面補修の上、移設再取付 SUS製 1,200W 1,800H
2	庭石 [1230×760×400H] 敷地内移設設置 ※ 設置位置は打合せによる。
3	庭石 [540×510×250H] 敷地内移設設置 ※ 設置位置は打合せによる。
4	庭石 既存のまま
a	汚水樹 撤去 ※ 機械設備工事
b	汚水樹 既存のまま
c	雨水樹 既存のまま



メッシュフェンス図【新設】 S=1/50

屋外掲示板補修内容
 ・ 掲示面補修 SUS製【既存のまま】
 ・ 掲示面ガラス【既存のまま】
 ・ 掲示面パネル【撤去】
 ・ 掲示面パネル(SUS400)に1層の樹脂板を貼付【新設】
 ・ 掲示面内部 掲示面貼付【新設】



<p>一般共通事項</p> <p>15 工事用仮設物</p> <p>⑩ 土工事</p> <p>⑪ 電線類</p> <p>⑬ 電線本数・管路等</p> <p>19 屋外露出配管の仕上げ</p> <p>20 露出配管の塗装（付属品含む）</p> <p>21 波付硬質合成樹脂管 (FIP)</p> <p>⑫ フラッシュプレートの材質</p> <p>⑭ カバープレートの表示</p> <p>24 プルボックスの塗装</p> <p>25 耐震施工</p> <p>⑯ 接地極</p> <p>2⑧ 屋上、屋側の支持金物等</p> <p>2⑨ 結露防止</p> <p>29 アスベスト含有建材の処理</p>	<p>構内につくることが ※ できる ・できない</p> <p>埋め戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ・山砂の類 () ・真砂土 ()</p> <p>建設発生土の処理 ・構外に搬出適切に処理 ※ 構内敷きならし ・構内の指示する場所に堆積</p> <p>本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。</p> <p>EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。</p> <p>通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。</p> <p>盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。</p> <p>ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。</p> <p>分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。</p> <p>屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ [めっき付着量 300g/m²以上] とする。</p> <p>塗装する部分 ・屋上 ・屋側 ・屋外 ・廊下 ・機械室 ・居室 () ・</p> <p>波付硬質合成樹脂管 (FIP) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。</p> <p>● 金属製 (ステンレス、新金属も含む) ● 樹脂製</p> <p>シールを貼付し、用途を表示する。</p> <p>ステンレス製プルボックスの塗装 ※ 無 (素地仕上) ・有 (指定色仕上)</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力、機器重量 [kN] に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">設計用標準水平震度</th> <th colspan="2">● 特定の施設</th> <th colspan="2">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器種別</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">上層階 屋上及び塔屋</td> <td>機 器</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中間階</td> <td>機 器</td> <td rowspan="2">1.5</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地下及び1階</td> <td>機 器</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>0.6</td> </tr> </table> <p>上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 水槽類には燃料小出槽を含む</p> <p>重要機器 (● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信統合盤 ●)</p> <p>2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。</p> <p>接地極の材料は次による。</p> <table border="1"> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記 号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接 地 極</th> </tr> <tr> <td>● 共同接地</td> <td>EAED</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● 共同接地</td> <td>EAECED</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● A種</td> <td>EA</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● B種</td> <td>EB</td> <td>Ω以下</td> <td>EB×2連-2組</td> </tr> <tr> <td>● C種</td> <td>EC</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>○ D種</td> <td>ED</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 高圧避雷器</td> <td>ELH</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>● 交換機用</td> <td>Et</td> <td>Ω以下</td> <td>EB×3連-1組</td> </tr> <tr> <td>● 通信用</td> <td>EAt</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB×3連-2組</td> </tr> <tr> <td>○ 通信用</td> <td>EDt及びEDa</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 電話引込口の保安器用</td> <td>ELt</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB×1</td> </tr> <tr> <td>● 測定用</td> <td>EO</td> <td>-</td> <td>EB×1</td> </tr> </table> <p>(連結の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする) (ED, EDt, EDa, ELt, EOの場合、EBはD=10 L=1000 または W=30 L=900 以上とする) (その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする)</p> <p>ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したのとする。</p> <p>外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。</p> <p>公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による、処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 県有施設石綿除去に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <p>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 (測定時期： 測定場所： 測定点：)</p> <p>● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。</p> <p>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 対象箇所 ()</p>	設計用標準水平震度		● 特定の施設		● 一般の施設		設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	2.0	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	1.5	水 槽 類	1.5	1.0	中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.0	水 槽 類	1.0	0.6	地下及び1階	機 器	1.0	1.0	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	0.6	水 槽 類	1.5	0.6	接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極	● 共同接地	EAED	10Ω以下	EB×3連-2組	● 共同接地	EAECED	10Ω以下	EB×3連-2組	● A種	EA	10Ω以下	EB×3連-2組	● B種	EB	Ω以下	EB×2連-2組	● C種	EC	10Ω以下	EB×3連-2組	○ D種	ED	100Ω以下	EB×1	● 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB×3連-2組	● 交換機用	Et	Ω以下	EB×3連-1組	● 通信用	EAt	10Ω以下	EB×3連-2組	○ 通信用	EDt及びEDa	100Ω以下	EB×1	● 電話引込口の保安器用	ELt	100Ω以下	EB×1	● 測定用	EO	-	EB×1	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							<p>⑩ 補修など</p> <p>⑪ はつり</p> <p>⑫ はつり工事における非破壊検査</p> <p>⑬ あと施工アンカー</p> <p>34 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>35 火災保険等</p> <p>36 鳥取県公共事業環境配慮指針</p> <p>37 建築物省エネ法</p> <p>① 照明器具</p> <p>② 一般照明の照度測定</p> <p>3 非常用照明の照度測定</p> <p>4 照明制御の照度測定等</p> <p>2 機器への接続</p> <p>3 大地抵抗率の測定</p> <p>2 外部雷保護設備接地システム</p> <p>1 変圧器移動車輪</p> <p>2 デマンド監視装置</p> <p>3 室内照明</p> <p>1 交流無停電電源装置 (UPS)</p> <p>1 自家発電装置</p> <p>● ディーゼル発電装置</p> <p>● ガスエンジン発電装置</p> <p>● ガスタービン発電装置</p> <p>● 熱供給発電装置</p> <p>● 燃料電池発電装置</p> <p>2 太陽発電装置</p> <p>3 風力発電装置</p> <p>1 交換装置</p> <p>2 保安器用接地</p> <p>⑬ 壁付電話機との接続</p> <p>4 回線数</p> <p>5 電話機</p> <p>6 電話機への配線</p> <p>8 1 マルチサイン装置</p> <p>2 出退表示装置</p> <p>3 時刻表示装置</p> <p>9 1 プロジェクタ</p>	<p>工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ●</p> <p>1) 施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う</p> <p>試験方法 引張試験機による引張試験</p> <p>確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上</p> <p>試験箇所数 1施工単位に対し1本以上</p> <p>対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置</p> <p>実施する。</p> <p>工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで [概工期+21日] とする。)</p> <p>※ 対象工事</p> <p>※ 対象工事</p> <p>1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色)</p> <p>測定結果を監督職員に提出する。(測定箇所等は、監督職員の指示による。)</p> <p>※ 設置した各部屋2箇所以上 ●</p> <p>明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。</p> <p>照度測定時期 100%点灯時 (※ 夜間 ● 昼間)</p> <p>調光制御点灯時 (※ 夜間 ● 昼間)</p> <p>※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事</p> <p>● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省路判定記録書を監督職員に提出する。</p> <p>● 構造物利用接地極 ● A型接地極 ● B型接地極</p> <p>75kVA以上に取付。</p> <p>● 本工事 ● 別途工事</p> <p>前・後に設置する。</p> <p>停電補償時間 (分)</p> <p>方式 (● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式)</p> <p>運転時間 (h) 系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)</p> <p>出力 (kW) 配電盤外箱 (● 有 ● 無)</p> <p>保安装置 (重故障項目特記 ● 有 ● 無) 外部用端子 (● 要 ● 不要)</p> <p>減圧水槽及び初期注水槽の材質 (● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製)</p> <p>オイルタンク (● 地下 ● 屋内)</p> <p>据付：機械設備工事標準図 (● 施工30、32 (タンク室無し) ● 施工31、33 (タンク室有り))</p> <p>燃料小出槽 (※ 返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。)</p> <p>材質 (● 鋼板製 ● ステンレス製)</p> <p>燃料油等 (● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス ())</p> <p>排気系統配管断熱材の厚さ (mm) ばい煙測定口 (● 設ける ● 設けない)</p> <p>排気ガスに含まれる窒素酸化物 (以下) 運転音 (dB以下)</p> <p>系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無)</p> <p>公称最大出力 (kW) 耐風速 (m/s)</p> <p>パワーコンディショナ (相 線式 V) 定格容量 (kW)</p> <p>自立運転機能 (● 有 ● 無)</p> <p>表示装置 (● 有 ● 無) 方式 (※ 液晶 ●)</p> <p>系統連系 (● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無) 定格出力 (kW)</p> <p>局線応答方式 (● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式)</p> <p>停電補償時間 (分)</p> <p>※ 本工事 ● 別途工事</p> <p>※ モジュラージャック ● 電話用プレート</p> <p>内線 / / 回線 局線 / / 回線 (現用/実装/容量)</p> <p>● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台</p> <p>● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台</p> <p>卓上電話機1台につき次のものを見込む。</p> <p>● ボタン電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)</p> <p>● 内線電話機 (● EM-TIEF 0.65-2C ● TIVF 0.65-2C) (※ 15m ●)</p> <p>● 多機能電話機 (● EM-BTIEE 0.4-2P ●) (※ 15m ●)</p> <p>● IP電話機 (● EM-UTP 0.5-4P ●) (※ 15m ●)</p> <p>イメージスキャナ (● 設ける ● 設けない)</p> <p>制御装置 (● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形)</p> <p>呼出機能 (● 有 ● 無) 方式 (● 発光ダイオード ● 液晶 ●)</p> <p>親時計 (● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線)</p> <p>太陽電池式屋外時計 (点灯時間 h 点灯保証日数 日)</p> <p>光出力 (● I形 ● II形 ● III形) 解像度 (● A形 ● B形 ● C形)</p> <p>コントラスト比 (● X形 ● Y形)</p>	<p>10 増幅器</p> <p>形式 (● 卓上形 ● ラック形) 定格出力 (W) 性能 (● Hi形 ● Lo形)</p> <p>● 増幅器の入出力配線と外部配管 (壁ボックス等) の接続はコネクタによる。</p> <p>11 1 音声誘導装置</p> <p>検出方式 (● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式)</p> <p>12 1 自動火災報知設備</p> <p>2 自動閉鎖設備</p> <p>受信機 (● 型 級 回線 (蓄積型) ● 複合形 ● 単独形)</p> <p>● 防火戸用 (※ ラッチ式 ● 電磁式)</p> <p>● 防煙ダンパー用 (※ 電動復帰 ● 手動復帰)</p> <p>● 防火シャッター用 (※ 別途工事 ● 本工事)</p> <p>検知器 (● 天井取付形 ● 壁取付形)</p> <p>3 ガス漏れ火災警報設備</p> <p>1 施工方法</p> <p>埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。</p> <p>● GL-600以上 (● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ●)</p> <p>2 地中箱</p> <p>蓋の記号表示は鋳型流込み (鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入) とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。</p> <p>● 閉鎖形 (● 軽耐塩形 ● 重耐塩形) ● 地絡継電器付 (● 方向性 ● 無方向性)</p> <p>● 避雷器内蔵</p> <p>※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。</p> <p>高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策 (熱縮テープによるシースずれ止め対策等) を行う。</p> <p>3 高圧ケーブルの屋外端末処理</p> <p>● 一般形 ● 耐塩形</p> <p>※ 高圧 ● 低圧</p> <p>照明用ポールには配線用遮断器 (トリップ機能なし) 又はカットアウトスイッチ (兼通しヒューズ) を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。</p> <p>14 1 施工方法</p> <p>埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。</p> <p>● GL-600以上 (●)</p> <p>2 地中箱</p> <p>蓋の記号表示は鋳型流込み (鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入) とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。</p> <p>● データ回線 ● 電話 ● CATV ●</p> <p>3 標識シート</p> <p>15 1 調査仕様</p> <p>図面に記載されていない事項は、すべて (一社) 日本CATV技術協会の「建物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建物によるテレビ受信障害調査要領 (地上デジタル放送)」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。</p> <p>2 テレビ電波受信障害調査時期</p> <p>※ 事前 ● 中間 ※ 事後</p> <p>3 受信する受信波及び地点数</p> <p>中継局 波： 地点</p> <p>中継局 波： 地点</p> <p>※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部</p> <p>4 報告書提出部数</p> <p>① 機器取付高</p> <p>機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。</p> <table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>測 点</th> <th>取付高 (mm)</th> </tr> <tr> <td>電力共通</td> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心 1,800~2,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>引込開閉器</td> <td>地上～中心 1,800~2,200</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電</td> <td>分電盤・OA盤・実験盤</td> <td>床上～中心 1,500 (上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>スイッチ</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>” (多機能トイレ)</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>コンセント (一般)</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">灯</td> <td>” (和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>” (台上)</td> <td>台上～中心 150</td> </tr> <tr> <td>” (土間)</td> <td>床上～中心 800~1,300</td> </tr> <tr> <td>” (車椅子用)</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">動</td> <td>ブラケット (一般)</td> <td>2,100~2,300</td> </tr> <tr> <td>” (踊場)</td> <td>2,000~2,500</td> </tr> <tr> <td>” (鏡上)</td> <td>鏡上端～中心 150</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">携</td> <td>壁掛形制御盤</td> <td>床上～中心 1,500 (上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>操作スイッチ</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電</td> <td>端子箱</td> <td>床上～下端 300</td> </tr> <tr> <td>保安器箱</td> <td>天井下～上端 200</td> </tr> <tr> <td>壁付アウトレット</td> <td>床上～中心 300</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">気</td> <td>” (和室)</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>壁掛形親時計</td> <td>床上～中心 1,500 (上端1,900以下)</td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>” 天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡</td> <td>壁掛形スピーカ</td> <td>床上～中心 天井高×0.9</td> </tr> <tr> <td>壁付アッテネータ</td> <td>” 1,300</td> </tr> </table> <p>2 工事のための送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。</p>	名 称	測 点	取付高 (mm)	電力共通	取引用計器	地上～窓中心 1,800~2,000		引込開閉器	地上～中心 1,800~2,200	電	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)	スイッチ	1,300	” (多機能トイレ)	1,100	コンセント (一般)	300	灯	” (和室)	150	” (台上)	台上～中心 150	” (土間)	床上～中心 800~1,300	” (車椅子用)	900	動	ブラケット (一般)	2,100~2,300	” (踊場)	2,000~2,500	” (鏡上)	鏡上端～中心 150	携	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)	手元開閉器	1,500	操作スイッチ	1,300	電	端子箱	床上～下端 300	保安器箱	天井下～上端 200	壁付アウトレット	床上～中心 300	気	” (和室)	150	壁掛形親時計	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)	子時計	” 天井高×0.9	拡	壁掛形スピーカ	床上～中心 天井高×0.9	壁付アッテネータ	” 1,300	<p>Ⅲ. 機 材</p> <p>工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び (一社) 公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。</p> <p>ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>継永井電機工業所</td> <td>榎平木電機産業</td> </tr> <tr> <td>小林制御電機</td> <td>榎富士オートメーション</td> </tr> <tr> <td>勝英産業㈱</td> <td>榎岡電機製作所</td> </tr> </table>	継永井電機工業所	榎平木電機産業	小林制御電機	榎富士オートメーション	勝英産業㈱	榎岡電機製作所
	設計用標準水平震度		● 特定の施設		● 一般の施設																																																																																																																																																																															
	設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																																																																																																																														
	上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	2.0	1.5	1.0																																																																																																																																																																														
		防振支持の機器			2.0	1.5																																																																																																																																																																														
		水 槽 類	1.5	1.0																																																																																																																																																																																
	中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																																														
		防振支持の機器			1.5	1.0																																																																																																																																																																														
		水 槽 類	1.0	0.6																																																																																																																																																																																
	地下及び1階	機 器	1.0	1.0	0.6	0.4																																																																																																																																																																														
防振支持の機器		1.0			0.6																																																																																																																																																																															
水 槽 類		1.5	0.6																																																																																																																																																																																	
接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極																																																																																																																																																																																	
● 共同接地	EAED	10Ω以下	EB×3連-2組																																																																																																																																																																																	
● 共同接地	EAECED	10Ω以下	EB×3連-2組																																																																																																																																																																																	
● A種	EA	10Ω以下	EB×3連-2組																																																																																																																																																																																	
● B種	EB	Ω以下	EB×2連-2組																																																																																																																																																																																	
● C種	EC	10Ω以下	EB×3連-2組																																																																																																																																																																																	
○ D種	ED	100Ω以下	EB×1																																																																																																																																																																																	
● 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB×3連-2組																																																																																																																																																																																	
● 交換機用	Et	Ω以下	EB×3連-1組																																																																																																																																																																																	
● 通信用	EAt	10Ω以下	EB×3連-2組																																																																																																																																																																																	
○ 通信用	EDt及びEDa	100Ω以下	EB×1																																																																																																																																																																																	
● 電話引込口の保安器用	ELt	100Ω以下	EB×1																																																																																																																																																																																	
● 測定用	EO	-	EB×1																																																																																																																																																																																	
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																																																																																																																																		
名 称	測 点	取付高 (mm)																																																																																																																																																																																		
電力共通	取引用計器	地上～窓中心 1,800~2,000																																																																																																																																																																																		
	引込開閉器	地上～中心 1,800~2,200																																																																																																																																																																																		
電	分電盤・OA盤・実験盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																																																																		
	スイッチ	1,300																																																																																																																																																																																		
	” (多機能トイレ)	1,100																																																																																																																																																																																		
	コンセント (一般)	300																																																																																																																																																																																		
灯	” (和室)	150																																																																																																																																																																																		
	” (台上)	台上～中心 150																																																																																																																																																																																		
	” (土間)	床上～中心 800~1,300																																																																																																																																																																																		
	” (車椅子用)	900																																																																																																																																																																																		
動	ブラケット (一般)	2,100~2,300																																																																																																																																																																																		
	” (踊場)	2,000~2,500																																																																																																																																																																																		
	” (鏡上)	鏡上端～中心 150																																																																																																																																																																																		
携	壁掛形制御盤	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																																																																		
	手元開閉器	1,500																																																																																																																																																																																		
	操作スイッチ	1,300																																																																																																																																																																																		
電	端子箱	床上～下端 300																																																																																																																																																																																		
	保安器箱	天井下～上端 200																																																																																																																																																																																		
	壁付アウトレット	床上～中心 300																																																																																																																																																																																		
気	” (和室)	150																																																																																																																																																																																		
	壁掛形親時計	床上～中心 1,500 (上端1,900以下)																																																																																																																																																																																		
	子時計	” 天井高×0.9																																																																																																																																																																																		
拡	壁掛形スピーカ	床上～中心 天井高×0.9																																																																																																																																																																																		
	壁付アッテネータ	” 1,300																																																																																																																																																																																		
継永井電機工業所	榎平木電機産業																																																																																																																																																																																			
小林制御電機	榎富士オートメーション																																																																																																																																																																																			
勝英産業㈱	榎岡電機製作所																																																																																																																																																																																			
令和5年4月改定版	<p>令和7年度 J2500649 東部建築住宅 事務所</p>																																																																																																																																																																																			

令和5年4月改定版

株式会社 テイク ◆ 住宅・地域システム研究所

一級建築士事務所(鳥取県知事登録 第05-1283号)・測量土木設計事務所・補償コンサルタント・土地家屋調査士事務所他

智頭警察署佐治駐在所改修工事

DATE

07.09

D.T

電気設備工事特記仕様書 (2)

S

C.K

D.G

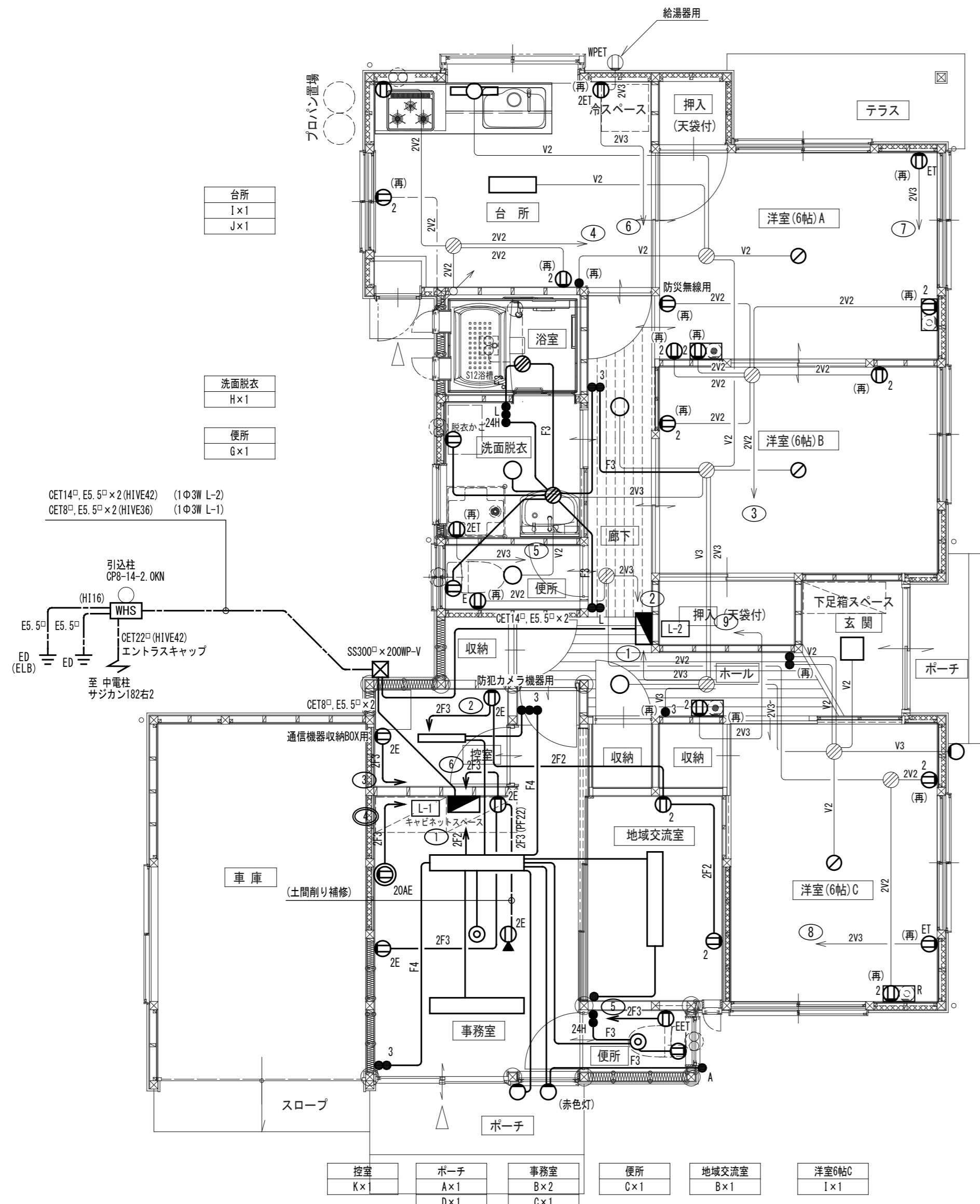
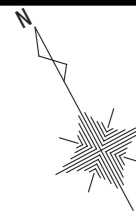
1/NS

管理建築士
大臣登録第188236号
一級建築士 山根 隆義

No. E-02

(図面サイズ A2版)

※図面表記縮尺は2版印刷時の縮尺を示す。



- 特記事項
1. 図中太線を本工事とし、(再)印は再取付、細線は既設のままとする。
 2. 図にない機器・配線があった場合は、監督員と協議すること。
 3. 壁内配管は、PF管にて保護すること。

図中、特記なき配管及び配線は下記による。

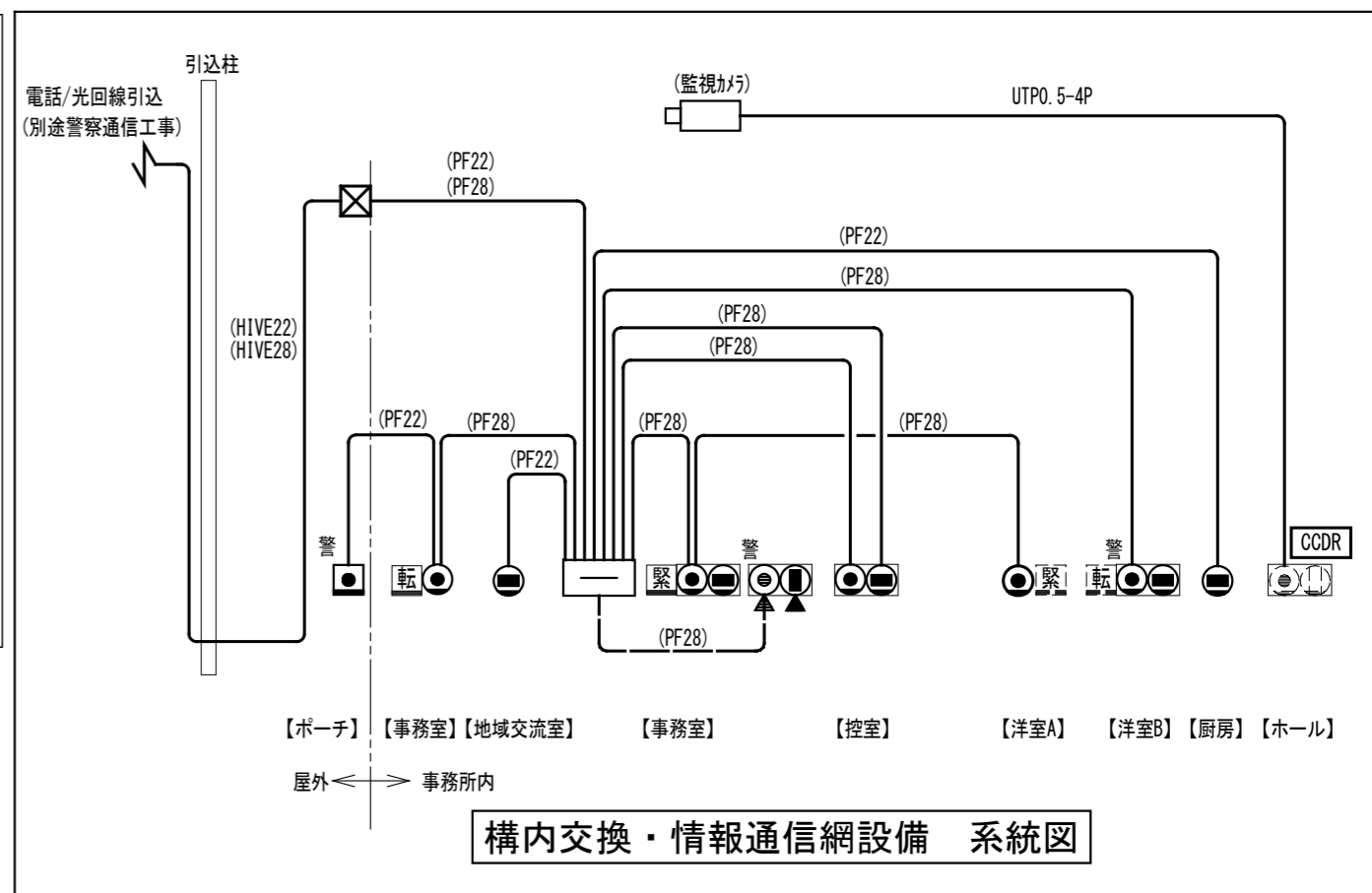
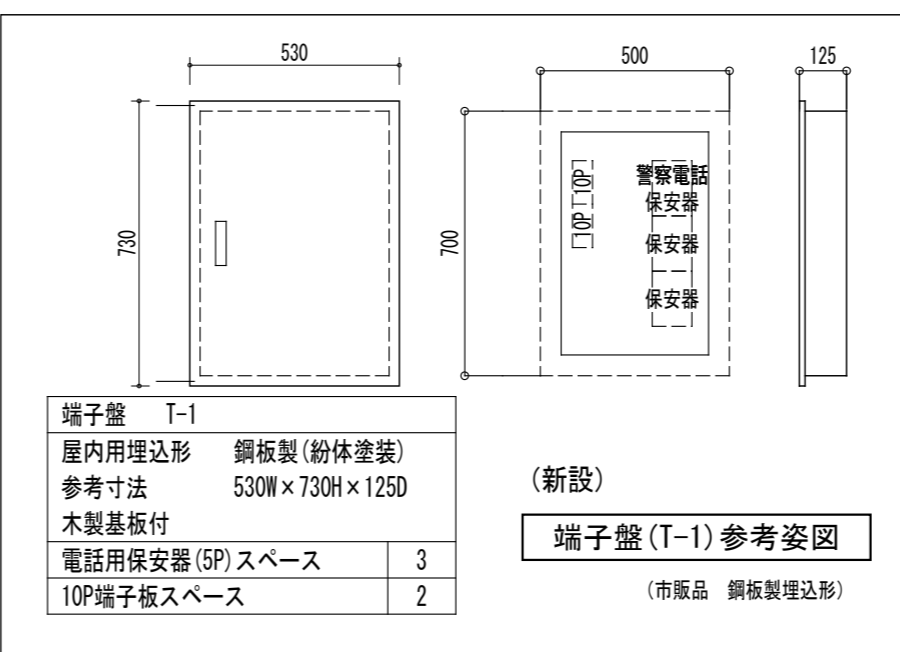
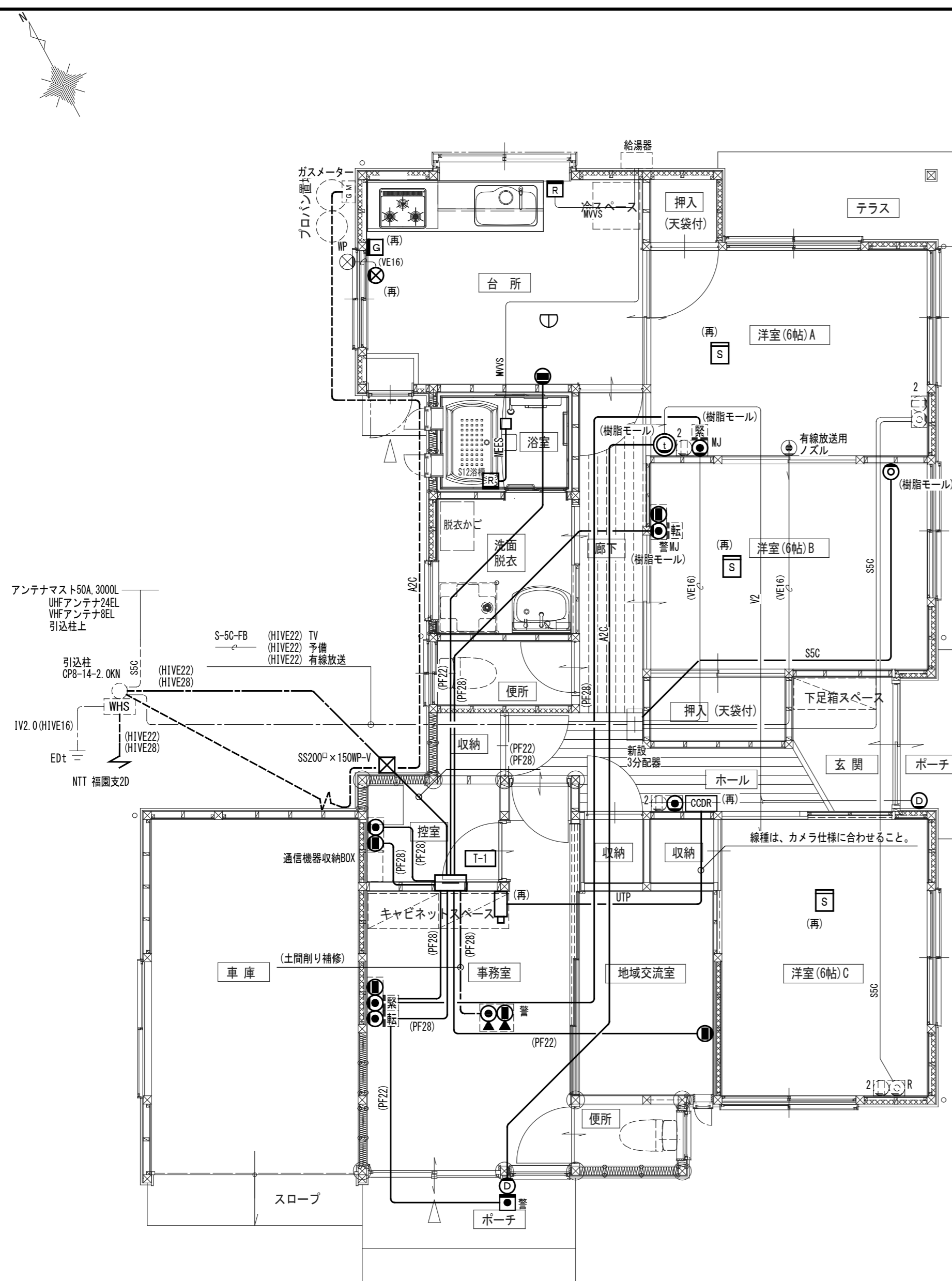
V2	WVF1.6-2C	(天井内配線)
V3	WVF1.6-3C	(天井内配線)
2V2	WVF2.0-2C	(天井内配線)
2V2	WVF2.0-2C	(床隠蔽配線)
2V3	WVF2.0-3C	(天井内配線)
F3	EM-EEF1.6-2C	(天井内配線)
F4	EM-EEF1.6-2C+1.6-3C	(天井内配線)
2F2	EM-EEF2.0-2C	(天井内配線)
2F3	EM-EEF2.0-3C	(天井内配線)
2F3(PF22)	EM-EEF2.0-3C (PF22)	(床隠蔽配線)

凡例

記号	名称	仕様
○	引込柱	コンクリート柱 8-14-2.0
WHS	引込計器盤	結線図参照
■	電灯分電盤	結線図参照
□	照明器具	照明器具参考図参照
□	照明器具	照明器具参考図参照
□	照明器具	照明器具参考図参照
○	照明器具	照明器具参考図参照
○	照明器具	照明器具参考図参照
○	照明器具	照明器具参考図参照
○	照明器具	照明器具参考図参照
○	照明器具	照明器具参考図参照
○	照明器具	照明器具参考図参照
●	埋込スイッチ	1P15A×1
● _L	埋込スイッチ	1P(L)4A×1
● ₃	埋込スイッチ	3W15A×1
● _{24H}	埋込スイッチ(24H換気用)	1P(L)4A×1
● _A	自動点滅器	100V 3A プラグイン式
Ⓧ	埋込コンセント	2P15A×1
Ⓧ ₂	埋込コンセント	2P15A×2
Ⓧ _E	埋込コンセント	2P15A×1 接地極付
Ⓧ _{2E}	埋込コンセント	2P15A×2 接地極付
Ⓧ _{ET}	埋込コンセント	2P15A×1 接地端子付
Ⓧ _{2ET}	埋込コンセント	2P15A×2 接地端子付
Ⓧ _{EET}	埋込コンセント	2P15A×1 接地極、接地端子付
Ⓧ _{WPET}	防水コンセント	2P15A×1 接地端子付
Ⓧ _{20AE}	埋込コンセント	2P20A×1(200V) 接地極付
Ⓧ _{2E}	フロアコンセント	2P15A×2 接地極付
Ⓧ	電話用アウトレット	壁付 ノズル
Ⓧ	直列ユニット	壁付 中間
Ⓧ _R	直列ユニット	壁付 端末
Ⓧ	ブルボックス	SS300×200MP-V
Ⓧ	ジョイントボックス	
Ⓧ	換気扇	別途機械設備工事

幹線・電灯・コンセント設備 改修図 (改修後) S=1/50





特記事項

1. 図中太線を本工事とし、(再)印は再取付、細線は既設のままとする。
2. 図にない機器・配線があった場合は、監督員と協議すること。
3. 壁内配線は、PF管にて保護すること。

図中、特記なき配管及び配線は下記による。

S5C	EM-S-5C-FB	(天井内配線)
UTP	EM-UTP. 5-4P	(天井内配線)
A2C	EM-AE1. 2-2C	(天井内配線)
A2C	EM-AE1. 2-2C	(露出配線)
MVVS	MVVS0. 75-2C (VE16)	(天井内配線)
MEES	EM-MEES0. 75-2C	(天井内配線)
V2	VVF1. 6-2C	(天井内配線)
VE16	(VE16)	(天井内配線)
PF22	(PF22)	(天井内配線)
PF28	(PF28)	(天井内配線)
PF28	(PF28)	(床隠蔽配線)
HIVE22	(HIVE22)	(地中埋設配線)
HIVE28	(HIVE28)	(地中埋設配線)

凡例

記号	名称	仕様
○	引込柱	コンクリート柱 8-14-2.0
WHS	引込計器盤	結線図参照
□	端子盤	参考図参照
⊙	インターホン親機	カラーモニター付 AC100V
⊖	玄関子機	カメラ付
⊙	直列ユニット	壁付 中間
⊙R	直列ユニット	壁付 端末
⊖	住宅用火災報知器	熱式(電池式)
S	煙感知器	天井付
G	ガス漏れ警報器	壁付 LPガス
R	ガス給湯リモコン	壁付(機械設備支給品)
⊗	フラッシュプレート	壁付 ノズル
⊗WP	防雨入線カバー	壁付 防水
CCDR	監視カメラ用モニター	壁付HDDレコーダー共 (再取付:本工事)
📷	監視カメラ	壁付 (再取付:本工事)
📢	緊急通報装置	(別途警察通信工事)
📞	不在時電話転送装置用	(別途警察通信工事)
MJ	電話用受口	電話モジュラジャック6極2芯×1 (加入電話用)
MJM	電話用受口	電話モジュラジャック6極2芯×1 (警察電話用)
📞	電話用受口	壁付 ノズル
📞	電話用アウトレット	ローテーションアウトレット (警察電話用)
📞	情報用アウトレット	情報モジュラジャック8極8芯×1 壁付
📞	情報用アウトレット	ローテーションアウトレット
📞	インターホン子機	ウォールボックス収納 (機器:別途警察通信工事)
📦	プルボックス	図示による
📦	アウトレットボックス	四角 中浅 D44

弱電機器参考図

① インターホン親機

電源	AC100V (50/60Hz)
消費電力	待機時: 約6 W 動作時: 約14 W
質量	(壁掛け金具無し) 約860 g (壁掛け金具有り) 約900 g
画面表示	約7型ワイド カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	DECT: 1.9GHz TDMA-WB / Bluetooth: V5.0

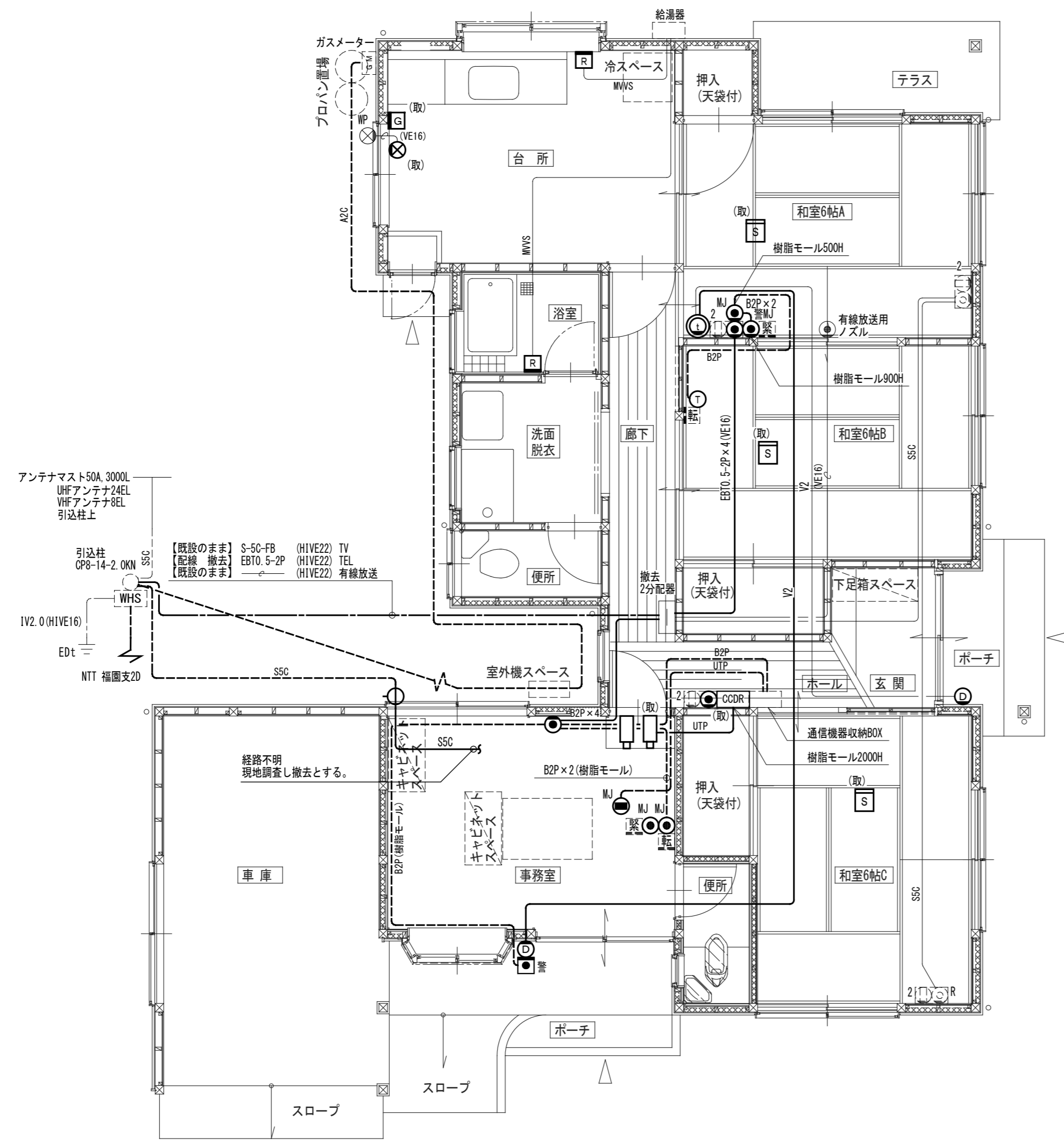
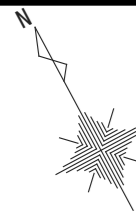
② 玄関子機(カメラ付)

電源電圧	DC 約18V
消費電流	待機時: DC 約40mA 動作時: DC 約200mA
質量	[露出時] 約380 g [埋込時] 約340 g
外観色調	シルバー
取付方法	単ループ: JIS1個用スイッチボックス適合 埋込時: JIS3個用スイッチボックス適合

③ 住宅用火災報知器 熱式(電池式)

電源	専用リチウム電池 (SH38452520) (DC 3V)
電池寿命	約10年
使用周囲温度	0℃~+40℃
質量	約120 g (電池含む)
警報音量	90 dB (1 m)

※図面表記縮尺は2版印刷時の縮尺を示す。



弱电設備 撤去図 (改修前) S=1/50

特記事項

1. 図中太線を撤去とし、(取)印は取外し、細線は既設のままとする。
2. 図にない機器・配線があった場合は、監督員と協議すること。

図中、特記なき配管及び配線は下記による。

B2P	EBT0. 5-2P	(天井内配線)
B2P×4	EBT0. 5-2P×4 (VE16)×2	(天井内配線)
B2P	EBT0. 5-2P	(露出配線)
B2P(樹脂モール)	EBT0. 5-2P (樹脂モール)	(露出配線)
SSC	S-5C-FB (VE22)	(天井内配線)
SSC	S-5C-FB	(露出配線)
UTP	UTP0. 5-4P	(天井内配線)
UTP	UTP0. 5-4P	(露出配線)
A2C	AE1. 2-2C	(露出配線)
MVVS	MVVS0. 75-2C (VE16)	(天井内配線)
V2	VF1. 6-2C	(天井内配線)
(VE16)	(VE16)	(天井内配線)

凡例

記号	名称	仕様
○	引込柱	コンクリート柱 8-14-2.0
WHS	引込計器盤	結線図参照
—	端子盤	鋼板製埋込形市販品 10P W300×300H
⊙	インターホン親機	カラーモニター付 AC100V
⊙	玄関子機	カメラ付
⊙	直列ユニット	壁付 中間
⊙R	直列ユニット	壁付 端末
⊕	分岐器	1分岐
S	煙感知器	天井付
G	ガス漏れ警報器	壁付 LPG用
R	ガス給湯機リモコン	壁付
⊗	フラッシュプレート	壁付 ノズル
⊗WP	防雨入線カバー	壁付 防水
CCDR	監視カメラ用モニター	壁付HDDレコーダー共 (取外し:本工事)
☐	監視カメラ	壁付 (取外し:本工事)
⊠	緊急通報装置	(別途警察通信工事)
⊠	不在時電話転送装置	(別途警察通信工事)
T	電話機	
MJ	電話用受口	電話モジュラジャック6極2芯×1 (加入電話用)
警MJ	電話用受口	電話モジュラジャック6極2芯×1 (警察電話用)
●	電話用受口	壁付 ノズル
○MJ	電話用受口	電話モジュラジャック6極2芯×1 露出形
○MJ	情報コンセント	情報モジュラジャック8極8芯×1 露出形
警	インターホン子機	ウォールボックス収納 (機器:別途警察通信工事)

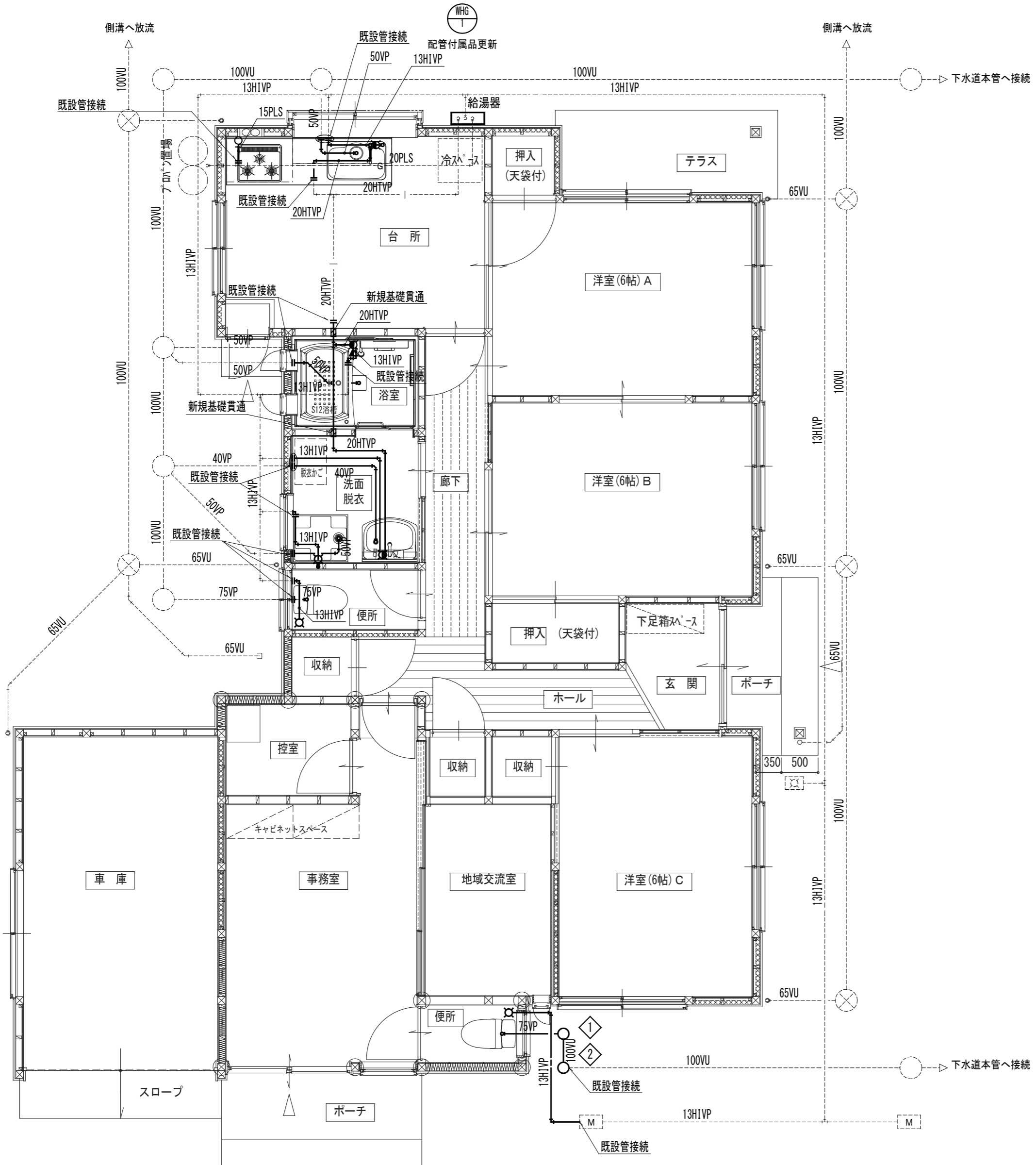
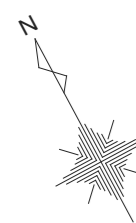


※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。

一 般 共 通 事 項	21 鋼管類の防食処置	<p>地中埋設 ● ベトラタム系 ● プテルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート</p> <p>● 標準図（施工3） ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン</p> <p>※ 合成ゴム製（球形） ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形（ステンレス製）</p> <p>● ペローズ形 ● スリーブ形</p> <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。（さび止め塗装は除く。）</p> <p>(ア)埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等をしたもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー垂鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム－垂鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <p>● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所（ ）</p>	1 空 気 調 和 設 備	1 設計用温湿度条件	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3"></td> <td colspan="4">外気条件（目標値）</td> <td colspan="4">室内（調整目標値）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一</td> <td colspan="2">般</td> <td colspan="2">（</td> <td colspan="2">）</td> </tr> <tr> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> <td>温度</td> <td>湿度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> <td>(DB)</td> <td>(RH)</td> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>36.0</td> <td>℃</td> <td>50.2</td> <td>%</td> <td>28.0</td> <td>℃</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-0.4</td> <td>℃</td> <td>78.5</td> <td>%</td> <td>19.0</td> <td>℃</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td>%</td> </tr> </table> <p>※ SGP（白） ● SGP-VA ● SGP-PA</p> <p>※ SGP（白） ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管（SUS304）</p> <p>● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）</p> <p>※ SGP（白） ● ステンレス鋼管（SUS304）</p> <p>※ SGP（黒）</p> <p>※ STPG370-Sch40（黒） ● ステンレス鋼管（SUS304）</p> <p>一般配管 ※ SGP（黒） 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>※ 断熱材被覆鋼管</p> <p>● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ●</p> <p>※ SGP（白） ● VP</p> <p>※ 5K ● 10K</p> <p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁（ ● ダイアラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形 ）を取付ける。</p> <p>(ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式</p> <p>(イ) ビストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●</p> <p>※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト</p> <p>● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法（ ● 共板工法（動作用電圧は電機配線工事法 0.7A以下とする。）（長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。）</p> <p>● アングルフランジ工法</p> <p>● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。</p> <p>ボックス ※ 垂鉛鉄板製 ● グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工49）を参考とする。</p> <p>接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>線状吹出口には、（長さ＋100）×300×300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。</p> <p>吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。</p> <p>形式はビト－管式（コック付）とする。 ● 着脱式 ● 固定式</p> <p>下記の箇所、若しくは図示により取付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷水水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニット形空気調和機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● メカニカル形 ● 風速センサー形 <p>機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計</p> <p>空気漏りを生ずるとと思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。</p> <p>※ 手動 ● 自動</p> <p>自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g））</p> <p>機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。</p> <p>トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製</p> <p>材質及び厚さ ● SS400（※3.2mm ● 4.5mm） ● SUS（※1.5mm ● 2.0mm）</p> <p>煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける</p> <p>煤じん量測定口（80φ×2） ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>油面計はゲージ式（側圧計）とする。</p> <p>据付け方法 ● 標準図（施工32）（二重設タンク・タンク室無し） ● 標準図（施工33）（タンク室有り）</p> <p>タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト</p> <p>基礎杭 ※ 不要 ● 要（※ 別途工事 ● 本工事）</p> <p>土留め工事 ● 要 ● 不要</p> <p>タンクローリー用アース端子を設ける。</p> <p>油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●</p> <p>● 機器表特記による。</p> <p>● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。</p> <p>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。</p> <p>※ 垂鉛鉄板製 ● 鋼板製（厚1.6mm）</p> <p>形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形</p> <p>取付け ● 天井取付 ● 壁取付</p> <p>電気式（遠隔操作 ※ 不要 ● 要）</p> <p>建築設備定期検査業務基準書2016年版（一財）日本建築設備・昇降機センター）の検査方法に準ずる。</p> <p>● 有り（構成機能は、図示による） ● 無し</p> <p>● 要（ ● 本工事 ● 別途工事 ） ● 不要</p> <p>取付高さ ※ 1300mm ● mm</p> <p>● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。</p> <p>● 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。</p>		外気条件（目標値）				室内（調整目標値）				一		般		（		）		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏季	36.0	℃	50.2	%	28.0	℃		%		%	冬季	-0.4	℃	78.5	%	19.0	℃		%		%	2 冷却水管 3 冷水・温水・冷温水管 4 膨張・空気抜・補給水管 5 蒸気給気管 6 蒸気還水管 7 油・油用通気管 8 冷媒管 9 空調用給水管 10 空調用排水管 11 井類 12 ファンコイルユニット 13 ダンパー	2 空気調和設備 3 冷暖房設備 4 換気設備	15 吹出口・吸込口 16 チャンパー等	17 消音内貼り	18 瞬間流量計及び流量測定口	19 定風量・変風量ユニット 20 温度計 21 冷温水管の空気抜き	22 空調機用トラップ 23 鋼板製煙道	24 オイルサービスタンク 25 地下オイルタンク	26 油面制御装置 27 フィルター等付属品	28 パッケージ空調機の能力表示 29 防振吊り及び支持金物	4 1ダクト 2 排煙口 3 排煙口開放及び復帰方式 4 排煙風量測定	5 1中央監視制御盤装置 2電源装置 3温度調節器等 4計装工事の配線																			
		外気条件（目標値）					室内（調整目標値）																																																																																					
一		般		（			）																																																																																					
温度		湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度																																																																																				
	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																																																				
夏季	36.0	℃	50.2	%	28.0	℃		%		%																																																																																		
冬季	-0.4	℃	78.5	%	19.0	℃		%		%																																																																																		
26 ステンレス鋼管の接合方法 27 溶接配管の検査	<p>● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管</p> <p>非破壊検査の適用（ ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ）</p> <p>抜取率（ ● 標準仕様書による ● % ）</p> <p>◎ 地中埋設機を指示する箇所に掲げる。</p> <p>● 埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ● 屋外給水管 ● ）</p> <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ◎ 飲料水水质（ ● 一般飲料水適否検査 ◎ 残留塩素測定 ） ● その他水质等（ ● 雑用水 ● 空調用流体 ● ） <p>公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。 ● 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 ● （測定時期： 測定場所： 測定点： ） ● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 <p>対象箇所（ ）</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の欠けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p> <p>実施する。</p> <p>工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。</p> <p>（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期＋21日〕とする。）</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <p>◎ 空調用機器（ エアコン ） ● 衛生器具（ ）</p> <p>● 断熱材（ ） ● 配管材（ ● 再生硬質ポリ塩化ビニル管 ）</p> <p>● その他（ ）</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>設計用標準水平震度</th> <th>設置場所</th> <th>機器種別</th> <th>● 特定の施設</th> <th colspan="4">● 一般の施設</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">上層階 屋上、塔屋</td> <td rowspan="3">機 器</td> <td>● 重要機器</td> <td>● 一般機器</td> <td>● 重要機器</td> <td colspan="3">● 一般機器</td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中間階</td> <td rowspan="3">機 器</td> <td>● 重要機器</td> <td>● 一般機器</td> <td>● 重要機器</td> <td colspan="3">● 一般機器</td> </tr> <tr> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地階・1階</td> <td rowspan="3">機 器</td> <td>● 重要機器</td> <td>● 一般機器</td> <td>● 重要機器</td> <td colspan="3">● 一般機器</td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.4</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階建以上：上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置</p> <p>● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類（燃料小出槽を含む）</p> <p>●（ ）</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（一財）日本建築センター）を参考にする。</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							設計用標準水平震度	設置場所	機器種別	● 特定の施設	● 一般の施設				上層階 屋上、塔屋	機 器	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器			2.0	1.5	1.5	1.0			防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5			中間階	機 器	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器			1.5	1.0	1.0	0.6			防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0			地階・1階	機 器	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器			1.0	0.6	0.6	0.4			防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6					水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6			28 換気設備	29 自動制御設備
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																																										
設計用標準水平震度	設置場所	機器種別	● 特定の施設	● 一般の施設																																																																																								
上層階 屋上、塔屋	機 器	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器																																																																																							
		2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																							
		防振設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																																																						
中間階	機 器	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器																																																																																							
		1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																							
		防振設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																						
地階・1階	機 器	● 重要機器	● 一般機器	● 重要機器	● 一般機器																																																																																							
		1.0	0.6	0.6	0.4																																																																																							
		防振設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																																																						
		水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																						
28 埋設表示 29 支持金物・固定金具 30 総合試運転調整	<p>● 埋設表示</p> <p>● 支持金物・固定金具</p> <p>● 総合試運転調整</p>	31 アスベスト含有建材の処理	32 補修など 33 はつり 34 はつり工事における非破壊検査 35 室内空気中の化学物質の濃度測定 36 火災保険等	37 グリーン購入	38 鳥取県公共工事環境配慮指針 39 建築物省エネ法 40 耐震施工																																																																																							
⑥ 衛生器具設備	<p>① 衛生器具の参考型番</p> <p>2 小便器用節水装置</p> <p>3 自動水栓</p> <p>④ 大便器洗浄弁</p> <p>⑤ 温水洗浄便座</p> <p>⑥ 器具と排水管接続</p>	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 <p>※ 小便器一体型 ● 小便器分離型</p> <p>● 洗浄水量4リットル／回以下</p> <p>※ 個別感知方式（ ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池 ） ● 手動式</p> <p>電源供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池</p> <p>操作方式 ● 電気開閉式（ ● センサー式 ● タッチスイッチ式 ）</p> <p>◎ 手動式</p> <p>◎ 貯湯式</p> <p>※ 標準図（施工64） ● 標準図（施工65）</p>	⑦ 給水設備	<p>1 量水器</p> <p>② 配管材料</p> <p>3 弁類</p> <p>4 水槽のマンホール</p>	<p>● 親メーター ※ 借用 ● 買取（ ※ 直読 ● 遠隔表示 ）</p> <p>● 子メーター ※ 買取 ● 借用（ ※ 直読 ● 遠隔表示 ）</p> <p>(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316</p> <p>◎ H1VP ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ◎ H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ◎ H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>● 水道配水用ポリエチレン管（75～100A） ● 水道用ポリエチレン二層管（50A以下）</p> <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。）</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手</p> <p>※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</p> <p>● 10K（公営水道に直結する配管に使用）</p> <p>● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）</p> <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。</p> <p>(ア)屋内汚水管 ◎ VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(イ)屋内雑排水管 ◎ VP ● RF-VP ● SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>● 耐火二層管</p> <p>(ウ)ポンプ排水管 ● VP（水道用） ● H1VP ● 排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水管管用継手）</p> <p>(エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP（白） ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ◎ VU（地中） ● REP-VU（地中）</p> <p>● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管</p> <p>3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う</p>	⑧ 排水設備	<p>2 満水試験継手</p> <p>3 バイブシャフト内配管の保温</p> <p>4 煙試験</p>	⑨ 給湯設備	<p>① 配管材料</p> <p>2 弁類</p>	<p>● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 ◎ HTVP</p> <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>※ 5K ● 10K</p>	10 消火設備	<p>1 配管材料</p> <p>2 弁類</p> <p>3 保温</p> <p>4 屋内消火栓</p> <p>5 ガス系消火剤の種類</p> <p>6 ガス系消火の起動方式</p>	<p>(ア)一般配管 ● SGP（白） ● STPG</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>※ 10K ● 16K</p> <p>(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別a・b・cによる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 屋内消火栓用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● スプリングラウー用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● 連結送水用（ ※ 施工しない ● 施工する ） ● 連結取水用（ ※ 施工しない ● 施工する ） <p>● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓（ ● 1号 ● 2号 ）</p> <p>● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23</p> <p>※ 手動 ● 自動手動切替式</p>	⑩ ガス設備	<p>1 都市ガス設備</p> <p>② 配管材料</p> <p>3 ガスメータ</p> <p>4 バルク貯槽</p> <p>5 容器廻りの配管</p> <p>6 容器転倒防止</p> <p>7 ガス漏れ警報器</p>	<p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア)一般配管 ◎ SGP（白） ● 合成樹脂被覆鋼管 ◎ ガス用ポリエチレン管</p> <p>(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <p>● 親メーター ※ 借用 ● 買取（取付け ※ 別途 ● 本工事）</p> <p>● 子メーター ※ 買取 ● 借用（取付け ※ 本工事 ● 別途）</p> <p>● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取</p> <p>● 標準図（施工73）の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 要領(c)</p> <p>● 標準図（施工74）の ● 要領(a) ● 要領(b)</p> <p>● 不要 ● 要（ ※ 別途工事 ● 本工事 ）</p>	12 浄化槽設備	<p>1 処理種別及び方式</p> <p>2 型式</p> <p>3 処理能力</p> <p>4 放流水の水質</p> <p>5 排水方式</p> <p>6 埋戻し土</p> <p>7 土留め工事</p> <p>8 マンホールふた</p> <p>9 消毒薬</p>	<p>● 小規模合併処理（ ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気床接触ばっ気方式 ● 脱窒床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式（ ））</p> <p>● 合併処理（ ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式 ）</p> <p>● ユニット型 ● 現場施工型</p> <p>● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m³/d</p> <p>● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下</p> <p>● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下</p> <p>※ 自然流下 ● ポンプ排水</p> <p>● 砂 ● 根切土の中の良質土</p> <p>● 不要 ● 要（図示による）</p> <p>※ 製造者標準仕様（ロック式） ● MHA型（ポルト式）</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>																																																																									



※図面表記縮尺は2枚印刷時の縮尺を示す。



衛生設備 改修図 (改修後) S=1/50

衛生器具表

器具名称	参考品番	器具仕様 (参考品番)	事務室	便所	洗面脱衣	浴槽	台所	合計
洋風便器	CSS97BMS	排水アジャスター付、SH597BAR (手洗付ロータンク) TOF587 (温水洗浄便座)、YH52R (紙巻器)、YT405 (タオルリング)	1	1				2
タオル掛け	YT405S4				1			1
洗面化粧台	(建築工事)	※配管接続は機械設備工事			1			1
洗濯機パン	PWP740N2W	PJ2009NW (縦引きトラップ)			1			1
洗濯機用水栓	TW11GR	13A、緊急止水栓付			1			1
ユニットバス	(建築工事)	※配管接続は機械設備工事				1		1
台所流し台	(建築工事)	※排水管接続は機械設備工事					1	1
シングルレバー混合栓	(建築工事)	※配管接続は機械設備工事					1	1
ニロガスコック		15A					1	1

給湯機器表

名称	記号	形式	号数	LPガス消費量 kW	消費電力 (凍結防止) φ・V・W	付属品	数量
ガスふろ給湯器 (給湯専用)	WHG-1	屋外壁掛形	20号	54.8	1φ100V 85W (125W)	配管カバー (参考寸法:600H)、台所リモコン、浴室リモコン ※リモコンは電気設備工事へ支給	1

排水枘リスト

番号	名称	種類	樹深さ	蓋	備考
◇	塩ビ製小口径枘	90L -100 -150	250H	樹脂蓋	
◇	塩ビ製小口径枘	90L -100 -150	260H	樹脂蓋	

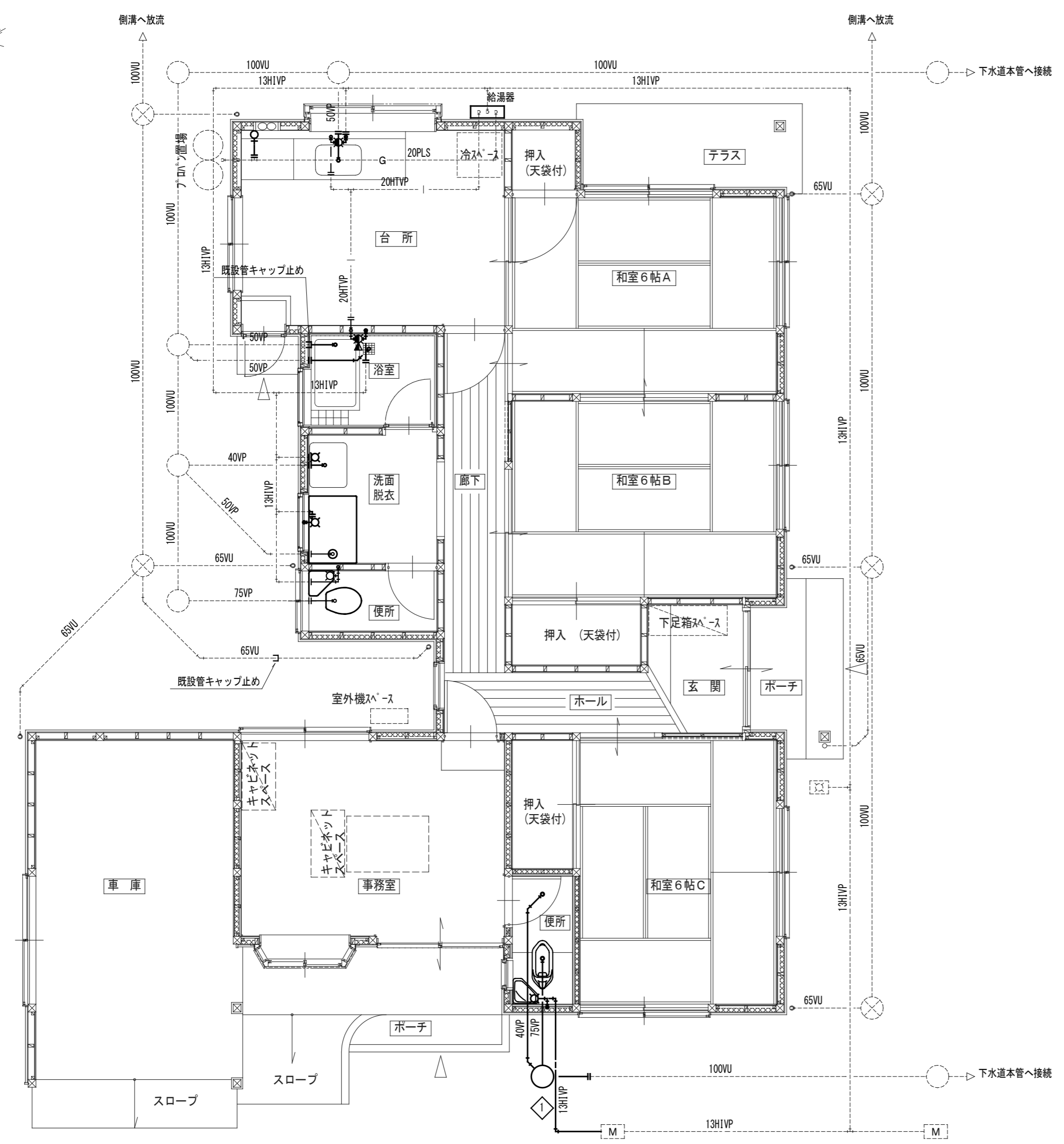
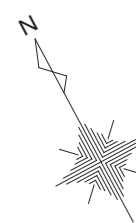
凡例

給水管	屋内一般	H1VP
	屋外露出	H1VP
	屋外埋設	H1VP
排水管	屋内一般	VP
	屋外埋設	VU
給湯管	屋内一般	HTVP
	屋外露出	HTVP
ガス管	屋内一般	SGP (白)
	屋外露出	SGP (白)
	地中埋設	合成樹脂被覆鋼管
PT	追炊管	屋内一般 追炊用ヘアチューブ (φ13×2)
---	既設管	※既設のまま
+	既設管接続	※給水管、給湯管、ガス管、排水管

ガス給湯器 (WHG-1) 廻り		
給水	逆止弁付ボール弁13	1
	水道用フレキシチューブ (300L) 13	1
給湯	水道用フレキシチューブ (300L) 13	1
ガス	ガス中間バルブ15	1
	ガス用金属フレキシホース (300L) 15	1

※給湯器廻りの露出給排水、ガス管は新設
 ※給湯器廻り露出配管の保温は
 給水:ポリスチレン厚20mm (SUSラッキング)
 給湯:グラスウール厚20mm (SUSラッキング)とする。
 ※露出ガス管 (SGP (白))は塗装とする。





衛生設備 撤去図 (改修前) S=1/50

排水樹リスト (撤去)

番号	名称	種類	樹深さ	蓋	備考
◇	塩ビ製小口径樹	90L-100-300	250H	樹脂蓋	

給湯機器表 (撤去)

名称	記号	形式	号数	台数	備考
ガス給湯器	WHG-1	屋外壁掛形	20号	1	

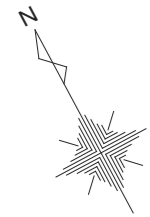
凡例 (撤去)

---	給水管撤去	屋内一般	H1VP
---		土間埋設	H1VP
---		屋外埋設	H1VP
---	排水管撤去	屋内一般	VP
---		屋外埋設	VU
---	給湯管撤去	屋内一般	H1VP
---		屋外埋設	H1VP
---	ガス管撤去	屋内一般	SGP(白)
---		屋外露出	SGP(白)
---		地中埋設	合成樹脂被覆鋼管
---	既設管	※既設のまま	
---	既設管切断	※給水管、給湯管、ガス管、排水管	

衛生器具表 (撤去)

事務室便所	和風大便器(兼用便器)、ロータンク	撤去
	紙巻器	撤去
	床排水金物 40A	撤去
便所	洋風大便器、ロータンク	撤去
	普通便座	撤去
	紙巻器	撤去
洗面脱衣	洗面化粧台(W=600)	(撤去:建築工事)※配管切り離しは本工事
	洗面キャビネット	(撤去:建築工事)
	洗濯機パン	撤去
	洗濯機用水栓	撤去
風呂	シャワー金具(混合栓)	撤去
	排水金具 50A	撤去
厨房	台付混合栓	撤去
	二口ガスコック	撤去
屋外	散水栓	既設のまま





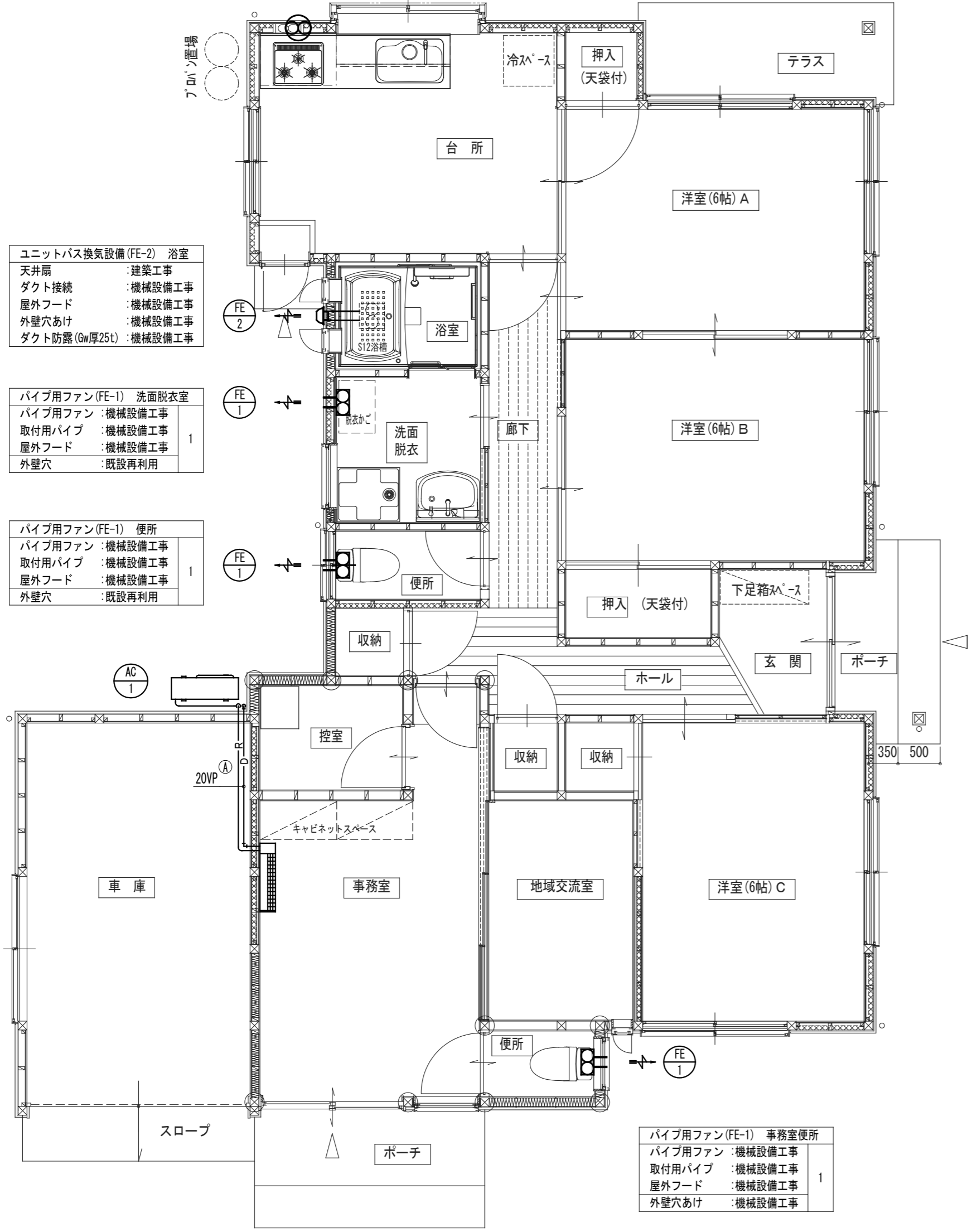
台所流し台用換気設備 (FE-3)
 屋内キッチンフード: 建築工事
 換気扇取付: 機械設備工事
 ※換気扇は建築工事支給品
 屋外フード: 機械設備工事

ユニットバス換気設備 (FE-2) 浴室
 天井扇: 建築工事
 ダクト接続: 機械設備工事
 屋外フード: 機械設備工事
 外壁穴あけ: 機械設備工事
 ダクト防露 (5W厚25t): 機械設備工事

パイプ用ファン (FE-1) 洗面脱衣室
 パイプ用ファン: 機械設備工事
 取付用パイプ: 機械設備工事
 屋外フード: 機械設備工事
 外壁穴: 既設再利用

パイプ用ファン (FE-1) 便所
 パイプ用ファン: 機械設備工事
 取付用パイプ: 機械設備工事
 屋外フード: 機械設備工事
 外壁穴: 既設再利用

パイプ用ファン (FE-1) 事務室便所
 パイプ用ファン: 機械設備工事
 取付用パイプ: 機械設備工事
 屋外フード: 機械設備工事
 外壁穴あけ: 機械設備工事



冷暖房・換気設備 改修図 (改修後) S=1/50

冷暖房機器表

名称	記号	運転方式	室内機形式	定格 冷房能力 kW	定格 暖房能力 kW	圧縮機			消費電力		付属品	数量	備考
						相	V	kW	冷房 kW	暖房 kW			
ルームエアコン (寒冷地仕様)	AC-1	1台運転	壁掛形	4.0	6.0	1	200	1.10	1.22	1.60	ワイヤレスリモコン 転倒防止金具	1	室外機据置台(コンクリートベース500L×100H)×2 寒冷地仕様、グリーン購入法適合品

換気機器表

名称	仕様	記号	ダクト径 φ	風量 m3/h	静圧 Pa	電気容量			付属品	数量	備考
						相	V	W			
パイプ用ファン	格子形	FE-1	100	40	10	1	100	10	深形フード(アルミ製:防虫網付)	3	電気式シャッター付、直結式
天井埋込形換気扇	(建築工事)	FE-2	100			1	100		深形フード(アルミ製:防虫網付)	1	ダクト接続: 機械設備工事
壁付換気扇	(建築工事)	FE-3	300			1	100		ウェザーカバー(防虫網付)	1	換気扇支給: 取付 機械設備工事

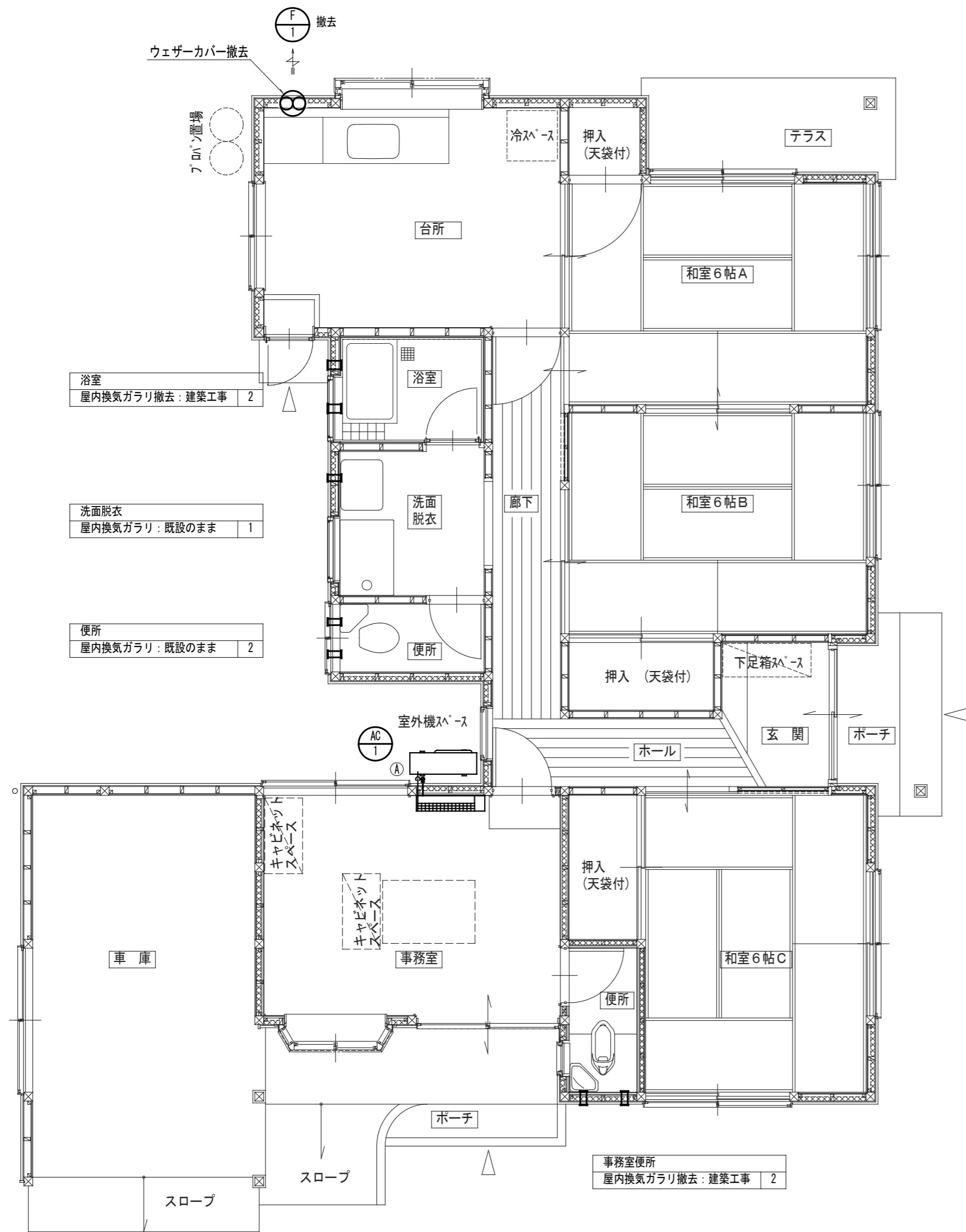
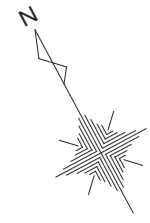
冷暖房設備 凡例

R	冷媒管	冷媒用被覆銅管
D	ドレン管	VP20
Ⓐ	冷媒用被覆銅管	φ6.35/φ9.52
	室内外機渡り配線	EM-EEF 2.0-3C E1.6

- < 冷暖房設備 特記事項 >
- 図中の配管・配線サイズは参考とし、選定したメーカーの仕様に合わせて施工する。
 - 冷媒用被覆銅管の被覆厚は、液管3mm、ガス管10mmとする。
 - 屋内外露出冷媒管は、樹脂製化粧カバー(参考:SD77)にて保護とする。



※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。



冷暖房・換気設備 機器表 (撤去)

機器番号	室名	仕様	電源容量			台数	備考
			相	V	kW-W		
AC 1	事務室	ルームエアコン 冷房:2.2kW	1	100	0.65kW	1	撤去 (家電リサイクル) 冷媒:R22 0.57kg 室外機重量:24kg
F 1	台所	壁付換気扇(台所用) 918m3/h	1	100	27.5W	1	撤去 屋外フード 撤去

凡例 (撤去)

R	冷媒管	冷媒用被覆銅管
D	ドレン管	VP
Ⓐ	φ6.35/φ9.52 WF 1.6-3C	

冷暖房・換気設備 撤去図 (改修前) S=1/50



※図面表記縮尺はA2版印刷時の縮尺を示す。